

平成28年
3月議会当初提出議案

〔 当初予算分 〕
〔 前倒し補正予算等分 〕

主要事項説明書

目 次

平成 2 8 年度当初予算の概要	2
------------------------	---

◆会計別予算額一覧	3
◆一般会計予算概要と市税の状況	4
◆一般会計歳入予算	6
◆一般会計歳出予算（目的別）	8
◆一般会計歳出予算（性質別）	10
◆基金と市債の残高	11

平成 2 8 年度前倒し予算（平成 2 7 年度補正予算）の概要	13
--	----

◆前倒し補正の経緯と目的	14
◆会計別 補正予算額一覧	15
◆一般会計歳入 補正予算額一覧	16
◆一般会計歳出 補正予算額一覧（目的別）	17
◆一般会計歳出 補正予算額一覧（性質別）	18
◆3 月前倒し補正予算 主要事項	19

平成 2 8 年度予算 主要事項（前倒し予算含む）	20
---------------------------------	----

◆平成 28 年度予算 地方創生総合戦略事業	21
◆平成 28 年度予算 防災機能強化事業一覧	23
◆平成 28 年度予算 公共施設マネジメント推進事業一覧	24
◆平成 28 年度予算 「未来創造 福知山」 主要事業一覧	25

平成 2 8 年度当初予算の概要

◆会計別予算額一覧

平成28年度 各会計予算集計表

(単位 千円)

会 計 別			平成28年度	平成27年度	増減額	伸率(%)
一 般 会 計			41,250,000	41,250,000	0	0.0
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業		9,352,000	9,451,900	△ 99,900	△ 1.1
	国 民 健 康 保 険 診 療 所 費		50,400	49,800	600	1.2
	と 畜 場 費		32,500	32,500	0	0.0
	簡 易 水 道 事 業		834,000	999,200	△ 165,200	△ 16.5
	宅 地 造 成 事 業		22,500	42,000	△ 19,500	△ 46.4
	休 日 急 患 診 療 所 費		23,100	21,500	1,600	7.4
	公 設 地 方 卸 売 市 場 事 業		6,700	7,000	△ 300	△ 4.3
	農 業 集 落 排 水 施 設 事 業		1,059,000	1,088,500	△ 29,500	△ 2.7
	石 原 土 地 区 画 整 理 事 業		700,600	894,400	△ 193,800	△ 21.7
	福 知 山 駅 周 辺 土 地 区 画 整 理 事 業		64,400	114,000	△ 49,600	△ 43.5
	介護保険事業	保 険 事 業 勘 定	8,106,600	7,812,400	294,200	3.8
		介護サービス事業勘定	22,400	30,700	△ 8,300	△ 27.0
	河 守 土 地 区 画 整 理 事 業		18,800	26,500	△ 7,700	△ 29.1
	下 夜 久 野 地 区 財 産 区 管 理 会		172	172	0	0.0
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業		1,862,700	1,897,700	△ 35,000	△ 1.8
	地 域 情 報 通 信 ネットワーク事業		1,171,000	756,200	414,800	54.9
15 特別会計 小計			23,326,872	23,224,472	102,400	0.4
企 業 会 計	水 道 事 業		3,045,100	3,277,300	△ 232,200	△ 7.1
	下 水 道 事 業		6,956,400	6,932,400	24,000	0.3
	病 院 事 業	福知山市民病院	12,625,800	11,644,545	981,255	8.4
		大江分院	851,400	1,582,335	△ 730,935	△ 46.2
			13,477,200	13,226,880	250,320	1.9
3 企業会計 小計			23,478,700	23,436,580	42,120	0.2
19 会 計 合 計			88,055,572	87,911,052	144,520	0.2

◆一般会計予算概要と市税の状況

一般会計 予算概要

(単位 千円、%)

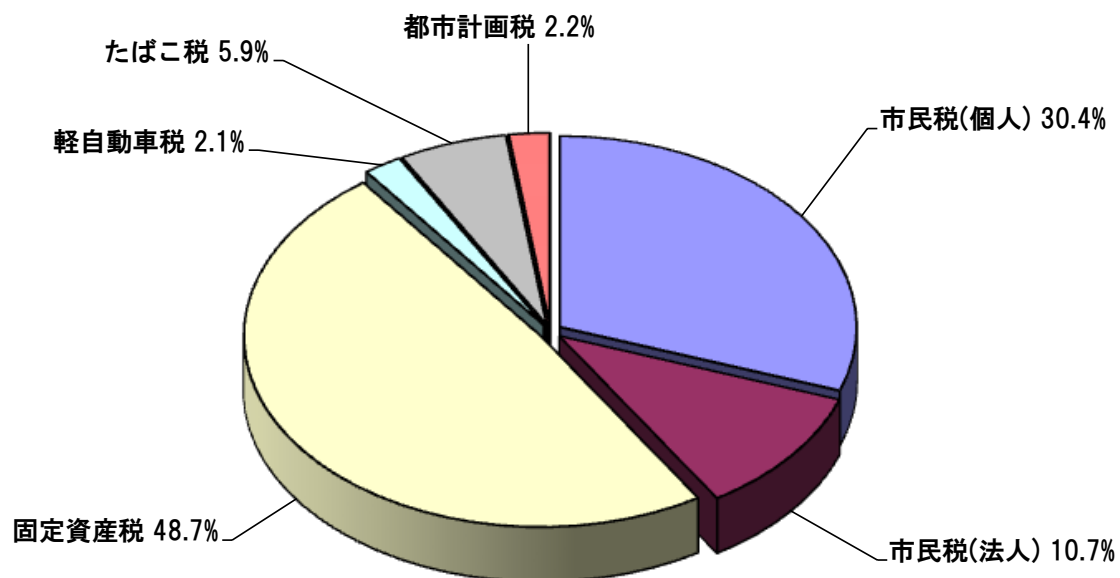
区 分		平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	伸 率 (A)/(B)(%)	構 成 比	
					平成28年度	平成27年度
総 額		41,250,000	41,250,000	0.0	100.0%	100.0%
財源 区分	自 主 財 源	15,409,555	14,948,617	3.1	37.4%	36.2%
	依 存 財 源	25,840,445	26,301,383	△ 1.8	62.6%	63.8%
歳入	市 税	11,536,264	11,264,447	2.4	28.0%	27.3%
	市 債	4,244,700	4,755,700	△ 10.7	3.5%	3.7%
	臨 時 財 政 債 対 策 債	1,439,000	1,521,000	△ 5.4	3.5%	3.7%
	合 併 特 例 債	915,500	1,573,900	△ 41.8	2.3%	3.8%
	そ の 他	1,890,200	1,660,800	13.8	4.6%	4.1%
歳出	義 務 的 経 費	20,683,907	20,302,115	1.9	50.1%	49.2%
	投 資 的 経 費	4,728,576	5,450,061	△ 13.2	11.5%	13.2%
	そ の 他 の 経 費	15,837,517	15,497,824	2.2	38.4%	37.6%

市 税 の 状 況

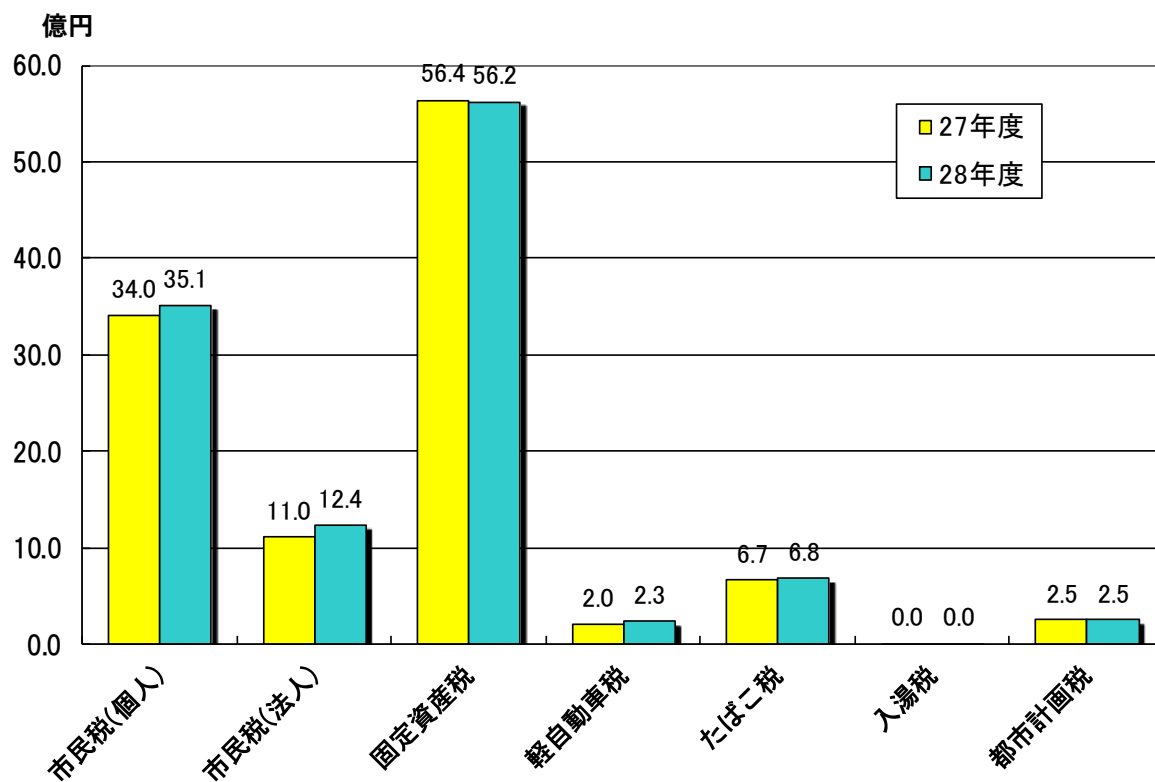
(単位:千円)

区 分		平 成 28 年 度		平 成 27 年 度		増 減 額	伸 率 (%)
		予算額	構成比	予算額	構成比		
市 民 税	個 人	3,512,430	30.4%	3,402,591	30.2%	109,839	3.2
	法 人	1,235,468	10.7%	1,104,211	9.8%	131,257	11.9
固定資産税	固定資産税	5,591,558	48.4%	5,604,508	49.8%	△ 12,950	△ 0.2
	国有資産等	31,433	0.3%	33,171	0.3%	△ 1,738	△ 5.2
軽 自 動 車 税		232,203	2.1%	201,882	1.8%	30,321	15.0
た ば こ 税		680,203	5.9%	665,088	5.9%	15,115	2.3
鉦 産 税		1	0.0%	1	0.0%	0	0.0
入 湯 税		3,904	0.0%	3,904	0.0%	0	0.0
都 市 計 画 税		249,064	2.2%	249,091	2.2%	△ 27	△ 0.0
計		11,536,264	100.0%	11,264,447	100.0%	271,817	2.4

H28 市税の構成比



市税の前年度比較



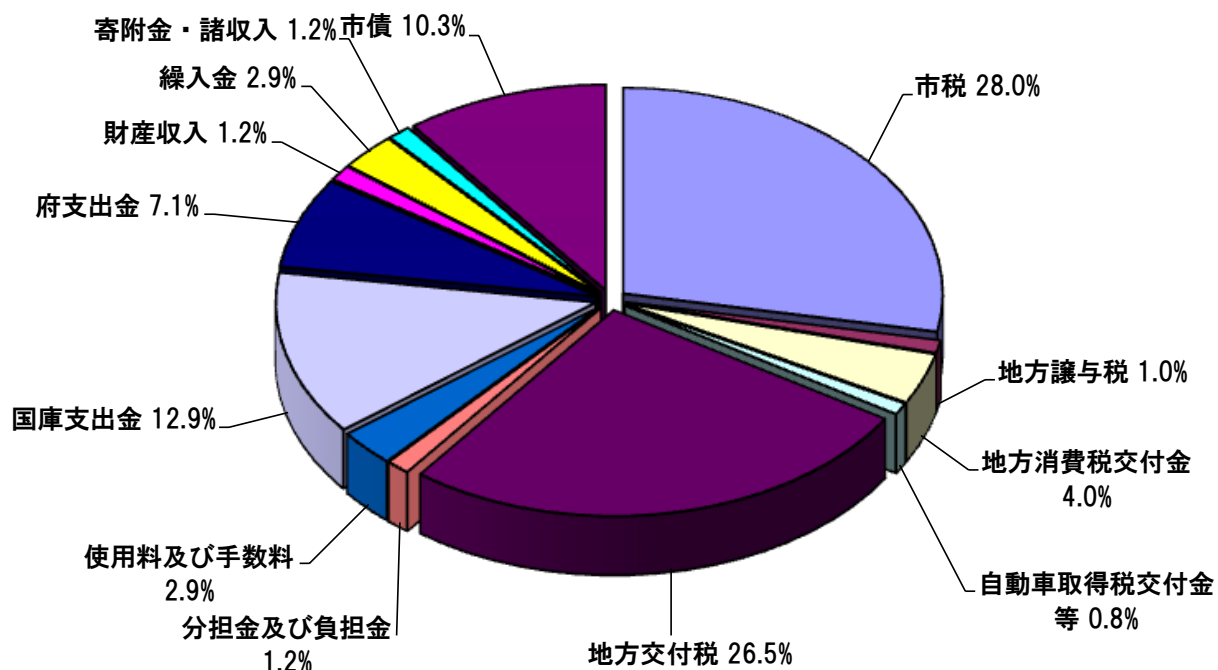
◆一般会計歳入予算

平成28年度 一般会計予算

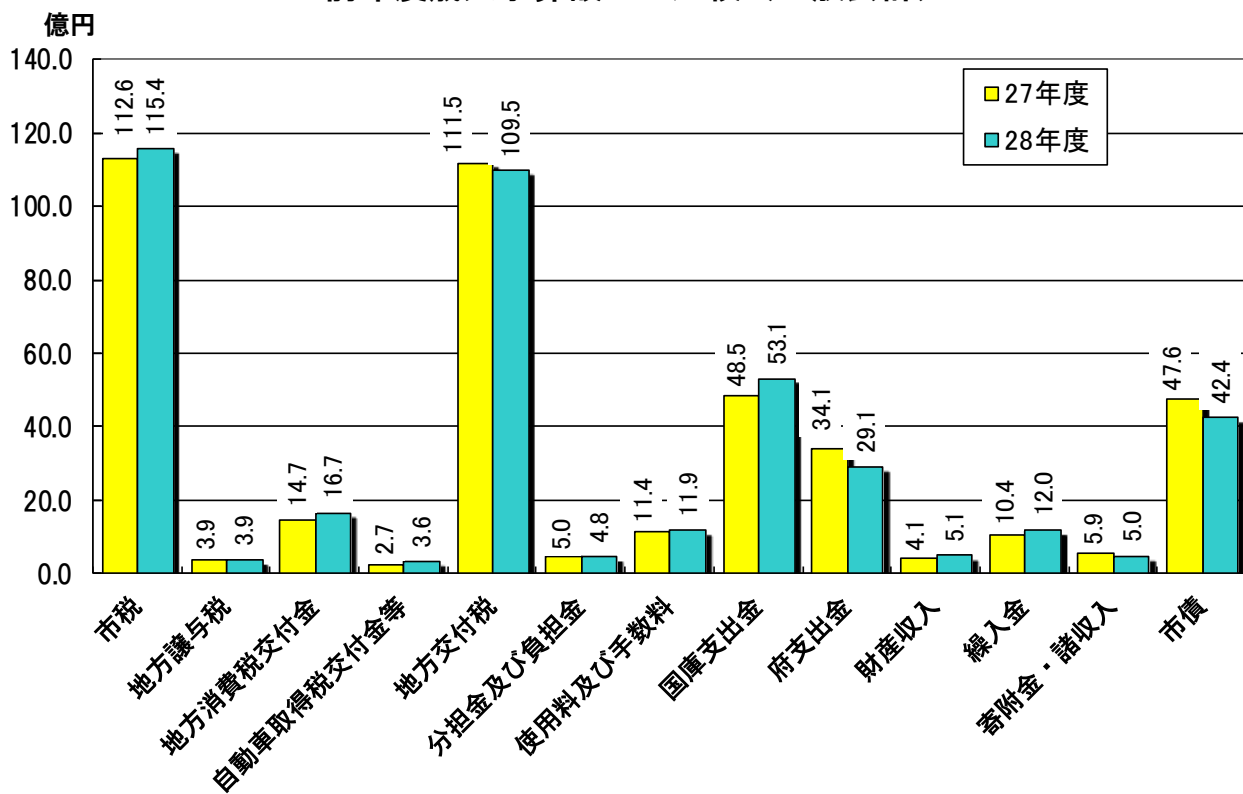
(単位 千円)

歳 入						
科 目	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 額 (A)-(B) (C)	伸率(%) (C)/(B)	平成28年度 構成比(%)	平成27年度 構成比(%)
市 税	11,536,264	11,264,447	271,817	2.4	28.0	27.3
地 方 譲 与 税	392,000	391,000	1,000	0.3	1.0	0.9
利 子 割 交 付 金	25,000	22,000	3,000	13.6	0.1	0.1
配 当 割 交 付 金	91,000	47,000	44,000	93.6	0.2	0.1
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	60,000	23,000	37,000	160.9	0.1	0.1
地方消費税交付金	1,670,000	1,470,000	200,000	13.6	4.0	3.6
ゴルフ場利用税金 交 付 金	10,000	9,000	1,000	11.1	0.0	0.0
自 動 車 取 得 税 交 付 金	88,000	92,000	△ 4,000	△ 4.3	0.2	0.2
国有提供施設等所在 市町村助成交付金	18,000	18,000	0	0.0	0.1	0.1
地方特例交付金	50,000	47,000	3,000	6.4	0.1	0.1
地 方 交 付 税	10,948,000	11,150,000	△ 202,000	△ 1.8	26.5	27.0
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	15,000	16,000	△ 1,000	△ 6.3	0.0	0.0
分担金及び負担金	484,276	498,734	△ 14,458	△ 2.9	1.2	1.2
使用料及び手数料	1,189,851	1,142,300	47,551	4.2	2.9	2.8
国 庫 支 出 金	5,313,768	4,849,357	464,411	9.6	12.9	11.8
府 支 出 金	2,914,977	3,411,326	△ 496,349	△ 14.6	7.1	8.3
財 産 収 入	505,219	413,027	92,192	22.3	1.2	1.0
寄 附 金	12,301	6,801	5,500	80.9	0.0	0.0
繰 入 金	1,198,913	1,043,839	155,074	14.9	2.9	2.5
諸 収 入	482,731	579,469	△ 96,738	△ 16.7	1.2	1.4
市 債	4,244,700	4,755,700	△ 511,000	△ 10.7	10.3	11.5
うち臨時財政対策債	1,439,000	1,521,000	△ 82,000	△ 5.4	3.5	3.7
歳 入 合 計	41,250,000	41,250,000	0	0.0	100.0	100.0

H28 一般会計歳入予算の構成比



前年度歳入予算額との比較（一般会計）



◆一般会計歳出予算（目的別）

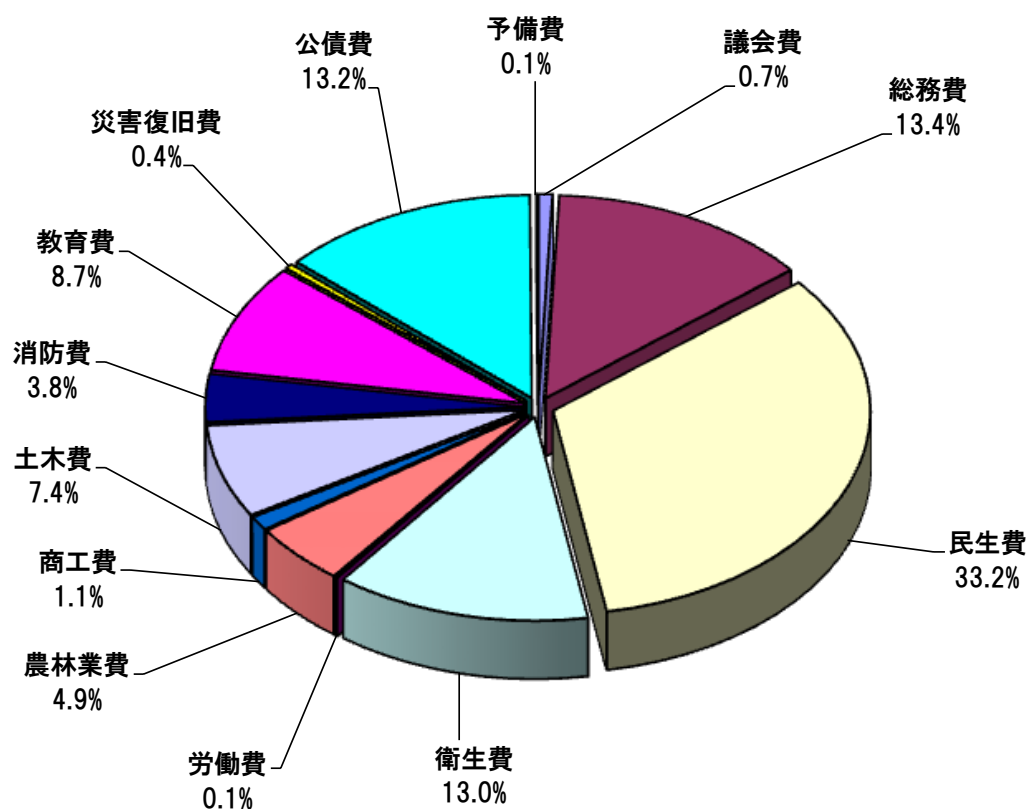
（単位 千円）

歳 出						
科 目	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増減額 (A)－(B) (C)	伸率(%) (C)／(B)	平成28年度 構成比(%)	平成27年度 構成比(%)
議 会 費	304,838	329,310	△ 24,472	△ 7.4	0.7	0.8
総 務 費	5,525,812	5,874,435	△ 348,623	△ 5.9	13.4	14.2
民 生 費	13,707,557	13,928,263	△ 220,706	△ 1.6	33.2	33.8
衛 生 費	5,376,633	5,334,486	42,147	0.8	13.0	12.9
労 働 費	21,314	61,258	△ 39,944	△ 65.2	0.1	0.2
農 林 業 費	2,000,776	2,175,377	△ 174,601	△ 8.0	4.9	5.3
商 工 費	465,447	466,493	△ 1,046	△ 0.2	1.1	1.1
土 木 費	3,051,711	2,585,389	466,322	18.0	7.4	6.3
消 防 費	1,577,544	1,427,732	149,812	10.5	3.8	3.5
教 育 費	3,581,498	3,188,929	392,569	12.3	8.7	7.7
災 害 復 旧 費	140,000	550,486	△ 410,486	△ 74.6	0.4	1.3
公 債 費	5,446,870	5,277,842	169,028	3.2	13.2	12.8
予 備 費	50,000	50,000	0	0.0	0.1	0.1
歳 出 合 計	41,250,000	41,250,000	0	0.0	100.0	100.0

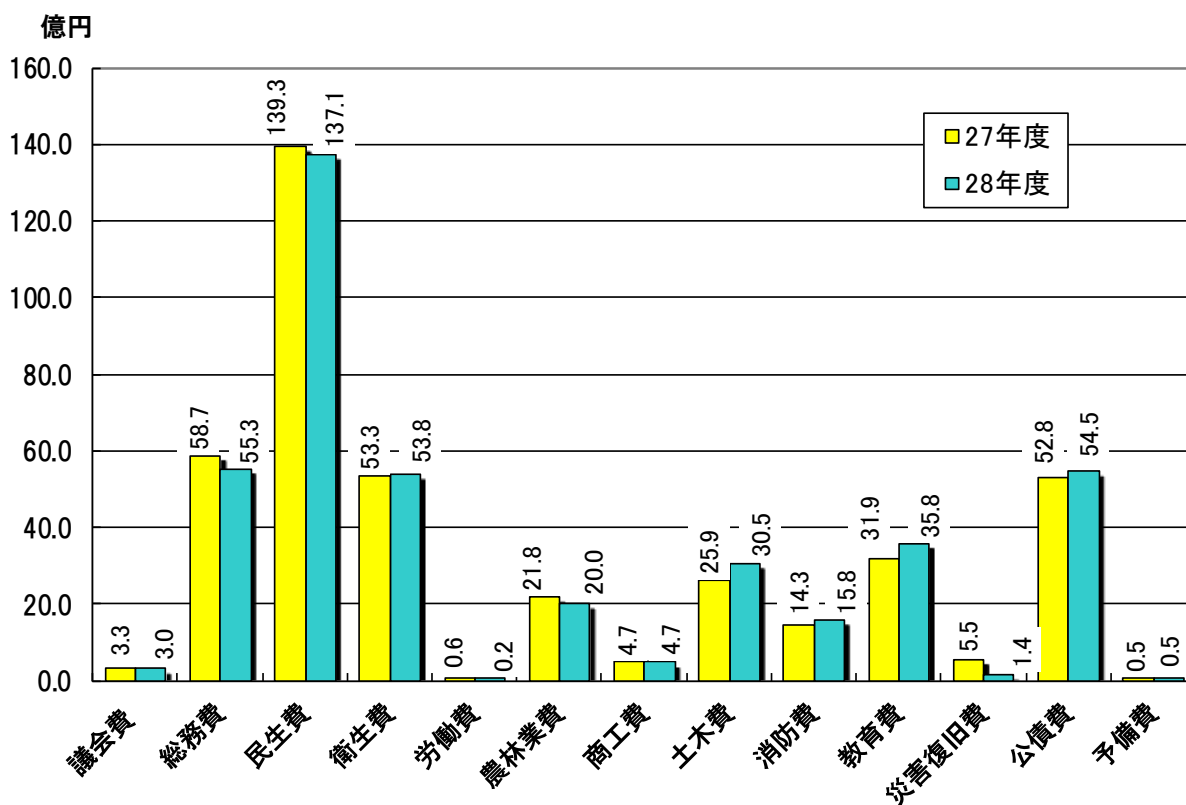
（再掲）いわゆる教育予算（教育費＋児童福祉費（子育て支援））

科 目	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増減額 (A)－(B) (C)	伸率(%) (C)／(B)	平成28年度 構成比(%)	平成27年度 構成比(%)
い わ ゆ る 教 育 予 算	8,783,259	8,845,850	△ 62,591	△ 0.7	21.3	21.4
教 育 費	3,581,498	3,188,929	392,569	12.3	8.7	7.7
児 童 福 祉 費	5,201,761	5,656,921	△ 455,160	△ 8.0	12.6	13.7

H28 歳出予算の構成比（一般会計・目的別）



前年度歳出予算額との比較（一般会計・目的別）



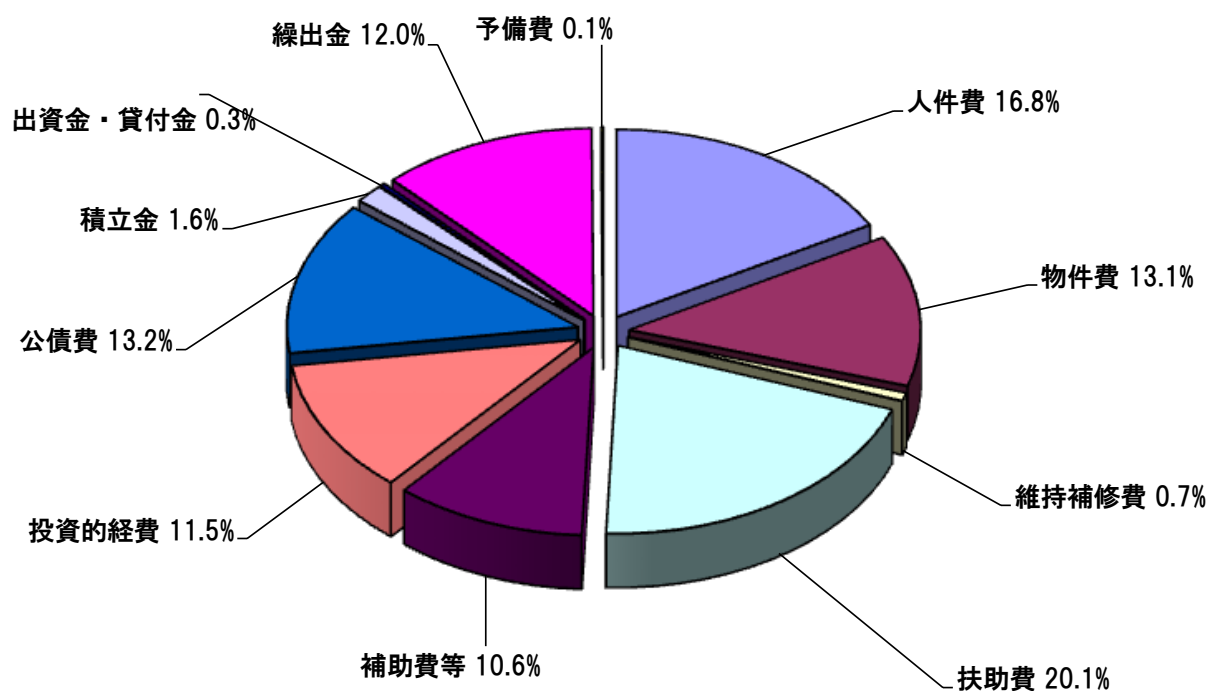
◆一般会計歳出予算（性質別）

一般会計性質別予算

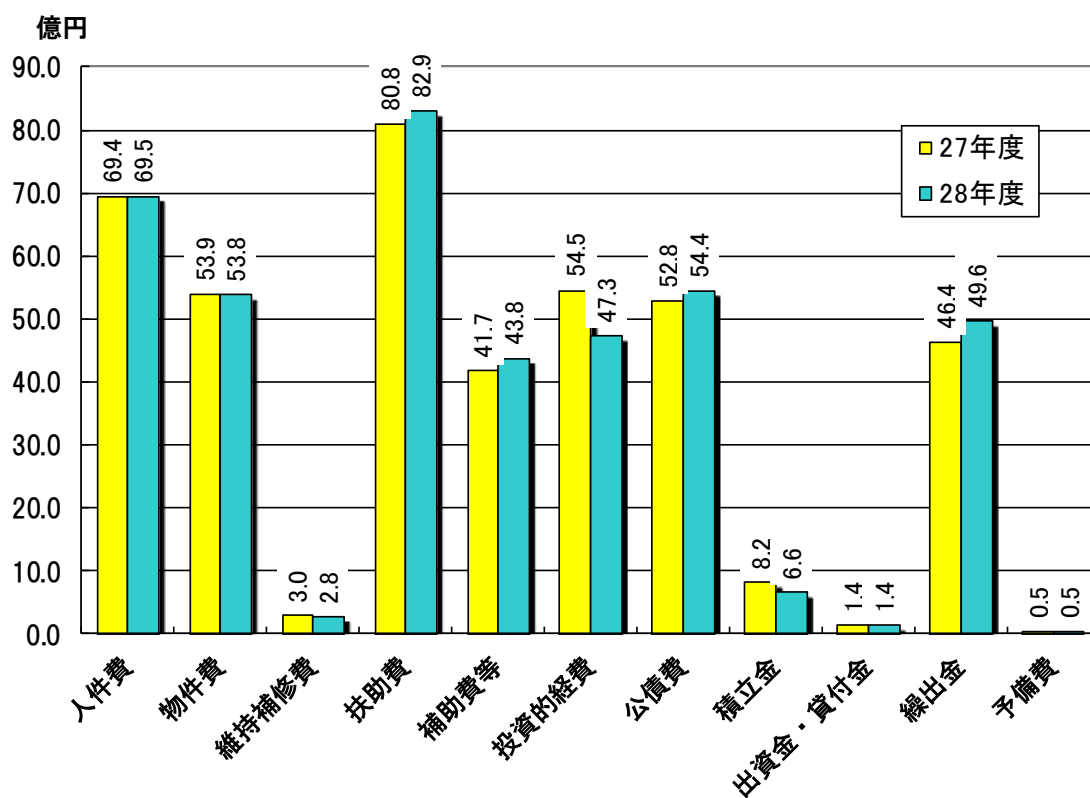
（単位 千円）

区 分	平成28年度 (A)	平成27年度 (B)	増 減 額 (A)-(B) (C)	伸率(%) (C)/(B)	平成28年度 構成比 (%)	平成27年度 構成比 (%)
人 件 費	6,946,059	6,939,829	6,230	0.1	16.8%	16.8%
うち 議員給与費	168,333	166,817	1,516	0.9	0.4%	0.4%
うち 職員給与費	4,977,487	4,998,028	△ 20,541	△ 0.4	12.1%	12.1%
物 件 費	5,382,879	5,385,352	△ 2,473	△ 0.0	13.1%	13.1%
維 持 補 修 費	282,443	295,586	△ 13,143	△ 4.4	0.7%	0.7%
扶 助 費	8,294,124	8,084,444	209,680	2.6	20.1%	19.6%
補 助 費 等	4,376,512	4,172,420	204,092	4.9	10.6%	10.2%
投 資 的 経 費	4,728,576	5,450,061	△ 721,485	△ 13.2	11.5%	13.2%
うち人件費	228,545	229,264	△ 719	△ 0.3	0.6%	0.6%
普 通 建 設 費 普 事 業 費	4,588,576	4,899,575	△ 310,999	△ 6.3	11.1%	11.8%
補助事業費	2,032,883	1,905,306	127,577	6.7	4.9%	4.6%
単独事業費	2,555,693	2,994,269	△ 438,576	△ 14.6	6.2%	7.2%
災 害 復 旧 費 事 業 費	140,000	550,486	△ 410,486	△ 74.6	0.4%	1.3%
公 債 費	5,443,724	5,277,842	165,882	3.1	13.2%	12.8%
積 立 金	660,002	820,600	△ 160,598	△ 19.6	1.6%	2.0%
出 資 金・貸 付 金	126,300	135,400	△ 9,100	△ 6.7	0.3%	0.3%
繰 出 金	4,959,381	4,638,466	320,915	6.9	12.0%	11.2%
予 備 費	50,000	50,000	0	0.0	0.1%	0.1%
計	41,250,000	41,250,000	0	0.0	100.0%	100.0%

H28 歳出予算の構成比(一般会計・性質別)



前年度歳出予算額との比較(一般会計・性質別)



◆基金と市債の残高

○ 一般会計の基金残高の状況

(単位 千円)

	H26年度末 決算	H27年度末 残高見込	H28年度(見込)			
			元金積立	利子積立	取崩	年度末残高
財源対策のための基金	4,160,922	5,019,374 ^(A)	196,214 ^(B)	10,660 ^(C)	615,938 ^(D)	4,610,310 ^{(A)+(B)+(C)-(D)}
財政調整基金	1,863,192	2,299,798	-	5,113	300,000	2,004,911
減債基金	1,132,846	1,552,129	104,303	2,978	233,781	1,425,629
公共施設等総合管理基金	-	-	91,911	-	82,157	9,754
合併算定替通減対策基金	1,164,884	1,167,447	-	2,569	-	1,170,016
地域振興基金 (※合併特例債を発行して積み立てた基金)	2,453,372	2,662,468	-	7,008	32,926	2,636,550
その他の基金	3,321,024	3,196,991	436,062	6,911	550,049	3,089,915
鉄道網整備事業基金	348,177	261,557	60,751	564	12,242	310,630
第三セクター等改革推進債償還基金	17,986	13,548	189,875	51	200,000	3,474
その他の基金	2,954,861	2,921,886	185,436	6,296	337,807	2,775,811
合 計	9,935,318	10,878,833	632,276	24,579	1,198,913	10,336,775

※定額運用基金・特別会計を除く

○ 市債残高の状況

(1) 一般会計

(単位 千円)

	H26年度末 現在高	H27年度末 現在高見込	H28年度中 増減見込		
			起債見込	償還見込	年度末残高見込
合 計	51,758,662	53,190,240 ^(A)	4,244,700 ^(B)	4,869,939 ^(C)	52,565,001 ^{(A)+(B)-(C)}
合併特例事業債 ①	13,380,498	15,261,241	915,500	786,909	15,389,832
第三セクター等改革推進債	2,017,822	1,538,531	-	450,125	1,088,406
過疎対策事業債	4,200,984	3,951,687	381,700	810,592	3,522,795
辺地対策事業債	378,848	618,486	126,500	24,482	720,504
臨時財政対策債	15,664,183	16,403,683	1,439,000	889,077	16,953,606
その他の市債	16,116,327	15,416,612	1,382,000	1,908,754	14,889,858

(2) 地域情報通信ネットワーク事業特別会計

(単位 千円)

合 計	2,687,020	2,225,008	201,200	759,880	1,666,328
合併特例事業債 ②	2,687,020	2,225,008	94,300	759,880	1,559,428
過疎対策事業債 ③	-	-	101,500	-	101,500
辺地対策事業債 ④			5,400	-	5,400

(参考) 合併特例事業債

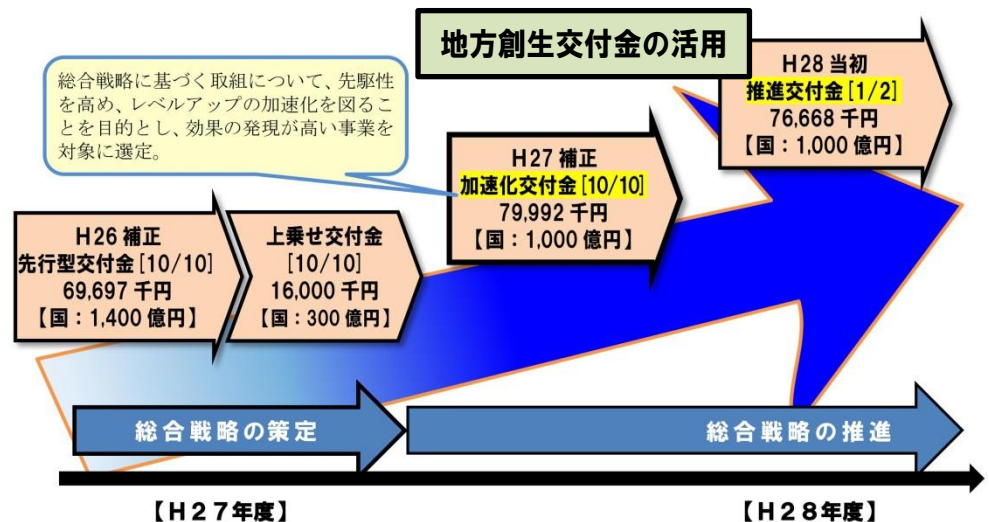
(単位 千円)

①+②	16,067,518	17,486,249	1,009,800 ^(D)	1,546,789	16,949,260
合併特例事業債の発行額 累計 (H18～)	H26年度末	H27年度末 (見込)	H28年度末 (見込)	発行可能総額 (合併時に決定)	H29以降 発行可能残額
	18,858,200	21,189,100 ^(E)	22,198,900 ^{(F)=(D)+(E)}	26,966,700 ^(G)	4,767,800 ^{(G)-(F)}

**平成 2 8 年度前倒し予算
(平成 2 7 年度補正予算) の概要**

◆前倒し補正の経緯と目的

人口減少を克服するため、「しごと」が「ひと」を、「ひと」が「しごと」を呼び込む好循環を確立すること、そのために「まち」の活力と市民生活の「あんしん」を創り出すことを主眼として福知山市は「福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略」を策定しました。この取組を進めるため平成 26 年度は国の「先行型交付金」を活用しました。



今般国の補正予算が成立し、「加速化交付金」（補助率 10/10）が最大約 8000 万円見込まれることから、総合戦略に位置付けた事業であって、広域連携を中心とした以下の 4 事業を地方創生加速化交付金の対象として前倒し実施します。

No. 1 京都府北部地域連携都市圏 地（知）の拠点の推進事業 ①教育分野

福知山公立大学において「北近畿地域連携センター」の設置運営の支援

No. 2 京都府北部地域連携都市圏広域観光推進事業 ③観光分野

京都府北部 7 市町で相互の連携と役割分担により観光DMO組織の設立負担金
京都丹後鉄道の特急車両を全面改装の負担金
福知山市のマスタープランに掲げる事業の実施

No. 3 森の京都DMO地域活性化推進事業 ③観光分野

森の京都DMO組織を設立負担金と森の京都博の開催負担金 市内において森の京都に森の京都関連する各種事業の実施

No. 4 京都府北部地域連携都市圏移住・定住プロジェクト ②移住・定住分野

京都府北部地域連携都市圏における移住・定住事業に係る負担金

京都府北部地域連携都市圏の取組状況について

1 経過及び現状

平成 27 年 4 月に、「京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会」を設置しました。

現在、協議会において都市圏の将来ビジョンや分野毎の広域連携プロジェクトに関する協議等を進めています。平成 29 年度を目途に推進・執行体制の確立を目指しています。

2 基本的方向

国の新たな連携支援制度の創設検討等も念頭に、北部地域全体を一つの圏域とした地方創生を推進することとしています。

○主なビジョン策定分野

①教育分野 ②移住・定住分野 ③観光分野 ④産業分野 ⑤交通分野 など

*一部において、国の加速化交付金を活用し、平成 28 年度から連携プロジェクトを先行

◆会計別 補正予算額一覧

(単位:千円)

会 計 名		補正前の額	3月補正額 (前倒し分)	補正後の額
一 般 会 計		41,819,811	495,099	42,314,910
特 別 会 計	国民健康保険事業		9,674,018	9,674,018
	国民健康保険診療所費		49,800	49,800
	と畜場費		32,500	32,500
	簡易水道事業		1,046,302	1,046,302
	宅地造成事業		42,000	42,000
	休日急患診療所費		21,500	21,500
	公設地方卸売市場事業		7,000	7,000
	農業集落排水施設事業		1,085,997	1,085,997
	福知山都市計画事業石原土地区画整理事業		894,400	894,400
	福知山都市計画事業福知山駅周辺土地区画整理事業		114,000	114,000
	介護保険事業	保険事業勘定	7,988,274	7,988,274
		介護サービス事業勘定	34,490	34,490
	大江都市計画事業河守土地区画整理事業		26,500	26,500
	下夜久野地区財産区管理会		172	172
	後期高齢者医療事業		1,896,144	1,896,144
	地域情報通信ネットワーク事業		2,627,357	2,627,357
	小 計		25,540,454	25,540,454
企 業 会 計	水道事業		3,277,300	3,277,300
	下水道事業		6,946,289	6,946,289
	病院事業	福知山市民病院	11,928,801	11,928,801
		大江分院	1,582,335	1,582,335
		計	13,511,136	13,511,136
	小 計		23,734,725	23,734,725
合 計		91,094,990	495,099	91,590,089

◆一般会計歳入 補正予算額一覧

(単位:千円)

款	補正前の額	3月補正額 (前倒し分)	補正後の額
01 市税	11,264,447		11,264,447
02 地方譲与税	391,000		391,000
03 利子割交付金	22,000		22,000
04 配当割交付金	47,000		47,000
05 株式等譲渡所得割交付金	23,000		23,000
06 地方消費税交付金	1,470,000		1,470,000
07 ゴルフ場利用税交付金	9,000		9,000
08 自動車取得税交付金	92,000		92,000
09 国有提供施設等所在市町村助成交付金	18,000		18,000
10 地方特例交付金	47,000		47,000
11 地方交付税	11,150,000		11,150,000
12 交通安全対策特別交付金	16,000		16,000
13 分担金及び負担金	500,237		500,237
14 使用料及び手数料	1,142,300		1,142,300
15 国庫支出金	4,996,847	445,617	5,442,464
16 府支出金	3,484,908	15,000	3,499,908
17 財産収入	413,027		413,027
18 寄附金	96,801		96,801
19 繰入金	1,043,839		1,043,839
20 諸収入	582,401		582,401
21 市債	4,926,400	11,200	4,937,600
22 繰越金	83,604	23,282	106,886
一般会計合計	41,819,811	495,099	42,314,910

◆一般会計歳出 補正予算額一覧（目的別）

（単位：千円）

款	補正前の額	3月補正額 (前倒し分)	補正後の額
01 議会費	323,822		323,822
02 総務費	6,154,560	62,022	6,216,582
03 民生費	14,102,667	340,780	14,443,447
04 衛生費	5,344,991		5,344,991
05 労働費	61,258		61,258
06 農林業費	2,230,319	25,920	2,256,239
07 商工費	467,539	17,674	485,213
08 土木費	2,612,207		2,612,207
09 消防費	1,440,526		1,440,526
10 教育費	3,202,493	48,703	3,251,196
11 災害復旧費	551,587		551,587
12 公債費	5,277,842		5,277,842
13 予備費	50,000		50,000
一般会計合計	41,819,811	495,099	42,314,910

◆一般会計歳出 補正予算額一覧（性質別）

（単位：千円）

区 分	補正前の額	3月 補正額 (前倒し分)	補正後の額
人 件 費	6,889,979		6,889,979
うち 議員給与費	162,881		162,881
うち 職員給与費	4,990,722		4,990,722
物 件 費	5,434,021	62,079	5,496,100
維 持 補 修 費	296,286		296,286
扶 助 費	8,207,148	330,000	8,537,148
補 助 費 等	4,250,993	71,602	4,322,595
投 資 的 経 費	5,743,364	31,418	5,774,782
う ち 人 件 費	229,264		229,264
普 通 建 設 費	5,192,878	31,418	5,224,296
補助事業費	1,934,257	31,418	1,965,675
単独事業費	3,258,621		3,258,621
災 害 復 旧 費	550,486		550,486
公 債 費	5,277,842		5,277,842
積 立 金	910,600		910,600
出 資 金 ・ 貸 付 金	135,400		135,400
繰 出 金	4,624,178		4,624,178
予 備 費	50,000		50,000
一般会計合計	41,819,811	495,099	42,314,910

◆ 3月前倒し補正予算 主要事項

※「地方創生加速化交付金」活用 15事業ほか 計21事業

(単位: 千円)

体系		事業名	補正額	うち 「加速化 交付金」等 国費充当額	担当課	ページ
一般会計	■ 地方創生加速化交付金活用事業					
	Ⅰ 福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					
		「森の京都 福知山」全国育樹祭記念事業	5,950	5,950	林業振興課	36
		「森の京都」DMO事業	4,500	4,500	林業振興課	37
		「森の京都 福知山」夜久野高原・道の駅支援事業	1,000	1,000	夜久野支所	38
		「森の京都 福知山」夜久野高原玄武岩コンサート事業	800	800	夜久野支所	39
		「森の京都 福知山」丹波漆振興事業	198	198	夜久野支所	40
		「森の京都 福知山」元伊勢内宮参道マルシェ事業	800	800	大江支所	41
		「森の京都 福知山」児童絵画展示事業	470	470	林業振興課	42
		「森の京都 福知山」酒呑童子と金太郎展開事業	800	800	生涯学習課	43
		海の京都DMO事業	12,390	12,390	観光振興課	44
		福知山お城まつり支援事業	3,168	3,168	観光振興課	45
		スイーツフェスティバル事業	1,200	1,200	観光振興課	46
		ふるさと就職おうえん事業	916	916	商工振興課	47
		Ⅱ 福知山市への新しいひとの流れをつくる				
		福知山公立大学「学びの拠点」推進事業	23,730	23,730	大学政策課	54
		移住・定住促進事業	7,652	7,652	まちづくり推進課	56
		Ⅳ 時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
		KTR支援事業	16,418	16,418	生活交通課	69
		小計	79,992	79,992	加速化交付金	
その他の補正予算第1号分	年金生活者等支援臨時福祉給付金事業	340,780	340,780	地域福祉課	138	
	担い手確保・経営強化支援事業	15,000	15,000	農業振興課	30	
	インターネット系業務ネットワーク環境整備事業	21,658	6,923	情報推進課	50	
	社会保障・税番号制度実施に係る整備事業	13,496	13,496	市民課	51	
	小学校ICT環境整備事業	18,211	2,766	教育総務課	52	
	中学校ICT環境整備事業	5,962	1,660	教育総務課	52	
	小計	415,107	380,625			
一般会計 計		495,099	460,617			
全会計 合計		495,099	460,617			

平成 2 8 年度予算 主要事項（前倒し予算含む）

◆平成 28 年度予算 地方創生総合戦略事業

明日へつなぐ活気あふれる“次世代創造” ～まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略事業

44事業 645,920千円（うち前倒し 20事業 154,319千円）

通しNo	事業名	担当室・課	増減 区分	事業費 (千円)	ページ
------	-----	-------	----------	-------------	-----

※前倒しH27補正計上事業も含めています。

I 福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

1 農林水産業の振興

1	担い手確保・経営強化支援事業	前倒し	農業振興課	新規	15,000	30
2	6次産業推進事業		農業振興課	継続	2,317	31-32

2 商工業の振興

3	起業おうえん事業		商工振興課	拡充	6,113	33
4	販路開拓支援事業		商工振興課	拡充	1,700	34
5	中小企業サポートセンター事業		商工振興課	継続	2,437	35

3 観光業の振興

6	「森の京都 福知山」全国育樹祭記念事業	前倒し	林業振興課	新規	5,950	36
7	「森の京都」DMO事業	前倒し	林業振興課	新規	4,500	37
8	「森の京都 福知山」夜久野高原・道の駅支援事業	前倒し	夜久野支所	継続	1,000	38
9	「森の京都 福知山」夜久野高原玄武岩コンサート事業	前倒し	夜久野支所	継続	800	39
10	「森の京都 福知山」丹波漆振興事業	前倒し	夜久野支所	継続	198	40
11	「森の京都 福知山」元伊勢内宮参道マルシェ事業	前倒し	大江支所	継続	800	41
12	「森の京都 福知山」児童絵画展示事業	前倒し	林業振興課	新規	470	42
13	「森の京都 福知山」酒吞童子と金太郎展開事業	前倒し	生涯学習課	新規	800	43
14	海の京都DMO事業	前倒し	観光振興課	新規	12,390	44
15	福知山お城まつり支援事業	前倒し	観光振興課	継続	3,168	45
16	スイーツフェスティバル事業	前倒し	観光振興課	継続	1,200	46

4 雇用の確保

17	ふるさと就職おうえん事業（地方創生加速化交付金）	前倒し	商工振興課	新規	916	47
18	介護人材確保対策事業		高齢者福祉課	継続	15,610	48-49

6 高度情報化の推進

19	インターネット系業務ネットワーク環境整備事業	前倒し	情報推進課	新規	21,658	50
20	社会保障・税番号制度実施に係る整備事業	前倒し	市民課	拡充	13,496	51
21	小学校ICT環境整備事業	前倒し	教育総務課	拡充	18,211	52
22	中学校ICT環境整備事業	前倒し	教育総務課	拡充	5,962	52

通しNo	事業名	担当室・課	増減区分	事業費 (千円)	ページ
------	-----	-------	------	-------------	-----

II 福知山市への新しいひとの流れをつくる

1 地（知）の拠点としての地方大学の強化

23	福知山公立大学運営費交付金事業	大学政策課	新規	309,812	53
24	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業	前倒し 大学政策課	新規	23,730	54
25	福知山公立大学就学生支援事業	大学政策課	新規	3,762	55

2 移住・定住の促進

26	移住・定住促進事業	一部前倒し まちづくり推進課	新規	16,191	56
27	夜久野工芸村丹波漆伝承サポート事業	夜久野支所	新規	3,298	57
28	農山村空き家バンク事業	農林管理課	継続	5,300	58
29	中丹式インターンシップ事業	企画課	継続	493	59

3 高等学校の特色を活かした活気の創出

30	高校生議会実施事業	市議会事務局	新規	88	60
----	-----------	--------	----	----	----

III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

2 妊娠・出産・育児の支援

31	不妊治療費助成事業	健康推進室	継続	9,434	61
----	-----------	-------	----	-------	----

3 子育て支援の充実

32	病児保育サービス事業	子育て支援課	継続	9,670	62
33	多子世帯保育料軽減事業（保育園分）	子育て支援課	継続	3,939	63

IV 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

1 市民協働による市街地・集落整備

34	夜久野地域協議会支援事業	夜久野支所	新規	7,902	64
35	大江地域協議会支援事業	大江支所	新規	13,533	65
36	三和地域協議会支援事業	三和支所	継続	12,310	66
37	中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク事業	商工振興課	拡充	8,235	67
38	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業	商工振興課	継続	6,000	68

通しNo	事業名	担当室・課	増減 区分	事業費 (千円)	ページ
------	-----	-------	----------	-------------	-----

2 公共交通の最適化

39	KTR支援事業(地方創生加速化交付金)	前倒し	生活交通課	継続	16,418	69
40	福知山市地域公共交通再編実施計画策定事業		生活交通課	継続	9,308	70
41	敬老乗車券事業		生活交通課	継続	12,293	71

3 防災対策、消防・救急体制の強化

42	災害対策再エネ・省エネ推進事業		環境政策室	新規	600	72
----	-----------------	--	-------	----	-----	----

4 保健・医療・福祉の包括的な推進

43	女性のためのがん検診推進事業		健康推進室	継続	35,708	73-74
----	----------------	--	-------	----	--------	-------

6 ふるさとづくりの推進

44	元気出す地域活力支援事業		まちづくり推進課	継続	3,200	75
----	--------------	--	----------	----	-------	----

◆平成 28 年度予算 防災機能強化事業一覧

通しNo	事業名	担当室・課	増減 区分	事業費 (千円)	ページ
------	-----	-------	----------	-------------	-----

★ 災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化

(1) 防災・減災施設の強化

45	農村地域防災減災事業	農林管理課	新規	48,000	76
46	弘法川等河川改修関連橋りょう整備事業	土木課	新規	30,000	77
47	調節池整備事業	土木課	継続	90,000	78
48	災害に強い森づくり事業	林業振興課	継続	34,000	79
49	府営ため池整備事業	農林管理課	継続	14,200	80
50	ため池等農地災害危機管理対策事業	農林管理課	継続	3,500	81
51	猪崎川北線緊急避難道整備事業	土木課	継続	2,700	82

(2) 情報伝達体制の強化

52	防災マップ整備事業	危機管理室	新規	13,508	83
53	防災情報ライブカメラ整備事業	危機管理室	継続	3,200	84
54	防災情報緊急告知ラジオ導入事業	危機管理室	継続	2,849	85

(3) 消防防災体制の強化

55	消防車両更新事業	消防本部警防課	継続	72,353	86
56	自主防災組織地域防災マップ作成事業	危機管理室	継続	3,000	87
57	消防団資機材整備事業	消防本部総務課	拡充	5,751	88
58	自主防災組織育成補助事業	危機管理室	継続	2,300	89
59	福祉避難所運営事業	高齢者福祉課	継続	750	90

◆平成 28 年度予算 公共施設マネジメント推進事業一覧

通しNo	事業名	担当室・課	増減 区分	事業費 (千円)	ページ
------	-----	-------	----------	-------------	-----

★ 公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして

(1) 公共施設の統合

60	公共施設最適化事業(保健・福祉施設)	健康推進室	新規	32,125	91
61	消防団施設整備事業	消防本部警防課	継続	60,252	92

(2) 公共施設の民間譲渡

62	公共施設民間譲渡事業	農業振興課ほか	新規	29,212	93
----	------------	---------	----	--------	----

(3) 公共施設の除却

63	公共施設除却事業	人権推進室ほか	新規	165,350	94-96
----	----------	---------	----	---------	-------

(4) その他公共施設の整理

64	市有地販売事業	資産活用課	拡充	110,839	97
65	総合福祉会館等施設管理事業	地域福祉課	拡充	5,244	98
66	閉校施設用地整理事業	教育総務課	継続	2,777	99

◆平成 28 年度予算「未来創造 福知山」 主要事業一覧

『未来創造 福知山』多様性あふれる高次機能都市をめざして

通しNo	事業名	担当室・課	増減 区分	事業費 (千円)	ページ
------	-----	-------	----------	-------------	-----

1. 市民が主体のまちづくり（協働・人権）

(1) 市民協働の推進

67	議会ホームページリニューアル事業	議会事務局	新規	706	100
44	元気出す地域活力支援事業	まちづくり推進課	継続	3,200	75
68	政策マーケティング(100人ミーティング)事業	企画課	継続	2,366	101

(3) 男女共同参画の推進

69	男女共同参画保護救済事業	人権推進室	継続	2,907	102
----	--------------	-------	----	-------	-----

2. 人と文化・スポーツを育むまちづくり（教育・文化・スポーツ）

(1) 生涯学習の推進

70	佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業	図書館	継続	1,593	103
----	--------------------	-----	----	-------	-----

(2) 青少年の健全育成

71	地域で支える「地域未来塾」開講事業	生涯学習課	拡充	3,285	104
----	-------------------	-------	----	-------	-----

(3) 学校教育の充実

72	学校給食管理運営事業(市給食センター・大江給食センター)	学校給食センター	拡充	234,228	105
73	遷喬小学校プール整備事業	教育総務課	継続	85,050	106
74	日新中学校特別教室棟改築事業	教育総務課	継続	78,445	107
75	小学校・中学校耐震改修事業	教育総務課	継続	312,850	108
76	小学校・中学校施設空調設備設置事業	教育総務課	継続	161,920	109

(4) 高等学校との連携

30	高校生議会実施事業	市議会事務局	新規	88	60
----	-----------	--------	----	----	----

(5) 大学教育の充実

23	福知山公立大学運営費交付金事業	大学政策課	新規	309,812	53
24	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業	前倒し 大学政策課	新規	23,730	54
25	福知山公立大学就学生支援事業	大学政策課	新規	3,762	55

通しNo	事業名	担当室・課	増減 区分	事業費 (千円)	ページ
------	-----	-------	----------	-------------	-----

(7) 文化活動の推進

77	観光友好都市鬼伝説交流事業	大江支所	新規	746	110
78	観光友好都市交流事業	観光振興課	継続	615	111
79	日本鬼文化交流事業	大江支所	拡充	1,346	112
80	丹波福知山明智光秀サミット開催事業	まちづくり推進課	継続	4,874	113
81	福知山城魅力創出事業	まちづくり推進課	継続	3,202	114

(8) スポーツ活動の推進

82	三和荘駐車場兼用ペタンコート整備事業	三和支所	継続	29,886	115
83	スポーツ合宿補助事業	スポーツ振興課	継続	2,200	116
84	ノルディック・ウォークinふくちやま事業	スポーツ振興課	継続	260	117
85	SEA TO SUMMIT事業	スポーツ振興課	継続	740	118

3. だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり（生活基盤）

(1) 土地利用および市街地・集落整備

86	地籍調査事業	都市整備課	継続	54,077	119
----	--------	-------	----	--------	-----

(2) 公共交通の最適化

87	福祉有償運送実施団体活動補助事業	生活交通課	拡充	1,060	120
88	中心市街地活性化関連道路整備事業	土木課	継続	152,000	121

(3) 道路網の整備

89	街路事業（多保市正明寺線 高畑工区）	都市計画課	継続	556,492	122
90	広域交通網整備促進事業	土木課	継続	120,000	123
91	橋りょう長寿命化対策事業	土木課	継続	95,000	124
92	防衛施設周辺整備事業	土木課	継続	90,923	125
93	社会資本整備総合交付金事業（道路整備）	土木課	継続	80,000	126

(4) 生活空間の整備

94	三段池公園カルチャーパーク整備事業	都市計画課	継続	222,343	127
95	南天田団地建替事業	建築課	継続	31,200	128
96	公園施設長寿命化対策支援事業	都市計画課	継続	30,000	129

(5) 上下水道の整備

97	水洗化促進補助事業	お客様サービス課		66,931	130-131
----	-----------	----------	--	--------	---------

通しNo	事業名	担当室・課	増減 区分	事業費 (千円)	ページ
------	-----	-------	----------	-------------	-----

4. 豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり（防災・環境）

(1) 防災対策の強化

98	大規模建築物耐震化緊急支援事業	建築課	継続	23,000	132
----	-----------------	-----	----	--------	-----

(2) 消防・救急体制の強化

99	消防水利整備事業	消防本部警防課	継続	28,820	133
----	----------	---------	----	--------	-----

(4) 自然環境の保全・共生の推進

100	「森の京都 福知山」北陵総合センター整備事業	農林管理課	継続	35,000	134
101	美しい農村再生支援事業	農林管理課	継続	20,264	135
102	ふくちの村来人定住活動支援事業	農林管理課	継続	7,211	136
103	福知山千年の森づくり事業	農林管理課	継続	3,696	137

(5) 低炭素・循環型社会の形成

42	災害対策再エネ・省エネ推進事業	環境政策室	新規	600	72
----	-----------------	-------	----	-----	----

5. 子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり（保健・医療・福祉・子育て）

(2) 地域福祉の充実

104	年金生活者等支援臨時福祉給付金事業	前倒し	地域福祉課	新規	340,780	138
105	「絆」プロジェクト 手話のできる人材育成推進事業		地域福祉課	継続	1,110	139

(3) 子育て支援の充実

106	利用者支援事業（基本型・特定型）		子育て支援課	新規	589	140
107	地域子育て支援拠点事業		子育て支援課	拡充	4,432	141
108	放課後児童クラブ運営事業		生涯学習課	拡充	200,477	142
109	民間保育所施設整備事業		子育て支援課	継続	126,934	143
110	ふくふく医療費支給事業		子育て支援課	継続	69,956	144
32	病児保育サービス事業		子育て支援課	継続	9,670	62

(4) 障害のある人の福祉の充実

111	人工透析患者通院助成事業		社会福祉課	新規	2,908	145
112	障害者安心おでかけサポート事業		社会福祉課	縮小	3,963	146

(5) 高齢者福祉の充実

113	外出支援助成事業		高齢者福祉課	縮小	12,816	147
18	介護人材確保対策事業		高齢者福祉課	継続	15,610	48-49

(6) 生活支援の充実

114	生活保護扶助事業		社会福祉課	継続	1,742,339	148
115	生活困窮者自立支援事業		社会福祉課	継続	12,094	149

通しNo	事業名	担当室・課	増減 区分	事業費 (千円)	ページ
------	-----	-------	----------	-------------	-----

6. 地域の特徴を活かしたにぎわいのあるまちづくり（産業・地域活力）

(1) 農林水産業の振興

116	特用林産振興事業	林業振興課	拡充	400	150
117	有害鳥獣防除事業	林業振興課	拡充	6,384	151
118	有害鳥獣捕獲事業	林業振興課	継続	92,935	152
119	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業	林業振興課	継続	38,906	153
120	農地中間管理事業	農業振興課	継続	41,566	154
121	認定担い手農家育成助成事業	農業振興課	継続	3,200	155

(2) 商工業の振興

4	販路開拓支援事業	商工振興課	拡充	1,700	34
122	企業誘致促進特別対策事業	産業立地課	継続	51,980	156
123	小規模企業融資制度事業	商工振興課	継続	14,540	157
5	中小企業サポートセンター事業	商工振興課	継続	2,437	35

(3) 観光業の振興

123	「森の京都 福知山」エンジョイプログラム二瀬川散策コース整備	大江支所	継続	26,612	158
124	「森の京都 福知山」大江山グリーンロッジ整備事業	大江支所	継続	3,500	159
125	城下町福知山・まち歩き観光促進事業	商工振興課	継続	6,435	160

(4) 雇用の確保

124	試行雇用おうえん助成金交付事業	商工振興課	拡充	4,420	161
-----	-----------------	-------	----	-------	-----

7. 行財政効率の高いまちづくり

(1) 行政改革の推進

125	まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略推進事業	企画課	新規	1,673	162
126	ふるさと納税推進事業	財政課	新規	7,983	163
127	新地方公会計制度導入支援事業	財政課	継続	17,715	164
128	第三セクター等改革推進償還基金積立事業	財政課	継続	189,875	165
129	施設マネジメント事業	資産活用課	継続	5,424	166

特別会計・企業会計

○社会保障関連

130	国民健康保険事業	保険課	継続	9,352,000	167-168
131	国民健康保険診療所費	保険課	継続	50,400	169
132	休日急患診療所費	健康推進室	継続	23,100	170
133	介護保険事業(保険事業勘定)	高齢者福祉課	拡充	8,106,600	171-172
134	介護保険事業(介護サービス事業勘定)	高齢者福祉課	継続	22,400	173-174
135	後期高齢者医療事業	保険課	継続	1,862,700	175-176
136	病院事業	市民病院事務部	拡充	13,477,200	177-178

○上下水道等関連

137	簡易水道事業	上下水道部	継続	834,000	179-180
138	農業集落排水施設事業	上下水道部	継続	1,059,000	181
139	水道事業	上下水道部	継続	3,045,100	182
140	下水道事業	上下水道部	継続	6,956,400	183

○土地区画整理関連

141	石原土地区画整理事業	都市整備課	継続	700,600	184
142	福知山駅周辺土地区画整理事業	都市整備課	継続	64,400	185
143	河守土地区画整理事業	都市整備課	継続	18,800	186
144	宅地造成事業	農林管理課	継続	22,500	187

○その他

145	と畜場費	農業振興課	継続	32,500	188
146	公設地方卸売市場事業	農業振興課	継続	6,700	189
147	福知山市下夜久野地区財産区管理会	夜久野支所	継続	172	190
148	地域情報通信ネットワーク事業	情報推進課	継続	1,171,000	191-192

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	担い手確保・経営強化支援事業					新規
補正予算額	左の財源内訳					
	国	府	市債	その他	一般財源	
15,000		15,000				
1 事業の背景・目的 「総合的なTPP関連政策大綱」に即し、力強く持続可能な農業構造を実現するため、意欲ある農業者の経営発展を促進する農業用機械・施設等の導入を支援します。 2 事業の内容 (1) 助成対象者（対象となる経営体は以下のいずれかです。） ① 京力農場プランに位置づけられた中心経営体であって、かつ認定農業者、認定新規就農者又は集落営農組織。 ② 農地中間管理機構から賃借権の設定を受けている者。 (2) 助成対象事業 融資を活用した農産物の生産、加工、流通、販売などに必要な機械等の取得であって、機械ごとに50万円以上かつ耐用年数が概ね5年以上20年以下のものであること。 (トラクター、田植機、コンバイン、乾燥機、選果機、加工設備等) (3) 助成条件 機械等の導入による成果目標として、売上高の10%以上の拡大又は経営コストの10%以上の縮減を必須目標とすること。また、経営面積の拡大や6次産業化、高付加価値化などを選択目標とすること。 (4) 助成金 助成金額は、以下の①及び②により算定した額のうち低い額 ① = 事業費 × 1 / 2 ② = 融資額 3 事業費の内訳 補助金 15,000千円 4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 農林業費府補助金 15,000千円 (国の補正予算第1号分)						
担当課	農林商工部農業振興課		電話	直通 24-7044 内線 4121		

政策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					
事業名	6次産業推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,317	国	府	市債	その他	一般財源	—
	1,158				1,159	

1 事業の背景・目的

米価をはじめとする農産物価格が低迷する中、農業を守るためには農産物に付加価値を付ける6次産業化や販売促進活動の推進による農家所得の向上が必要であり、農産物加工に取り組む組織に対して加工施設整備や販売促進活動の支援を行います。また、首都圏の都市においてアンテナショップ事業に取り組み、地場産農産物の知名度向上と販路拡大を目指します。

2 事業の内容

1) 6次産業推進事業

農産加工組織などが取り組む加工用設備の導入や販売促進のためのギフト用化粧箱・パンフレット等の製作を支援し、新たな商品開発やブランド化を促進します。

【加工施設整備支援】(補助率) 30%以内 (上限) 300千円

【販売促進活動支援】(補助率) 50%以内 (上限) 200千円

2) 福知山産農産物PR事業

平成27年度に引き続き、東京都板橋区のハッピーロード大山商店街が運営する“全国ふる里ふれあいショップ”「とれたて村」において、年間を通した地場産農産物や農産加工品のPR販売を実施します。

また、東京都内で地元生産者団体が主体となって取り組むPR販売イベントを支援し、都市住民のニーズ把握や新たな商談の機会づくりを進めます。



「とれたて村」の店頭（東京都板橋区）

「とれたて村」の店内



ハッピーロード大山商店街内のハッピースクエアにおいて、「とれたて村」参加記念イベントとして開催した『京都丹波福知山ふるさとフェア』の様子



3 事業費の内訳

旅 費	252,000円 (PR販売イベント旅費)
需用費	40,000円 (消耗品、印刷製本費)
役務費	240,000円 (イベント物資運送料)
負担金	519,000円 (「とれたて村」参加負担金)
補助金	1,266,000円 (加工施設整備支援補助金ほか)

4 主な特定財源

国庫補助金 (地方創生推進交付金)	1,158千円
-------------------	---------

担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044 内線 4121
-----	------------	----	--------------------

政策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					
事業名	起業おうえん事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
6, 113	国	府	市債	その他	一般財源	—
	3, 056			2, 859	198	
1 事業の背景・目的						
市内の事業所数が減少傾向にある中、市内で新たに事業を営む者及び創業支援事業者（福知山商工会議所・福知山市商工会）を支援し、起業及び雇用を促進することで産業の活性化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とします。						
2 事業の内容						
○起業家支援事業補助金						
市内で新たに起業する者に対し、広告宣伝費等の経費の一部を補助する。						
また平成28年度より事業所改修費や設備購入等にも補助対象枠を拡大する。						
○起業相談会						
専門家による起業の個別相談会を2回実施する。						
○創業セミナー						
専門家等による創業セミナーを2回実施する。						
○起業おうえん助成金						
創業関連融資利用者に対し、6か月分の利子を全額補給する。						
3 事業費の内訳						
○報償費 起業相談会講師謝礼 32千円						
○需用費 チラシ印刷ほか 146千円						
○役務費 広告料 249千円						
○委託料 創業セミナー開催（2回） 100千円×1.08×2回＝216千円						
○負担金補助及び交付金 5,470千円						
・起業おうえん助成金（償還利子補給） 470千円						
・起業家支援事業補助金 広報費等 補助率1/2以内 上限500千円						
500千円×5件＝2,500千円						
改修費等 補助率1/4以内 上限500千円 新規						
500千円×5件＝2,500千円						
4 主な特定財源						
○国庫補助金（地方創生推進交付金） 3,056千円						
○ふるさと就職おうえん事業基金繰入金 2,859千円						
担当課	農林商工部商工振興課		電話	直通 24-7075 内線 4143		

政策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする																											
事業名	販路開拓支援事業					拡充																						
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																						
1,700	国	府	市債	その他	一般財源	—																						
	850				850																							
1 事業の背景・目的 市内の中小企業者等が、自社商品及びサービスの販路開拓で市外の展示会等に出展するには、会場費や旅費等の経費がかかり、意欲があっても参加しにくい状況等があるため、その必要経費の一部を助成することで市内中小企業者等の企業活動の活性化を促します。また、平成28年度より首都圏や海外等、出展する地域により補助金の交付限度額を引き上げます。																												
2 事業の内容 市内の中小企業者等が自社の技術や製品・サービス販売拡大のために市外で開催される展示会、見本市、商談会に参加する場合、参加にかかる対象経費の一部を助成することで、中小企業者等の企業活動の活性化を図ります。 (1) 関西圏内での出展 補助率1/2以内 上限100千円 (2) 関西圏外での出展 補助率1/2以内 上限150千円 (100千円から <u>拡充</u>) (3) 海外での出展 補助率1/2以内 上限200千円 (100千円から <u>拡充</u>) ○補助対象経費																												
<table><tr><td>経費区分</td><td>補助対象経費</td></tr><tr><td>会場借上費</td><td>出展小間料、会場使用料</td></tr><tr><td>小間内装飾費</td><td>会場等の装飾に係る設営又は撤去に要する経費、光熱水費及びその使用に係る設備工事に要する経費</td></tr><tr><td>広告宣伝費</td><td>パンフレット、カタログ、ポスター、名刺、案内状及び販促品等の作成に要する経費、展示会等の主催者が発行する発行物への広告掲載に要する経費</td></tr><tr><td>委託費</td><td>展示物等製作業務の外部委託に要する経費</td></tr><tr><td>梱包運搬費</td><td>製品、資材等の梱包又は運搬に要する経費</td></tr><tr><td>旅費</td><td>公共交通機関利用運賃、有料道路通行料、レンタカー代</td></tr><tr><td>人件費</td><td>説明員・販売員設置費(展示会等への出展に伴い、臨時に雇入れをする場合の経費)</td></tr><tr><td>謝礼</td><td>専門的知識を有する専門家に依頼し、指導または相談等を受けた場合に謝礼として支払われる経費</td></tr><tr><td>通訳・翻訳料</td><td>展示会での通訳に支払われる経費、資料等の翻訳に支払われる経費</td></tr><tr><td>委託費</td><td>販路開拓に関する調査を委託するために要する経費</td></tr></table>							経費区分	補助対象経費	会場借上費	出展小間料、会場使用料	小間内装飾費	会場等の装飾に係る設営又は撤去に要する経費、光熱水費及びその使用に係る設備工事に要する経費	広告宣伝費	パンフレット、カタログ、ポスター、名刺、案内状及び販促品等の作成に要する経費、展示会等の主催者が発行する発行物への広告掲載に要する経費	委託費	展示物等製作業務の外部委託に要する経費	梱包運搬費	製品、資材等の梱包又は運搬に要する経費	旅費	公共交通機関利用運賃、有料道路通行料、レンタカー代	人件費	説明員・販売員設置費(展示会等への出展に伴い、臨時に雇入れをする場合の経費)	謝礼	専門的知識を有する専門家に依頼し、指導または相談等を受けた場合に謝礼として支払われる経費	通訳・翻訳料	展示会での通訳に支払われる経費、資料等の翻訳に支払われる経費	委託費	販路開拓に関する調査を委託するために要する経費
経費区分	補助対象経費																											
会場借上費	出展小間料、会場使用料																											
小間内装飾費	会場等の装飾に係る設営又は撤去に要する経費、光熱水費及びその使用に係る設備工事に要する経費																											
広告宣伝費	パンフレット、カタログ、ポスター、名刺、案内状及び販促品等の作成に要する経費、展示会等の主催者が発行する発行物への広告掲載に要する経費																											
委託費	展示物等製作業務の外部委託に要する経費																											
梱包運搬費	製品、資材等の梱包又は運搬に要する経費																											
旅費	公共交通機関利用運賃、有料道路通行料、レンタカー代																											
人件費	説明員・販売員設置費(展示会等への出展に伴い、臨時に雇入れをする場合の経費)																											
謝礼	専門的知識を有する専門家に依頼し、指導または相談等を受けた場合に謝礼として支払われる経費																											
通訳・翻訳料	展示会での通訳に支払われる経費、資料等の翻訳に支払われる経費																											
委託費	販路開拓に関する調査を委託するために要する経費																											
3 事業費の内訳 ○負担金補助及び交付金 ・ 関西圏内：100千円×3件＝ 300千円 ・ 関西圏外：150千円×8件＝1,200千円 ・ 海 外：200千円×1件＝ 200千円																												
4 主な特定財源 国庫補助金（地方創生推進交付金）850千円																												
担当課	農林商工部商工振興課		電話	直通 24-7075 内線 4143																								

政策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					
事業名	中小企業サポートセンター事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,437	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,218				1,219	3,132
1 事業の背景・目的						
市内に於ける経済動向は持ち直しつつあるが、下請企業の多い中小企業においては、海外経済、原油価格等の影響が大きく、T P Pによる価格競争の不安感から先行きは大変不透明な状況にあり、また消費税率アップ以降の個人消費の低迷が長期化しており、再引き上げ後に更なる個人消費の低迷も懸念されている。 このため中小企業がかかえる課題解決のために産学官連携等でサポートすることにより新たなイノベーションを創出し、更なる技術力、製品力、販売力の向上による付加価値を高めて企業の成長を促し、企業経営の安定化と地域経済の活性化から雇用の維持・創出を目指します。						
2 事業の内容						
市内並びに本市周辺の市町にある企業等に対して、企業経営力強化への有益情報（補助金制度・社員教育・技術力向上・販路開拓・海外展開等）をメール発信し、その説明会等を開催します。また、元気な会社冊子（第4弾）を作成して地元企業の情報発信を行います。 産学官連携組織「パワーオンネット」において広域連携をすることにより、研究・開発及び課題解決のためのマッチング等や、大学等の支援機関とともに将来的に新製品・新技術の創出を支援します。また市内の創業希望者並びに業態変更等の希望者（第二創業）に対してワンストップ型の支援を行います。						
3 事業費の内訳						
〔総事業費〕					2,437千円	
〔内 訳〕 臨時職員賃金					1,215千円	
福知山市中小企業等支援機関連絡会議負担金					780千円	
その他事務費（旅費・通信運搬費）					442千円	
4 主な特定財源						
国庫補助金（地方創生推進交付金）					1,218千円	
担当課	農林商工部商工振興課		電話	直通 24-7504 内線 4141		

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	「森の京都 福知山」全国育樹祭記念事業					新規
補正予算額	左の財源内訳					
	国	府	市債	その他	一般財源	
5,950	5,950					

1 事業の背景・目的

平成28年秋季に府内で開催される「第40回全国育樹祭」の記念イベントとして、福知山市内で開催される予定の「森林・林業・環境機械展示実演会」への来場者13,000人(予定)をもてなすため、歓迎アトラクション、特産品等の物品販売や展示を実施します。

2 事業の内容

来場者への「おもてなし」に係る経費

- ・ 歓迎アトラクション
- ・ 物販及び展示

3 事業費の内訳

- | | | |
|----------|---------|-------------------|
| (款) 農林業費 | (項) 林業費 | (目) 林業振興費 |
| ・ 報償費 | 150千円 | (実行委員会委員等謝礼) |
| ・ 需用費 | 446千円 | (消耗品費、印刷製本費) |
| ・ 役務費 | 54千円 | (新聞広告等) |
| ・ 委託料 | 300千円 | (会場設営業務委託) |
| ・ 負担金 | 5,000千円 | (関連する「森の京都博」市負担金) |

4 主な特定財源

- | | | | |
|-----------|-----------|---------------|--------------|
| (款) 国庫支出金 | (項) 国庫補助金 | (目) 農林業費国庫補助金 | 5,950千円 |
| | | | (地方創生加速化交付金) |



第39回全国育樹祭(岐阜県高山市)

担当課	農林商工部林業振興課	電話	直通 24-7047 内線 4130
-----	------------	----	--------------------

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	「森の京都」DMO事業					新規
補正予算額	左の財源内訳					
	国	府	市債	その他		
4,500	4,500					
1 事業の背景・目的 京都府、市町、地域住民で進めている「森の京都」を地域の総力を集結し、効果的かつ協力の推進するため、地域資源等の販売、観光・交流・集客等に関する事業を一元的・総合的に行うことを目的に負担金を支出します。 2 事業の内容 森の京都DMOとして次のこと等を行う計画。 ・森の京都づくりの起爆剤となる「森の京都博」に関する情報発信 ・観光地域づくりに必要な人材の発掘・育成等（ガイドの養成） ・着地型・体験型商品等の開発・販売（修学旅行生等の農家民宿等） ・地域資源等（木工製品・工芸品等）の販売・プロモーション ・地域資源を活用した新ビジネスの創出 3 事業費の内訳 （款）農林業費 （項）林業費 （目）林業振興費 ・負担金 4,500千円 ※「森の京都」DMO設立経費 45,000千円 ・京都府・関係5市町で折半 ・5市町は均等割負担 4 主な特定財源 （款）国庫支出金 （項）国庫補助金 （目）農林業費国庫補助金 4,500千円 （地方創生加速化交付金） DMO「Destination Management/Marketing Organization」 観光地域づくりを実現するため、多様な関係者で構成する観光客誘致の戦略策定や、マーケティング・プロモーション、品質管理などを行う法人。						
担当課	農林商工部林業振興課		電話	直通 24-7047 内線 4130		

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	「森の京都 福知山」夜久野高原・道の駅支援事業					継続
補正予算額	左の財源内訳					
1,000	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,000					
1 事業の背景・目的 夜久野高原は、京都府唯一の火山である宝山の噴火により形成された溶岩台地であり、風光明媚で史跡にも恵まれ、その中には観光拠点となる道の駅「農匠の郷やくの」があります。 この夜久野高原や道の駅の情報を地域内外へ発信し、集客と住民交流を促進するイベントや道の駅の取り組みに対して支援を行います。 2 事業の内容 実行委員会や連絡協議会に対して、事業実施における補助金を交付します。 ・やくの高原まつり実行委員会 ・夜久野農林商工祭実行委員会 ・道の駅農匠の郷やくの連絡協議会 3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金（補助金） 1,000千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 総務費国庫補助金 地方創生加速化交付金 1,000千円						
担当課	地域振興部夜久野支所		電話	直通 37-1103 内線 74-9220		

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	「森の京都 福知山」夜久野高原玄武岩コンサート事業					継続
補正予算額	左の財源内訳					
800	国	府	市債	その他	一般財源	
	800					
1 事業の背景・目的 京都府指定文化財（天然記念物）に指定され、京都府景観資産にも登録されている玄武岩公園は、宝山の噴火によって流出した溶岩が固まる時に形成された六角形の柱状節理が見られる施設で、夜間はライトアップされ、幻想的な空間となります。 ここに特設ステージを設置し、ライトアップされた空間において夜久野高原玄武岩コンサートを行うことにより、やくの玄武岩公園の魅力を広くPRし、観光客及び交流人口の増加を図ります。 2 事業の内容 「森の京都 福知山」夜久野高原玄武岩コンサートを実施する団体に補助金を交付し、支援します。 ・コンサート ・模擬店 他 3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金（補助金） 800千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 総務費国庫補助金 地方創生加速化交付金 800千円						
担当課	地域振興部夜久野支所		電話	直通 37-1103 内線 74-9220		

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	「森の京都 福知山」丹波漆振興事業					継続
補正予算額	左の財源内訳					
198	国	府	市債	その他	一般財源	
	198					
1 事業の背景・目的 現在、全国的に文化財建造物の修復等に必要な国産漆の生産量が激減しており、国産漆に対する需要が高まっています。 このような社会的背景を受け、夜久野地域で伝統のある丹波漆の基盤づくりを進めるために、漆の生産拡大を支援します。 また、文化芸術振興協定を締結している「京都美術工芸大学」からインターンシップを受け入れ、地域資源と学術資産を提供し合い、特色ある地域づくりや伝統産業、工芸の技術向上をめざすとともに、体験実習等を通じて丹波漆の魅力を発信します。 2 事業の内容 丹波漆のインターンシップ活動 ・インターンシップ学生就業体験講師謝礼 ・インターンシップ学生就業体験用資材 ・インターンシップ学生就業体験施設使用料 丹波漆生産拡大 ・丹波漆苗木 3 事業費の内訳 (1) 報償費 45千円 (講師謝礼) (2) 需用費 123千円 (体験資材、丹波漆苗木) (3) 使用料及び賃借料 30千円 (施設使用料) 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 総務費国庫補助金 地方創生加速化交付金 198千円						
担当課	地域振興部夜久野支所		電話	直通 37-1103 内線 74-9220		

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	「森の京都 福知山」元伊勢内宮参道マルシェ事業					継続
補正予算額	左の財源内訳					
800	国	府	市債	その他	一般財源	
	800					
1 事業の背景・目的 「元伊勢内宮参道マルシェ」は、参道と民家軒先等を活用し、市内外からの出店協力によりかつて栄えた参道の賑わいを復活させるため、住民主体による地域おこし事業として実施されます。 当地域は、丹後天橋立大江山国定公園の玄関口に位置しており観光ルートの拠点となっているため、「森の京都」事業との連携により観光客の誘客及び地域の賑わいの創出を図ります。 2 事業の内容 「元伊勢内宮参道マルシェ」を実施する団体に交付金を交付し、支援します。 ○賑わい創出のためのマルシェコンサートの開催 ○会場と駐車場を結ぶシャトルバス運行等マルシェ支援 ○「森の京都」をPRする森の京都啓発コーナーの開設 3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金（交付金） 800千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 総務費国庫補助金 地方創生加速化交付金 800千円						
担当課	地域振興部大江支所		電話	直通 56-1102 内線 75-9322		

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	「森の京都 福知山」児童絵画展示事業					新規
補正予算額	左の財源内訳					
470	国	府	市債	その他	一般財源	
	470					
1 事業の背景・目的 府内を会場に「第40回全国育樹祭」が開催される平成28年秋季をターゲットイヤーとして、市内の小学生を対象に「森に親しむ」、「緑化」をテーマとした絵画を募集し、森の大切さを広くPRします。 2 事業の内容 児童絵画展の実施。 平成28年5～6月募集、8月審査、10月作品展示（森林・林業・環境機械展示実演会にて展示予定） 3 事業費の内訳 (款)農林業費 (項)林業費 (目)林業振興費 報償費（審査員謝礼） 10千円 需用費 340千円 役務費（筆耕料） 90千円 委託料（作品展示用テント設営） 30千円 4 主な特定財源 (款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)農林業費国庫補助金 470千円 (地方創生加速化交付金)						
平成27年度緑化運動ポスターコンクール 京都府教育長賞 市立上川口小学校5年生 黒田優妃奈さん						
担当課	農林商工部林業振興課		電話	直通 24-7047 内線 4130		

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位：千円)
事業名	「森の京都」酒吞童子と金太郎展開催事業					新規
補正予算額	左の財源内訳					
800	国	府	市債	その他	一般財源	
	800					

1 事業の背景・目的

「森の京都」関連事業として、酒吞童子退治で活躍した坂田公時(金太郎)にスポットをあてて展示を行います。子どもから大人まで「金太郎」として馴染み深いキャラクターであり親しみやすい展示を行うことにより、来館者の鬼への理解を深め、関心を高め、施設の活性化と地域の活性化を図ります。

2 事業の内容

日本の鬼の交流博物館において秋季特別展(10月～11月)として実施します。

3 事業費の内訳

(款)教育費 (項)社会教育費 (目)社会教育総務費

旅費	103千円	担当者旅費
需用費	217千円	消耗品、燃料代、印刷製本費
委託料	350千円	展示資料運搬委託
使用料及び賃借料	130千円	レンタカー、看板賃借他

4 主な特定財源

(款)国庫支出金 (項)国庫補助金

(目)教育費国庫補助金(地方創生加速化交付金 100%) 800千円

展示例



絵馬：山姥と金太郎



錦絵：坂田怪童丸

担当課	教育委員会生涯学習課	電話	直通 24-7065 内線 5151
-----	------------	----	--------------------

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	海の京都DMO事業					新規
補正予算額	左の財源内訳					
12,390	国	府	市債	その他	一般財源	
	12,390					
1 事業の背景・目的 平成26年7月に「海の京都観光圏」として国から認定された京都府北部5市2町では、観光団体や民間事業者等と連携し、当地域を全国有数の競争力をもつ観光圏にするため地域住民による活動の支援や効果的なプロモーションに取り組んでいます。 この取り組みをさらにすすめ、観光まちづくりを地域の総力を集結して効果的かつ強力に推進するため、観光・交流・集客等に関する事業を一元的・総合的に行なうDMO組織「海の京都振興会社（仮称）」（京都府と5市2町の行政、観光・経済団体、交通事業者などで構成）を設立し、当地域への集客力の強化及び交流人口の拡大を目指します。 DMO「Destination Management/Marketing Organization」 観光地域づくりを実現するため、多様な関係者で構成する観光客誘致の戦略策定や、マーケティング・プロモーション、品質管理などを行う法人。 2 事業の内容 「海の京都DMO（仮称）」の設立及び運営に対する負担金 ・マーケティング調査等の科学的調査に基づくブランド戦略の策定 ・地域づくりを担う人材等の育成 ・専門人材によるプロモーション戦略の策定 ・旅行商品造成・販売体制強化 ・DMO設立に要する事務費 等 3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金 「海の京都DMO」に対する負担金 12,390千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 商工費国庫補助金 地方創生加速化交付金 12,390千円						
 海の京都						
担当課	地域振興部観光振興課		電話	直通 24-7076 内線 4150		

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	福知山お城まつり支援事業					継続
補正予算額	左の財源内訳					
3,168	国	府	市債	その他	一般財源	
	3,168					
1 事業の背景・目的 北近畿で唯一天守閣を残す戦国武将 明智光秀ゆかりの福知山城は、本市のシンボルであるとともに集客力のある貴重な観光資源です。 この福知山城や、明智光秀を祀った御霊神社周辺を会場に行なわれる「福知山お城まつり」の運営を支援することで市内外からの誘客を図り、城下町福知山を広くPRするとともに、中心市街地の活性化、観光交流人口の増加に寄与します。 2 事業の内容 福知山お城まつり事業に対して補助金を交付。 実施時期 : 平成28年4月 実施場所 : 福知山城・広小路通り・御霊公園 他 事業内容 : 光秀行列・食の祭典・福知山踊りパレード等 (27年度実績) 3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金 「福知山お城まつり実行委員会」への補助金 3,168千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 商工費国庫補助金 地方創生加速化交付金 3,168千円						
						
担当課	地域振興部観光振興課		電話	直通 24-7076 内線 4150		

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	スイーツフェスティバル事業					継続
補正予算額	左の財源内訳					
1,200	国	府	市債	その他	一般財源	
	1,200					
1 事業の背景・目的 本市は、スイーツ店が多いという特長を活かして「スイーツのまち」として発信しており、京都府北部地域で誘客を促進する「海の京都」事業においても「お城とスイーツを巡るまちなか観光エリア」として中心市街地における戦略拠点に位置づけ魅力ある観光まちづくりを推進しています。 福知山スイーツを発信し誘客を促進するため、平成25年からスイーツの祭典として開催し好評を得ている「丹波福知山スイーツフェスティバル」を開催します。 2 事業の内容 「スイーツフェスティバル実行委員会」が行う事業に対して交付金を交付 ○実施日 : 平成28年10月 (予定) ○実施場所: 福知山市厚生会館 ○事業内容: 市内外のスイーツ店によるスイーツの祭典 3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金 「スイーツフェスティバル実行委員会」への交付金 1,200千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 商工費国庫補助金 地方創生加速化交付金 1,200千円						
 平成27年度の様子						
担当課	地域振興部観光振興課		電話	直通 24-7076 内線 4150		

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	ふるさと就職おうえん事業(地方創生加速化交付金)					新規
補正予算額	左の財源内訳					
916	国	府	市債	その他	一般財源	
	916					
1 事業の背景・目的 京都府北部7市町連携組織である京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会が、大学等の未就職卒業者及び卒業予定者、U・I・Jターン希望者等を対象とした合同企業面接会を都市部で開催し、就業支援、職業紹介、各種相談事業等を行うとともに就職マッチングを図り、京都府北部圏内における人材の確保並びに北部7市町への移住・定住を促進します。 2 事業内容 京都市又は大阪市内で、大学等の卒業予定者など若者を求人する北部地域の企業約100事業所による合同企業面接会を開催します。 (1) 就職説明会・面接会 (2) 7市町の魅力発信、生活支援、U・I・Jターン相談 (3) 就職セミナー (4) 就職個別相談 (5) 事業者と参加者の情報交換交流会など 3 事業費の内訳 ○負担金補助及び交付金 916千円 ・京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会負担金 916千円 (総事業費4,000千円のうち福知山市が916千円を負担) 按分の方法 ・総事業費の75%(3,000千円)は人口割(25.78%)=773,400円 ・総事業費の25%(1,000千円)は均等割(7分の1)=142,857円 負担額773,400円+142,857円=916,257円を千円未満切捨て 4 主な特定財源 (款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)商工費国庫補助金 916千円 (地方創生加速化交付金)						
担当課	農林商工部商工振興課		電話	直通 24-7075 内線 4143		

政策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					
事業名	介護人材確保対策事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
15,610	国	府	市債	その他	一般財源	20,444
	3,375			11,591	644	

1 事業の背景・目的

市内の各施設における介護職員等の不足に対処するため、平成25年度から人材確保のための各種助成制度を開始しており、平成28年度は一部制度を見直しつつ、この取り組みを継続、強化していくこととします。

また一般社団法人福知山民間社会福祉施設連絡協議会（以下「福施連協」という。）による働きながら資格をとるための現任者研修（介護福祉士実務者研修）の研修会場の使用料を助成します。

さらに、介護人材の確保のために、重要なPRにおいては、平成27年度に作成した福知山市の介護ロゴマークの愛称等を募集します。

2 事業の内容

(1) 人材確保各種助成事業

ア UIターン家賃助成 継続

(ア) 本制度は平成25年度から継続実施するものです。新規採用介護職員のうち、UIターン者に家賃助成を行います。

(イ) 助成額は、家賃の1/2とし、次の上限額を設定します。（助成額上限（月）：1年目40千円、2年目30千円、3年目20千円）

(ウ) 助成は、3年間のサンセット方式とします。

イ 介護福祉士育成修学資金貸付 継続

(ア) 本年制度も平成25年度から継続して実施するものです。介護福祉士を養成する学校の入学金及び授業料を対象として、年間800千円（最大2年間）を無利子で貸与します。

(イ) 介護福祉士を取得し、市内の施設・事業所で3年間勤務した場合、返還は不要となります。

ウ 介護職員初任者研修受講料支援 事業統合

(ア) 平成27年度まで別々の事業であった、介護事業所等に勤務していない人を対象とする「介護職員初任者研修受講料支援事業」と勤務する人を対象とする「介護職員キャリアアップ助成」を統合するものです。

(イ) 介護職員初任者研修（旧ヘルパー2級）を取得した人に、研修受講料の支援を行うもので、研修終了後3か月以内に介護事業所等に新たに勤務した場合は受講料全額（上限60千円）、勤務しない場合（研修受講時に既に勤務している場合も含む）は受講料の2分の1（上限30千円）を助成します。

(ウ) 市民を対象とします。ただし市内介護事業所等に勤務する場合は市民でなくても対象とします。

エ 実務者研修受講料助成 継続

(ア) 福施連協が実施する「介護福祉士実務者研修」の受講料助成を行い

ます。

(イ) 受講料は、無資格者は受講料150千円、初任者研修修了者120千円、ヘルパー1級修了者100千円で、助成額は1/2。

(2) 実務者研修実施に係る支援 継続

現任者研修（介護職員実務者研修）の研修会場の使用料について、実施主体である福祉連協に対して補助を行います。

(3) 福祉人材PR

(ア) 福知山市の介護ロゴマーク普及活動 新規

・ロゴマークの愛称、キャッチフレーズを募集します。

3 事業費の内訳

(款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 老人福祉費

(1) 人材確保各種助成事業 14,326千円

ア UIターン家賃助成 (補助金) 4,676千円

(1年目) 22千円×8人×12ヶ月=2,112千円

(2年目) 19.2千円×8人×12ヶ月=1,844千円

(3年目) 20千円×3人×12ヶ月=720千円

イ 介護福祉士育成修学資金貸付 (貸付金) 4,100千円

(1年目) 700千円×5人=3,500千円

(2年目) 600千円×1人=600千円

ウ 介護職員初任者研修受講料支援 (補助金) 1,500千円

・60千円×15人=900千円

・30千円×20人=600千円

エ 介護福祉士実務者研修受講料助成 (福祉連協実施) 4,050千円

・無資格者(150千円×1/2)×30人=2,250千円

・初任者研修修了者(120千円×1/2)×30人=1,800千円

(2) 実務者研修実施補助 (研修会場使用料への助成) 1,200千円

(3) 福祉人材PR・その他 84千円

ア ロゴマーク愛称、キャッチフレーズ募集 40千円

イ その他 (京都府福祉人材養成システム会議出張旅費) 44千円

4 主な特定財源

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 民生費国庫補助金

地方創生推進交付金 3,375千円

(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金

地域福祉基金 11,591千円

担当課

福祉保健部高齢者福祉課

電話

直通 24-7013 内線 2144

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	インターネット系業務ネットワーク環境整備事業					新規
補正予算額	左の財源内訳					
	国	府	市債	その他	一般財源	
21,658	6,923		6,900		7,835	
1 事業の背景・目的 マイナンバー制度の導入に伴い、総務大臣通知「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化について」に対応するため、既にインターネットから分離済みである住民情報関係システムに加えて、今後、平成29年7月からマイナンバーによる情報連携に活用されるL G W A N環境の端末についても、インターネットとの分割等を行うことで、更なる情報セキュリティ強化を図ります。 ※L G W A N：地方公共団体を相互に接続する行政専用ネットワーク 2 事業の内容 国の示すセキュリティ強化要件を満たすため、以下の対策を実施します。 (1) L G W A Nが利用できる事務用端末からインターネットを分離し、新たに京都府共同利用型インターネット接続専用環境を整備及び利用します。 (2) 都道府県単位で集約するインターネット接続ポイントを共同利用し、サイバー攻撃等に対するセキュリティ監視の強化を図ります。 (3) マイナンバーを利用するシステムには、個別端末からの情報持出し不可設定を行うとともに、I D /パスワード及びI Cカードによる二要素認証を行うことで、アクセス管理の強化を図ります。 3 事業費の内訳 ○ 既存業務ネットワークからのインターネット分割作業費 8,798千円 ○ I Cカードによる認証管理サーバ構築費等 12,141千円 ○ 情報書出管理端末の整備費 719千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 総務費国庫補助金 地方公共団体情報セキュリティ強化対策費補助金 6,923千円 (款) 市債 (項) 市債 (目) 総務債 補正予算債 (一般補助施設整備等事業債) 6,900千円						
担当課	総務部情報推進課		電話	直通 24-7060 内線 3125		

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	社会保障・税番号制度実施に係る整備事業(国の補正予算第1号分)					拡充
補正予算額	左の財源内訳					
	国	府	市債	その他	一般財源	
13,496	13,496					
1 事業の背景・目的 マイナンバー制度実施に伴う通知カード・個人番号カードの発行に要する費用について、各市区町村は、国の算定による補助金を受けて、同額を当該事務を委任する地方公共団体情報システム機構(J-LIS)に交付金として支払うことになっています。 このたび、個人番号カードの申請件数の増加等を受けて、国の平成27年度補正予算案が閣議決定されたことに伴い、国から示された本市の交付額を補正し、J-LISに支払います。 2 事業の内容 通知カード・個人番号カードの作製等に係るJ-LISへの交付金 本市の交付金額41,513千円－当初交付予定額28,017千円＝補正額13,496千円 <算定方法> A : 平成27年度交付金額 65,669,628千円 B1 : 全国の住民基本台帳人口(平成26年1月1日現在) 128,438,348人 B2 : 福知山市の住民基本台帳人口(平成26年1月1日現在) 81,193人 交付金額＝A×B2／B1 3 事業費の内訳 (款)総務費 (項)戸籍住民基本台帳費 (目)戸籍住民基本台帳費 個人番号カード発行等事務委任に係る市町村負担分(交付金) 13,496千円 4 主な特定財源 (款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)総務費国庫補助金 社会保障・税番号制度通知カード・個人番号カード関連事業費補助金13,496千円 5 その他 本市の通知カード・個人番号カードの状況(平成28年1月25日現在) 通知カード送付数 35,867通 個人番号カード申請数 2,601人						
担当課	市民人権環境部市民課		電話	直通 24-7014 内線 2242		

施策名	福知山市にしごとをつくり、安心して働けるようにする					(単位:千円)
事業名	小学校ICT環境整備事業 中学校ICT環境整備事業					拡充
補正予算額	左の財源内訳					
24,173	国	府	市債	その他	一般財源	
	4,426		4,300		15,447	
1 事業の背景・目的 マイナンバー制度の導入に伴い、総務省通知「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化について」により、既存の業務用端末からインターネット接続の機能を分離することが決定されました。 福知山市教育委員会ではLGWAN接続系に該当する学校事務職員用端末を保有しており、総務省通知によりインターネット接続の分離が必要であるため、これらの環境を整備し、更なる情報セキュリティ強化を図ります。 ※LGWAN：地方公共団体を相互に接続する行政専用ネットワーク						
2 事業の内容 小中学校各校で新規に財務会計システム専用のネットワークの構築を行い、これに接続する財務会計用端末の整備を行います。 また、一般教職員の使用する校務用端末についても、導入から7年が経過して老朽化しており、現在の水準に合わせたセキュリティ強化を目的に更新を行います。						
3 事業費の内訳 (款) 教育費 (項) 小学校費 (目) 学校管理費 18,211千円 委託料 財務会計用ネットワーク構築 5,980千円 使用料及び賃借料 校務用端末賃貸借 8,274千円 備品購入費 財務用端末購入 3,957千円 (款) 教育費 (項) 中学校費 (目) 学校管理費 5,962千円 委託料 財務会計用ネットワーク構築 3,588千円 備品購入費 財務用端末購入 2,374千円						
4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 教育費国庫補助金 4,426千円 (款) 市債 (項) 市債 (目) 教育債 4,300千円 小学校ICT環境整備事業 (国庫補助金) 2,766千円 (補正予算債) 2,700千円 中学校ICT環境整備事業 (国庫補助金) 1,660千円 (補正予算債) 1,600千円						
担当課	教育委員会教育総務課		電話	直通 24-7061 内線 5115		

政策名	福知山市への新しいひとの流れをつくる					
事業名	福知山公立大学運営費交付金事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
309,812	国	府	市債	その他	一般財源	—
					309,812	

1 事業の背景・目的

福知山市は、平成27年3月28日に策定した“教育のまち福知山「学びの拠点」基本構想”に基づき、平成28年4月1日に公立大学法人福知山公立大学を設置します。

福知山公立大学は、「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」を基本理念に、地域で学び、地域で働くという持続可能な地域社会の形成、地方創生、地域再生に向けた社会貢献を使命とします。

そのため、本事業は、基本理念の実現、法人の安定的かつ持続的な経営、大学の健全な運営を図るため実施します。

2 事業の内容

法人の経営及び大学の運営に係る経常経費を運営費交付金として支出します。

3 事業費の内訳

(款)教育費 (項)大学費 (目)大学振興費

・負担金補助及び交付金 309,812千円

<内訳>

経常経費分 276,000千円

地方交付税措置分 33,812千円

 福知山公立大学



担当課	市長公室大学政策課	電話	直通 24-7039 内線 3003
-----	-----------	----	--------------------

施策名	福知山市への新しいひとの流れをつくる					(単位：千円)
事業名	福知山公立大学「学びの拠点」推進事業					新規
補正予算額	左の財源内訳					
23,730	国	府	市債	その他	一般財源	
	23,730					
1 事業の背景・目的 福知山市は、平成27年3月28日策定した“教育のまち福知山「学びの拠点」基本構想”に基づき、平成28年4月1日に公立大学法人福知山公立大学を設置します。 福知山公立大学は、「市民の大学、地域の大学、世界とともに歩む大学」を基本理念に、地域で学び、地域で働くという持続可能な地域社会の形成、地方創生、地域再生に向けた社会貢献を使命とします。 本事業は北近畿地域の様々な課題解決に向けて、大学が有する教育・研究機能を積極的に活用し、北近畿地域の各種団体等と連携して実践的かつ協働的に取り組み、地域社会に貢献する取り組みを支援します。 2 事業の内容 福知山公立大学の開学に合わせ、北近畿地域の自治体や地域住民、行政機関、金融機関、他大学、企業、各種団体等と連携・協働拠点である北近畿地域連携センターの機能構築と確立に向け、施設改修等や地域連携及び地域活性化のための事業展開を支援します。 3 事業費の内訳 (款)教育費 (項)大学費 (目)大学振興費 ・負担金補助及び交付金 23,730千円 <内訳> 北近畿地域連携センターの設置 9,000 千円 機関紙・パンフレットの作成 3,500 千円 ホームページの開設 3,500 千円 地域人材育成講座の開催 3,000 千円 自治体・企業、各種団体等の連携・協働事業 4,730 千円 4 主な特定財源 (款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)教育費国庫補助金 ・地方創生加速化交付金 23,730千円						
担当課	市長公室大学政策課		電話	直通 24-7039 内線 3117		

政策名	福知山市への新しいひとの流れをつくる					
事業名	福知山公立大学就学生支援事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,762	国	府	市債	その他	一般財源	—
				3,762		
1 事業の背景・目的 福知山市は、平成27年3月28日に策定した“教育のまち福知山「学びの拠点」基本構想”に基づき、平成28年4月1日に公立大学法人福知山公立大学を設置します。 福知山公立大学は、「市民の大学、地域のための大学、世界とともに歩む大学」を基本理念に、地域で学び、地域で働くという持続可能な地域社会の形成、地方創生、地域再生に向けた社会貢献を使命とします。 そのため、本事業は、誰でも学びやすい教育環境の充実、かつ入学定員増に向けた志願者確保のために実施します。						
2 事業の内容 市民や低所得世帯等の福知山公立大学就学生を支援するため、入学支援金、奨学金を給付します。						
入学支援金			奨学金			
○福知山出身者 30,000 円 ○保護者の所得が生活保護基準の 1.5 倍以内の者 1 福知山出身者 252,000 円 2 福知山市外出身で市内に住所を有する者 94,000 円			○保護者の所得が生活保護基準の1.5 倍以内の者かつ学業成績が優秀であること 1 福知山出身者 月額 20,000円 2 福知山市外出身で市内に住所を有する者 月額 10,000円			
3 事業費の内訳 (款)教育費 (項)大学費 (目)大学振興費 ・扶助費 3,762千円 <内訳> 入学支援金 1,962千円 奨学金 1,800千円						
4 主な特定財源 (款)繰入金 (項)基金繰入金 (目)基金繰入金 ・ふるさと創生事業基金繰入金 3,762千円						
担当課	市長公室大学政策課		電話	直通 24-7039 内線 3003		

政策名	福知山市への新しいひとの流れをつくる															
事業名	移住・定住促進事業					前倒し	H28 当初	新規								
予算額(千円)	財源内訳(千円)						前年度 予算額									
16, 191	国	府	市債	その他	一般財源	—										
	7, 652				8, 539											
1 事業の背景・目的 全国的な少子高齢化や人口減少による地域の担い手不足等により地域経済や活力が低下する中、地域の持続性の確保が課題となっています。 住み続けたい・守り続けたいと思えるような地域づくりを進めるとともに、若年層や子育て世代等の移住を促進し、定住人口及び交流人口の増加による地域振興を図ります。 2 事業の内容 <table><tr><td>H27前倒し予算 7, 652千円</td><td>H28当初予算 8, 539千円</td></tr><tr><td>(1) 地域の受け入れ態勢整備 ○地域の教科書作成(600 千円) ○地域の相談窓口の設置(240 千円) (2) 移住情報の発信 ○東京・大阪等での情報ブースの出展(300 千円) ○情報パンフレット作成(540 千円) (3) 地域連携都市圏負担金(4, 397 千円) (4) 事務経費(1, 575 千円) 臨時職員賃金(1, 215 千円) 事務経費(360 千円)</td><td>(1) 住宅支援金(3, 600千円) 移住者が居住する賃貸住宅の家主に対して、月額30千円を上限に家賃を1年間交付します。 @30千円×12月×10組＝3, 600千円 (2) 雇用奨励金(4, 800千円) 移住者の雇用主に対し月額40千円を1年間交付します。 @40千円×12月×10組＝4, 800千円 (3) 事務経費 一式 139千円</td></tr></table> 3 事業費の内訳 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)地域交流推進費 <table><tr><td>H27前倒し予算 7, 652千円</td><td>H28当初予算 8, 539千円</td></tr><tr><td>賃金 1, 215千円 需用費 891千円 役務費 9千円 委託料 840千円 使用料及び賃借料 300千円 負担金補助及び交付金 4, 397 千円</td><td>旅費 139千円 負担金補助及び交付金 8, 400千円</td></tr></table> 4 主な特定財源 H27前倒し予算 (款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)総務費国庫補助金 地方創生加速化交付金 7, 652千円									H27前倒し予算 7, 652千円	H28当初予算 8, 539千円	(1) 地域の受け入れ態勢整備 ○地域の教科書作成(600 千円) ○地域の相談窓口の設置(240 千円) (2) 移住情報の発信 ○東京・大阪等での情報ブースの出展(300 千円) ○情報パンフレット作成(540 千円) (3) 地域連携都市圏負担金(4, 397 千円) (4) 事務経費(1, 575 千円) 臨時職員賃金(1, 215 千円) 事務経費(360 千円)	(1) 住宅支援金(3, 600千円) 移住者が居住する賃貸住宅の家主に対して、月額30千円を上限に家賃を1年間交付します。 @30千円×12月×10組＝3, 600千円 (2) 雇用奨励金(4, 800千円) 移住者の雇用主に対し月額40千円を1年間交付します。 @40千円×12月×10組＝4, 800千円 (3) 事務経費 一式 139千円	H27前倒し予算 7, 652千円	H28当初予算 8, 539千円	賃金 1, 215千円 需用費 891千円 役務費 9千円 委託料 840千円 使用料及び賃借料 300千円 負担金補助及び交付金 4, 397 千円	旅費 139千円 負担金補助及び交付金 8, 400千円
H27前倒し予算 7, 652千円	H28当初予算 8, 539千円															
(1) 地域の受け入れ態勢整備 ○地域の教科書作成(600 千円) ○地域の相談窓口の設置(240 千円) (2) 移住情報の発信 ○東京・大阪等での情報ブースの出展(300 千円) ○情報パンフレット作成(540 千円) (3) 地域連携都市圏負担金(4, 397 千円) (4) 事務経費(1, 575 千円) 臨時職員賃金(1, 215 千円) 事務経費(360 千円)	(1) 住宅支援金(3, 600千円) 移住者が居住する賃貸住宅の家主に対して、月額30千円を上限に家賃を1年間交付します。 @30千円×12月×10組＝3, 600千円 (2) 雇用奨励金(4, 800千円) 移住者の雇用主に対し月額40千円を1年間交付します。 @40千円×12月×10組＝4, 800千円 (3) 事務経費 一式 139千円															
H27前倒し予算 7, 652千円	H28当初予算 8, 539千円															
賃金 1, 215千円 需用費 891千円 役務費 9千円 委託料 840千円 使用料及び賃借料 300千円 負担金補助及び交付金 4, 397 千円	旅費 139千円 負担金補助及び交付金 8, 400千円															
担当課	地域振興部まちづくり推進課			電話	直通 24-7033 内線 3131											

政策名	福知山市への新しいひとの流れをつくる																					
事業名	夜久野工芸村丹波漆伝承サポート事業					新規																
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																
3, 298	国	府	市債	その他	一般財源	—																
					3, 298																	
1 事業の背景・目的 夜久野地域は古くから丹波漆の主要な生産地であり、今日もその丹波の漆掻きの技術が「京都府指定無形民俗文化財」として伝承されてきておりますが、担い手不足が課題となっています。 都市地域から、「地域おこし協力隊員」として漆関係者を受け入れ委嘱することにより、丹波漆に関する情報を市内外に広く周知するとともに、地域での丹波漆の基盤づくりを強化し、漆の生産拡大や漆かき職人の後継者育成、丹波漆のブランド化への取り組みを支援します。 また、夜久野地域への定住・定着を図りながら地域の活性化につなげます。 2 事業の内容 地域おこし協力隊員を1名、やくの木と漆の館に配置します。 3 事業費の内訳 <table><tr><td>(1) 報酬</td><td>2, 152千円 (嘱託職員報酬)</td></tr><tr><td>(2) 共済費</td><td>289千円 (社会保険料)</td></tr><tr><td>(3) 旅費</td><td>28千円 (研修等旅費)</td></tr><tr><td>(4) 需用費</td><td>184千円 (消耗品費、燃料費)</td></tr><tr><td>(5) 役務費</td><td>15千円 (車両任意保険料)</td></tr><tr><td>(6) 使用料及び賃借料</td><td>600千円 (車両、住居)</td></tr><tr><td>(7) 備品購入費</td><td>30千円 (活動器具類)</td></tr><tr><td>計</td><td>3, 298千円</td></tr></table>							(1) 報酬	2, 152千円 (嘱託職員報酬)	(2) 共済費	289千円 (社会保険料)	(3) 旅費	28千円 (研修等旅費)	(4) 需用費	184千円 (消耗品費、燃料費)	(5) 役務費	15千円 (車両任意保険料)	(6) 使用料及び賃借料	600千円 (車両、住居)	(7) 備品購入費	30千円 (活動器具類)	計	3, 298千円
(1) 報酬	2, 152千円 (嘱託職員報酬)																					
(2) 共済費	289千円 (社会保険料)																					
(3) 旅費	28千円 (研修等旅費)																					
(4) 需用費	184千円 (消耗品費、燃料費)																					
(5) 役務費	15千円 (車両任意保険料)																					
(6) 使用料及び賃借料	600千円 (車両、住居)																					
(7) 備品購入費	30千円 (活動器具類)																					
計	3, 298千円																					
担当課	地域振興部夜久野支所	電話	直通 37-1103 内線 74-9220																			

政策名	福知山市への新しいひとの流れをつくる					
事業名	農山村空き家バンク事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
5,300	国	府	市債	その他	一般財源	
	2,650			2,650		5,628
1 事業の背景・目的 本市農山村地域では過疎高齢化が進行し、地域の担い手不足が深刻化する中で集落活動などが困難になりつつあります。 こうした集落内にある空き家や住宅建築が可能な空き地を活用して定住者を確保し、地域の維持・活性化を図るため、「福知山市農山村地域空き家情報バンク制度要綱」に基づいて情報を登録し、利用希望者へ情報提供するとともに、転入移住に必要な改修支援を行います。 2 事業の内容 空き家バンク情報資料の作成を行い、利用者への情報提供を密にするとともに、空き家改修費補助制度も活用して、成約に結びつけるなど、空き家の流動化を促進します。 空き家流動化促進のための施策 (1)固定資産税相当額補助 - 登録された物件を対象として、登録年前年の固定資産税相当額1年分を補助 1件当たり年3万円を上限 (2)空き家改修費補助 - 市外からの移住者（5年以上定住）と空き家所有者の間で成約した物件に対して空き家改修費を補助 50万円以上の改修工事に対して1/2補助、100万円を上限 - 市内に住所または営業所を有する業者が施工（丹州材の活用を推進） 3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金 5,300千円 4 主な特定財源 (1)地方創生推進交付金 2,650千円 (2)地域振興基金繰入 2,650千円  市内農山村地域の空き家						
担当課	農林商工部農林管理課		電話	直通 24-7041 内線 4114		

政策名	福知山市への新しいひとの流れをつくる					
事業名	中丹式インターンシップ事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
493	国	府	市債	その他	一般財源	—
	246				247	

1 事業の背景・目的

中丹地域に就職を考えている大学生と人材確保を希望するインターンシップの受入れが可能な地元企業に対し、京都府と福知山市・舞鶴市・綾部市が協調して新しいインターンシップメニューを実施します。

2 事業の内容

中丹地域にU I J ターン就職を希望する大学生に対し、職業体験に加え、宿泊、生活体験を組み合わせた中丹圏域における総合的なコーディネートによる新たなインターンシップ制度を京都府及び中丹地域3市の協調により実施します。各市においては大学生の宿泊費相当分を負担します。

また、福知山公立大学とも連携し、中丹地域に就職を希望する学生についても支援を行います。

3 事業費の内訳

(款)総務費 (項)総務管理費 (目)企画費
・委託料 493千円

4 主な特定財源

(款)国庫支出金 (項)国庫補助金
(目)総務費国庫補助金
地方創生推進交付金 246千円



H27 のチラシ

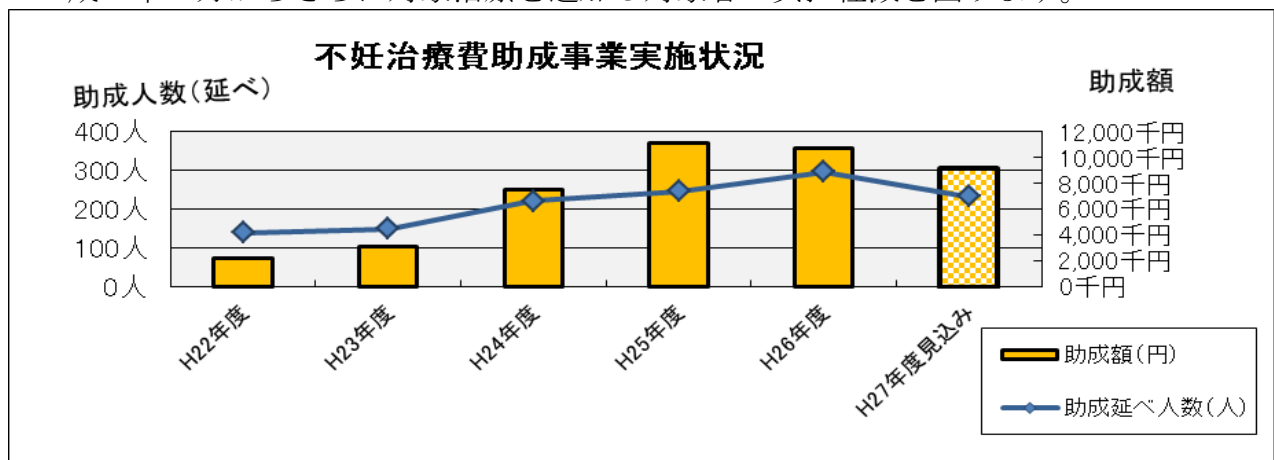
担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030 内線 3114
-----	---------	----	--------------------

政策名	福知山市への新しいひとの流れをつくる					
事業名	高校生議会実施事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
88	国	府	市債	その他	一般財源	88
					88	—
1 事業の背景・目的 平成 28 年 6 月から選挙権の年齢が引き下げられることに伴い、将来を担う高校生に、民主主義の原則や地方自治の実践を学習する機会を提供することにより、行政や議会に対する関心度を高め、まちづくりに参画する意識の高揚を図ります。 本事業は「平成 27 年度地方創生まちづくりアイデア買取り事業」において、優秀賞を受賞した市民のアイデアを事業化するものです。 2 事業の内容 平成28年度から、新たに有権者となる市内の高校生を対象に、高校生議会を開催します。 ・開催時期 5月（予定） ・開催場所 福知山市議会本会議場 ・開催回数 1回 ・対象人数 20～30人 ・そ の 他 平成27年度から、京都府教育委員会の「法やルールに関する研究」指定校となっている大江高校を対象とします。 3 事業費の内訳 (款) 議会費 (項) 議会費 (目) 議会費 (節) 需用費 34千円 参加記念品 30千円 燃料費 2千円 印刷製本費 2千円 (節) 使用料及び賃借料 54千円 自動車借上料 54千円						
 平成 27 年 10 月に開催した市議会議員と高校生との懇談会						
担当課	市議会事務局		電話	直通 24－7031 内線 5311		

政策名	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる					
事業名	不妊治療費助成事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
9,434	国	府	市債	その他	一般財源	11,716
		2,323			7,111	

1 事業の背景・目的

不妊治療を受けている夫婦の経済的な負担の軽減を図るため、平成15年度から治療費の自己負担金の一部を助成する事業を開始しました。平成23年度には対象治療に人工授精が追加、平成24年度治療分から、助成限度額の増額とともに全額助成(限度額内)をしており、助成件数・助成金額ともに大きな伸びがみられています。平成26年10月からさらに対象治療を追加し対象者の負担軽減を図ります。



	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 見込み
助成延べ人数(人)	139人	149人	222人	246人	297人	233人
助成額(円)	2,196,610円	3,127,146円	7,504,723円	11,098,180円	10,698,846円	9,293,000円

2 事業の内容

【対象者】

- ① 医療保険適用の治療を受けた人
 - ② 人工授精を受けた人
 - ③ 不育症の原因検査、治療を受けた人
- ※ 1年以上京都府内に継続して居住し、福知山市に住民票がある期間の治療費が対象となります。

【助成額】

- 不妊治療費の自己負担金を全額助成
- 限度額：1年度 20万円
- ※ ただし、次の場合は限度額が異なります。
- ・ 医療保険適用治療のみの場合 12万円
 - ・ 不育症は1回の妊娠につき上限 10万円

3 事業費の内訳 (款)衛生費 (項)保健衛生費 (目)保健衛生総務費
賃金 116千円 役務費 25千円 扶助費 9,293千円

4 主な特定財源 (款)府支出金 (項)府補助金 (目)衛生費府補助金
京都府不妊治療給付事業助成費補助金 2,323千円

担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788 内線 6220
-----	------------	----	--------------------

政策名	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる					
事業名	病児保育サービス事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
9,670	国	府	市債	その他	一般財源	4,660
	2,232	2,232		931	4,275	
1 事業の背景・目的 病気のため集団生活が困難であり、かつ保護者が勤務等のため家庭で保育できない児童を一時お預かりし、子どもの病気が原因でやむを得ず仕事を休まなければならないという状況を解消します。 2 事業の内容 ・実施場所 福知山市民病院内病児保育所 ・開始時期 平成27年9月から ・対象者 仕事などの都合で家庭での保育が受けられない病氣中、病氣回復期の小学校3年生までの児童 ・定員(日) 6人 ・開設時間 月曜日から金曜日までの午前7時30分から午後6時まで 3 事業費の内訳 (款)民生費 (項)児童福祉費 (目)児童福祉総務費 (節)賃金 9,420千円 (看護師、保育士) (節)需用費 230千円 (消耗品費等) (節)備品購入費 20千円 (図書) 4 主な特定財源 (款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)民生費国庫補助金 ・子ども・子育て支援交付金(国庫) 2,232千円 (款)府支出金 (項)府補助金 (目)民生費府補助金 ・子ども・子育て支援交付金(府) 2,232千円 (款)諸収入 (項)雑入 (目)雑入 ・病児保育利用料 931千円						
担当課	福祉保健部子育て支援課		電話	直通 24-7083 内線 2117		

政策名	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる					
事業名	多子世帯保育料軽減事業（保育園分）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,939	国	府	市債	その他	一般財源	3,939
		2,336			1,603	
1 事業の背景・目的 子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育てしやすい町を目指します。 2 事業の内容 子どもが3人以上いる世帯で保育を受けている第3子以降の子どもの保育料を無料とします。 3 事業費の内訳 （款）民生費 （項）児童福祉費 （目）児童福祉総務費 ・共済費 265千円 ・賃金 1,739千円 ・需用費 195千円 ・負担金補助及び交付金 1,740千円 4 第3子以降保育所保育料の軽減額 ・認可保育園 58,757千円 ・地域型保育事業所等 1,740千円 5 主な特定財源 （款）府支出金 （項）府補助金 （目）民生費府補助金 ・多子世帯保育料軽減事業（保育園分） 2,336千円						
担当課	福祉保健部子育て支援課		電話	直通 24-7083 内線 2117		

- 1 事業の背景・目的
子育て世帯の経済的負担を軽減し、子育てしやすい町を目指します。
- 2 事業の内容
子どもが3人以上いる世帯で保育を受けている第3子以降の子どもの保育料を無料とします。
- 3 事業費の内訳
- | (款) 民生費 | (項) 児童福祉費 | (目) 児童福祉総務費 |
|--------------|-----------|-------------|
| ・ 共済費 | | 265千円 |
| ・ 賃金 | | 1,739千円 |
| ・ 需用費 | | 195千円 |
| ・ 負担金補助及び交付金 | | 1,740千円 |
- 4 第3子以降保育所保育料の軽減額
- | | |
|-------------|----------|
| ・ 認可保育園 | 58,757千円 |
| ・ 地域型保育事業所等 | 1,740千円 |
- 5 主な特定財源
- | (款) 府支出金 | (項) 府補助金 | (目) 民生費府補助金 |
|---------------------|----------|-------------|
| ・ 多子世帯保育料軽減事業（保育園分） | | 2,336千円 |

担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7083 内線 2117
-----	-------------	----	--------------------

政策名	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					
事業名	夜久野地域協議会支援事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
7,902	国	府	市債	その他	一般財源	—
	3,951				3,951	
1 事業の背景・目的 夜久野地域においては、急速な少子高齢化とともに過疎限界集落化が進み、空き家や空き地が増加しています。また、後継者不足による農林業の衰退や有害鳥獣被害の拡大など多くの課題を抱えています。 このような現状を踏まえ、新たな地域を支える仕組みとして、平成27年7月14日に「夜久野みらいまちづくり協議会」が設立されました。 平成26年度に策定した「夜久野みらいまちづくりビジョン2024」に基づき、夜久野のめざす将来像「住んでよかったこのまちに」を実現するために、住民が主体となって地域の課題解決への取り組みが進められています。						
2 事業の内容 住民が地域の課題を共有し、自らが考え行動し、行政と協働しながらまちの活性化を図る「夜久野みらいまちづくり協議会」の運営及び活動を支援するために交付金を交付します。 【取組内容】 ・暮らし（住み）やすく、人が増えるまちづくり ・観光・農村環境を活かし、人が集うまちづくり ・地域コミュニティ・都市交流で深まる「もてなし」のまちづくり ・地域文化を活かし、笑顔のあるまちづくり ・誰もが安全・安心に暮らせるまちづくり ・遊休地や遊休施設の有効活用						
3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金（交付金）7,902千円						
4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 総務費国庫補助金 地方創生推進交付金 3,951千円						
担当課	地域振興部夜久野支所		電話	直通 37-1103 内線 74-9220		

政策名	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					
事業名	大江地域協議会支援事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
13, 533	国	府	市債	その他	一般財源	—
	6, 766				6, 767	
1 事業の背景・目的 大江地域は、合併後も少子高齢化、人口減少の傾向にあり、地区によっては限界集落に近い状態となり集落機能の存続が危惧される等多くの課題を抱えており、課題解決のため新たな住民自治の姿が問われています。 このような現状を踏まえ、住民総参加のもと英知と活力の結集により自分たちで出来ることを実践し、豊かな農林特産物や多くの地域資源や魅力、可能性を活かした「元気あふれるまち」を実現するため、平成28年3月に地域協議会が設立されます。 地域協議会により、住民が望む「これからも住み続けたい大江」を実現するため、地域課題の解決に向けた取り組みが進められます。 2 事業の内容 住民が地域の課題を共有し、自らが考え行動し、行政と協働しながらまちの活性化を図る「大江地域協議会」の運営及び活動を支援するために交付金を交付します。 【取組内容】 ・地域資源を活かした人が集うまちづくり ・住民が元気に賑わうまちづくり ・子どもの声が響き渡るまちづくり ・子育てに優しいまちづくり ・楽しい交流と躍動感のあるまちづくり ・誰もが安全安心に暮らせるまちづくり 3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金（交付金） 13, 533千円 4 主な特定財源 （款）国庫支出金 （項）国庫補助金 （目）総務費国庫補助金 地方創生推進交付金 6, 766千円						
担当課	地域振興部大江支所		電話	直通 56-1102 内線 75-9322		

政策名	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					
事業名	三和地域協議会支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
12, 310	国	府	市債	その他	一般財源	12, 310
	6, 155				6, 155	
1 事業の背景・目的 平成21年度から6年間検討されてきた市民協働型の地域のあり方を具現化するため平成27年4月に三和地域協議会が新たな地域を支えるモデル事業として立ちあげられました。 限界集落、公共交通、福祉など地域の諸問題の解決に向け住民自らが地域の主体となり、「住み続けられるみわ」を実現するための取り組みを支援するとともに、市における地域自治のモデルとなりうる取り組みをめざします。						
2 事業の内容 中学校区単位の計画策定に基づき、地域住民のニーズに沿ったきめ細やかな事業展開をめざすため実施してきた三和地域でのモデル事業について、地域住民が、主体性、透明性、地域代表性をもつ地域協議会として運営していくための交付金交付事業を平成27年度に引き続き実施します。						
3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金（交付金） 12, 310千円 地域協議会の活動分野 【地域を元気にする】 ・地域活性化イベントの事務局 ・三和荘を活用した振興事業 ・定住、移住の支援、促進 ・情報発信、広報活動 【地域や市民の活動を支援する】 ・振興活動団体やグループの活動支援 ・地域における諸活動のネットワーク化 【地域の未来を考え提言する】 ・遊休施設の活用方法の検討 ・地域交通のあり方の検討 ・三和地域の将来計画の策定						
4 主な特定財源 （款）国庫支出金 （項）国庫補助金 （目）総務費国庫補助金 地方創生推進交付金 6, 155千円						
担当課	地域振興部三和支所		電話	直通 58-3003 内線73 - 9117		

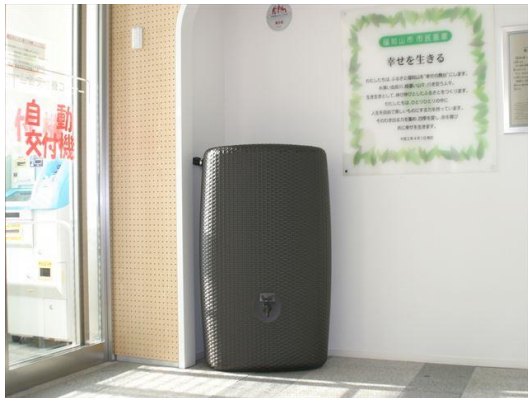
政策名	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					
事業名	中心市街地空き家・空き店舗等ストックバンク事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
8, 235	国	府	市債	その他	一般財源	900
	4, 117				4, 118	
1 事業の背景・目的 空き家・空き店舗が増え、空洞化が進む中心市街地において、それらを有効活用し、不動産の流動化を促し、まちなか居住の促進と商業活性化を図ります。						
2 事業の内容 中心市街地エリアの空き家、空き店舗、空き地の情報を集約し、宅建業協会との連携を図り、ストックバンク登録者・利用希望者双方にとって信頼が保てるマッチングを行います。 また、まちなみ環境整備事業の重点区域については、不動産契約仲介手数料や家財処分費の一部について助成を行うとともに、平成28年度から福知山まちづくり(株)等の活動について支援強化を行い、空き家等の利活用を促します。 (※H28年度より『空き店舗活用チャレンジ事業』を本事業に統合)						
3 事業費の内訳 ○負担金補助及び交付金 一式4,700千円 ・ストックバンク契約仲介手数料支援補助金 600千円 売買（買主のみ）補助率 1/2以内 上限200千円 2件 400千円 賃貸（借主のみ）補助率 1/2以内 上限 50千円 4件 200千円 ・ストックバンク家財処分費支援補助金 300千円 補助率 処分費の1/2以内 上限100千円 3件 300千円 ・空き店舗活用チャレンジ事業補助金 3,400千円 (1) まちづくり会社・特定会社による新店舗開業事業 2,200千円 改修費補助 補助率 2/3以内 1件 2,000千円（上限） 備品購入補助 補助率 1/2以内 1件 200千円（上限） (2) (1) 以外の事業者による新店舗開業事業 1,200千円 改修費補助 補助率 1/2以内 1件 1,000千円（上限） 備品購入補助 補助率 1/2以内 1件 200千円（上限） ・まちづくり会社・特定会社による不動産流動化補助金 400千円 新規 補助率 固定資産税相当額の1/2以内 上限200千円 2件 400千円 ○委託料 ・ストックバンク運營業務 3,535千円 空き家等の調査登録、見学会の実施、D I Y講習会など						
4 主な特定財源 国庫補助金（社会資本整備総合交付金） 300千円 国庫補助金（地方創生推進交付金） 3,817千円						
担当課	農林商工部商工振興課		電話	直通 24-7075 内線 4149		

政策名	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					
事業名	地域資源の活用と創業支援による交流人口倍増戦略事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
6, 000	国	府	市債	その他	一般財源	—
	3, 000				3, 000	
1 事業の背景・目的 地方の商店街は、いずれの地域も郊外型やロードサイドへの大型店の進出、後継者難や店主の高齢化等により個店だけでなく組織としても新たな投資が困難となっている所が増加しています。 このため、従来にない公民協働の新たな事業モデルを戦略的に組み立て実施することで地域経済全体の循環を促し、中心市街地の賑わいと交流人口の倍増を図ります。						
2 事業の内容 中心市街地活性化に取り組む福知山駅正面通りの福知山フロント株式会社が、商店街をベースに空き店舗等の利活用を提案することで飲食店やゲストハウス等を開設するとともに、広域的な地域資源の活用によりインバウンド観光等を盛り込んだ新たな観光面での受け皿を構築するものです。 今年度については、商店街再生プラン（5か年実行計画）に基づき、観光戦略プランの策定、飲食店やゲストハウス等の開設に向けた各種調整、また、地域の賑わい再生や県域を越えたエリア全体の活性化に結び付けていくツアー等を行なう事業の経費について補助金を交付します。						
3 事業費の内訳 [総事業費] 商店街再生プロジェクト支援事業費補助金 6, 000千円 [内 容] 1 インバウンド観光現地紹介・誘致業務 1, 300千円 (ブロガーなどによる情報発信、ツアー企画等) 2 観光戦略プラン策定業務（現場調整人件費） 2, 844千円 3 広報活動費 956千円 (新聞や観光雑誌、ホームページによる広告費用等) 4 京都丹後鉄道特別列車等の運行 900千円						
4 主な特定財源 国庫補助金（地方創生推進交付金） 3, 000千円						
担当課	農林商工部商工振興課		電話	直通 24-7075 内線 4142		

施策名	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
事業名	K T R 支援事業（地方創生加速化交付金）				継続
補正予算額	左の財源内訳				
	国	府	市債	その他	一般財源
16,418	16,418				
1 事業の背景・目的 京都丹後鉄道は沿線地域の人々の貴重な移動手段として、なくてはならない公共交通であり、京都府北部地域の振興と、地域の交通ネットワークの中心である本市の都市機能に欠かせない交通基盤です。この交通基盤を維持し、地域の活力向上につなげるため、平成27年4月から上下分離による鉄道再構築を行い、基盤保有会社〔北近畿タンゴ鉄道㈱（KTR）〕と運行会社（WILLER TRAINS ㈱）〕による事業展開を図っています。 京都府をはじめ、沿線自治体と連携して、安全運行に必要な基盤の維持と、沿線地域の活性化、交流の拡大を促進するためK T Rに支援を行います。 2 事業の内容 特急車両（ディスカバリー）は導入から約20年が経過し劣化が激しいため、安全・快適に運行するために必要な改修と、併せて観光客誘客を図るためデザイン車両に改修を行う経費を、京都府をはじめ沿線自治体と協調し支援します。 3 事業費の内訳 （款）総務費 （項）総務管理費 （目）交通対策費 ・ K T R 再生支援事業補助金（地方創生加速化交付金） 16,418千円 （特急車両（ディスカバリー）2編成4両改修 総事業費159,000千円） 4 主な特定財源 （款）国庫支出金（項）国庫補助金 （目）総務費国庫補助金 K T R 経営支援事業（地方創生加速化交付金） 16,418千円 特急車両（ディスカバリー）					
					
担当課	市民人権環境部生活交通課		電話	直通 24-7020 内線 2231	

政策名	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する														
事業名	福知山市地域公共交通再編実施計画策定事業					継続									
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額									
9,308	国	府	市債	その他	一般財源	7,000									
		4,654		4,654											
1 事業の背景・目的 路線バス等の公共交通は、自動車等の移動手段を持たない高齢者や身体の不自由な人、学生等にとってなくてはならない交通移動手段です。しかしながら、自家用車に過度に依存する社会構造の進展、少子高齢化、人口減少の進行などにより、公共交通の利用者は減少傾向にあり、現在の運行状況を維持していくことが困難な状況になってきています。 こうしたなか、本市の公共交通再編のマスタープランとして、平成27年度策定の「福知山市地域公共交通網形成計画」の基本方針に則り、まずは、市バス路線等の再編を進めるための具体的な実施計画を策定し、地域の実情に応じた効率性、利便性、持続可能性を確保した交通体系への再編を進めます。 2 事業の内容 計画の策定は、本市全体の公共交通のあり方や方向性について協議・調整を行う必要があるため、旅客運送事業者や地域住民代表、その他関係者により組織する「福知山市地域公共交通会議」において行います。 また、計画策定に向けて、それぞれの地域の実情に適した再編計画となるよう、地域や利用者の実態の調査・分析や、地元懇談会などを実施します。 3 事業費の内訳 <table><tr><td>負担金</td><td>福知山市地域公共交通会議への負担金</td><td>7,000千円</td></tr><tr><td>報酬等</td><td>地域公共交通会議委員報酬等</td><td>988千円</td></tr><tr><td>事務費</td><td>アンケート調査・実証実験費用等</td><td>1,320千円</td></tr></table> 4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 総務費府補助金 地域公共交通再編実施計画策定事業（みらい戦略一括交付金）4,654千円 (款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金 地域振興基金繰入（地域公共交通再編実施計画策定事業基金繰入） 4,654千円							負担金	福知山市地域公共交通会議への負担金	7,000千円	報酬等	地域公共交通会議委員報酬等	988千円	事務費	アンケート調査・実証実験費用等	1,320千円
負担金	福知山市地域公共交通会議への負担金	7,000千円													
報酬等	地域公共交通会議委員報酬等	988千円													
事務費	アンケート調査・実証実験費用等	1,320千円													
担当課	市民人権環境部 生活交通課	電話	直通 24-7084 内線 2232												

政策名	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					
事業名	敬老乗車券事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
12, 293	国	府	市債	その他	一般財源	13, 905
	5, 146			2, 000	5, 147	
1 事業の背景・目的 路線バス等の公共交通は、自動車等の移動手段を持たない高齢者等にとってなくてはならない交通移動手段です。しかしながら、自家用車に過度に依存する社会構造の進展、少子高齢化や人口減少の進行等により公共交通の利用者は減少傾向にあります。 こうしたなか、75歳以上の高齢者を対象に、路線バスや京都丹後鉄道（丹鉄）の乗車券として利用できる敬老乗車券を安価で販売することで、高齢者の外出を支援するとともに公共交通の利用促進を図ります。						
2 事業の内容 【対象】 市内に住所を有し、その年度に75歳以上になる人で、福知山市在宅高齢者外出支援助成事業の対象でない人 【事業の内容】 ○市内を運行する路線バス（高速バスは除く）及び丹鉄の乗車券として利用できる敬老乗車券を、1冊3, 000円分（100円券×30枚つづり）を500円で販売します。 ○券の購入は、同一年度ひとり3冊9, 000円分を限度とし、有効期限は購入年度の翌年度末とします。ただし、運転免許証を自主返納されたことが確認できる人は、同一年度の購入冊数上限を5冊とします。 ＊販売は市役所及び各支所で行います。 ＊バス運行事業者及び丹鉄には、利用された敬老乗車券相当額を補填します。						
3 事業費の内訳 負担金 運行事業者への運賃補填 12, 000千円 事務費 消耗品、印刷製本費（敬老乗車券印刷代等4, 000冊） 293千円						
4 主な特定財源 （款）国庫支出金 （項）国庫補助金 （目）総務費国庫補助金 地方創生推進交付金（敬老乗車券事業） 5, 146千円 （款）諸収入 （項）雑入 （目）雑入 敬老乗車券販売収入 2, 000千円						
担当課	市民人権環境部 生活交通課		電話	直通 24-7084 内線 2232		

政策名	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					
事業名	災害対策再エネ・省エネ推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
600	国	府	市債	その他	一般財源	—
	200	200			200	
1 事業の背景・目的 上下水道部において、これまで、水害対策として雨水貯留槽設置補助制度を実施してきましたが、公共下水道区域の雨水排水区域に限定しています。雨水の有効利用は省エネルギーに繋がり、環境対策としても有効な施策であることから、上下水道部の補助制度と合わせて、市内全域を雨水貯留槽設置補助の対象地域とすることで、全市的な水害対策と省エネ推進を支援します。 2 事業の内容 公共下水道区域の雨水排水区域以外で100リットル以上の雨水貯留槽を設置する者に対し、雨水貯留槽購入費の3/4を補助します。ただし、建物1戸につき1基限りとし、一戸に複数の建物がある場合は、そのうちの1棟のみとします。 (補助金額の上限：4万円)  3 事業費の内訳 雨水貯留槽設置費補助金 40千円（購入費）×3/4（補助率）×20件＝600千円 4 主な特定財源 （款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）衛生費国庫補助金 （節）保健衛生費補助金 地方創生推進交付金〔（600千円－200千円）×1/2〕 200千円 （款）府支出金（項）府補助金（目）衛生費府補助金（節）保健衛生費補助金 雨水貯留施設設置事業費補助金〔40千円×3/4×1/3×20件〕 200千円						
担当課	市民人権環境部環境政策室		電話	直通 22-1827 内線 6110		

政策名	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する					
事業名	女性のためのがん検診推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
35,708	国	府	市債	その他	一般財源	38,207
	586			537	34,585	

1 事業の背景・目的

子宮頸がんは罹患率のピークが若年化しており、平成22年度の人口10万対罹患率は35～39歳で28.6、40～44歳で31.2と高くなっています。また、死亡率も諸外国の低下に反して上昇しています。

乳がんは、検診受診率が低く、死亡率が上昇しています。

こうした状況から受診率が低く、罹患率の高い女性のがん検診の受診促進を図り、がんの早期発見と正しい健康意識の普及および啓発を行い、健康の保持・増進を図ります。



2 事業の内容

(1) 検診の内容

- ・子宮頸がん検診：直接採取による膣細胞診、組織診
- ・子宮体がん検診：子宮内膜の直接採取による細胞診、組織診
- ・乳がん検診：視触診とマンモグラフィ併用検診
(40歳代は2方向、50歳以上は1方向撮影)
* 30歳代の視触診とエコー併用検診は廃止

(2) 対象者・自己負担金

- ・子宮がん検診 20歳以上の市民 700円
 - ・乳がん検診 40歳以上の市民 700円
- * 自己負担金無料制度あり

(3) 無料クーポン券送付による個別受診勧奨通知

下記対象者へ、市実施の検診が無料で受診できるクーポン券と啓発用検診手帳を送付し、受診率向上を図る。（*40歳対象者には、検診にかかるアンケート用紙を同時送付）

- ・子宮頸がん検診 H28.4.1現在、20歳の市民（361人予定）
- ・乳がん検診 H28.4.1現在、40歳の市民（614人予定）

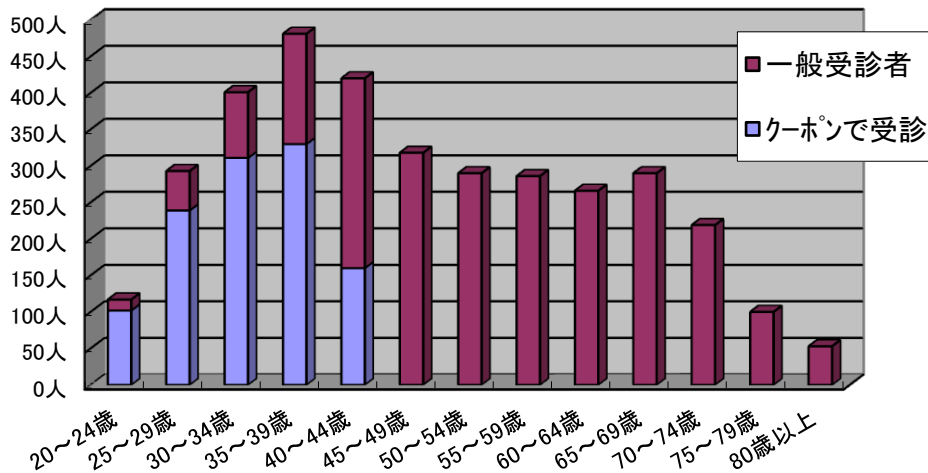
(4) 節目年齢者への子宮がん検診個別受診勧奨通知

- ・対象者：25・30・35歳（1,137人予定）
* 30歳代の乳がん検診廃止に伴い、若い世代に乳がんの自己検診法啓発を同時に実施

【参考】平成26年度受診状況

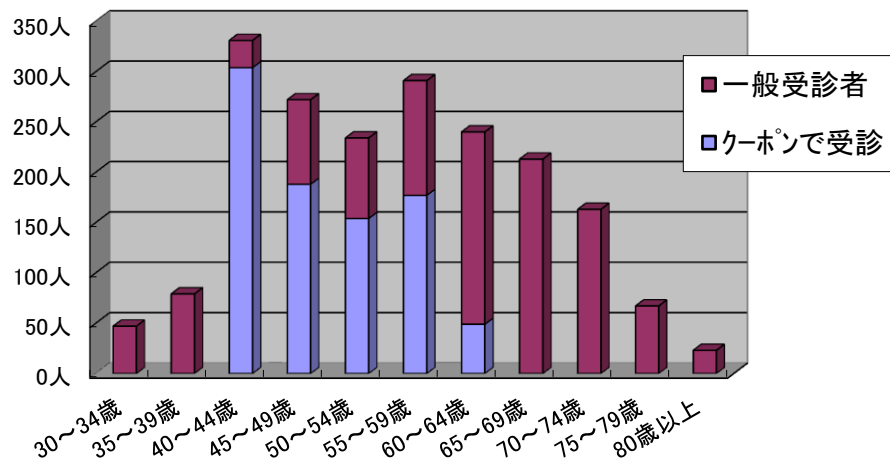
* 無料クーポン対象者 ・ 子宮がん検診20歳 ・ 乳がん検診40歳
・ H21～24年度対象者で当該年度中の未利用者

子宮がん検診



検診全体の受診率が20.2%、無料クーポン対象者の受診率は19.7%。無料クーポン券を利用した人の82.0%は新規受診者。これを機会に毎年受診が習慣化されるよう、啓発します。（無料クーポン対象者の中からがん確定者1人）

乳がん検診



検診全体の受診率11.8%（修正値22.2%）、無料クーポン対象者の受診率は14.1%。無料クーポン券を利用した人の64.0%が新規受診者。乳がん検診は2年に1度の検診のため、2年後に継続できるよう受診勧奨に努めます。（がん確定者6人（無料クーポン対象者では0人））

3 事業費の内訳

(款) 衛生費 (項) 保健衛生費 (目) 保健指導費
・ 賃金 385千円 ・ 需用費 837千円 ・ 役務費 502千円
・ 委託料 33,963千円 ・ 扶助費 21千円

4 主な特定財源

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 衛生費国庫補助金
・ 疾病予防対策事業費補助金 586千円
(款) 諸収入 (項) 雑入 (目) 雑入 537千円

担当課	福祉保健部健康推進室	電話	直通 23-2788 内線 6210
-----	------------	----	--------------------

政策名	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する																																			
事業名	元気出す地域活力支援事業					継続																														
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																														
3, 200	国	府	市債	その他	一般財源	3, 400																														
	1, 600			1, 600																																
1 事業の背景・目的 地域住民が主体的に参画する団体が行う、地域活力の向上や課題解決に向けた事業に対して支援し、地域住民の連帯強化及び個性ある地域振興を図ります。 2 事業の内容 福知山市元気出す地域活力支援事業補助金交付要綱に基づき予算の範囲内において補助金を交付します。 補助率等 <table><tr><th>区 分</th><th>補助率</th><th>上限</th><th>件数</th><th>予算額</th></tr><tr><td>一般枠</td><td>2/3</td><td>100千円</td><td>20</td><td>2, 000千円</td></tr><tr><td>起業準備支援枠</td><td>2/3</td><td>200千円</td><td>1</td><td>200千円</td></tr><tr><td>若者創造枠</td><td>10/10</td><td>200千円</td><td>2</td><td>400千円</td></tr><tr><td>子育てグループ支援枠</td><td>10/10</td><td>200千円</td><td>2</td><td>400千円</td></tr><tr><td>女性団体等起業準備支援枠</td><td>10/10</td><td>200千円</td><td>1</td><td>200千円</td></tr></table> *若者創造枠は、団体の構成員の平均年齢が30歳未満の団体を対象とします。 3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金 3, 200千円 4 主な特定財源 (款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金 地域振興基金繰入金 1, 600千円 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 総務費国庫補助金 地方創生推進交付金 1, 600千円							区 分	補助率	上限	件数	予算額	一般枠	2/3	100千円	20	2, 000千円	起業準備支援枠	2/3	200千円	1	200千円	若者創造枠	10/10	200千円	2	400千円	子育てグループ支援枠	10/10	200千円	2	400千円	女性団体等起業準備支援枠	10/10	200千円	1	200千円
区 分	補助率	上限	件数	予算額																																
一般枠	2/3	100千円	20	2, 000千円																																
起業準備支援枠	2/3	200千円	1	200千円																																
若者創造枠	10/10	200千円	2	400千円																																
子育てグループ支援枠	10/10	200千円	2	400千円																																
女性団体等起業準備支援枠	10/10	200千円	1	200千円																																
担当課	地域振興部まちづくり推進課			電話	直通 24-7033 内線 3131																															

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	農村地域防災減災事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
48,000	国	府	市債	その他	一般財源	—
		24,000			24,000	
1 事業の背景・目的 平成26年8月に設置された「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」の計画に基づき、弘法川、法川流域の農業用ため池 6 池に洪水調整機能を付与した改修を実施し、流域の治水対策を図ります。 2 事業の内容 ○全体事業 工事内容 洪水調整機能付与他改修 6池（弘法川流域：市寺奥池、大道池、論田池 法川：新長谷池、長谷池、釜戸池） 総事業費 343,000千円 事業期間 平成28年度～平成31年度 ○本年度事業 計画策定業務他 6池 事業費 48,000千円（8,000千円×6池） 3 事業費の内訳 委託料 48,000千円						
担当課	農林商工部農林管理課		電話	直通 24-7042 内線 4116		

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	弘法川等河川改修関連橋りょう整備事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
30,000	国	府	市債	その他	一般財源	—
			22,500		7,500	

1 事業の背景・目的

平成26年8月豪雨による内水被害への対策として、国・府・市3者による「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」で示された方針に基づき、京都府管理河川である弘法川の改修にあわせて弘法川に架かる市道橋の改修を行います。

国・府と連携して事業を進めていくことで、弘法川流域住民はもとより、市民の安心・安全に寄与することができます。

2 事業の内容

京都府が施工する弘法川改修に伴う市道橋の架け替えに関する費用負担を行います。市道篠尾新町呉服線に架かる無名橋 1箇所

河川幅が広がることから、橋長を長くするとともに、河川断面の阻害が少ないよう橋脚のない橋に架け替えます。

3 事業費の内訳

(款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 橋りょう維持費

負担金補助及び交付金

京都府への負担金 30,000千円

4 主な特定財源

(款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債

一般単独事業債 30,000千円×充当率75％＝22,500千円



平成26年8月豪雨直後



流木による断面阻害

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059 内線 4215
-----	----------	----	--------------------

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	調節池整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
90,000	国	府	市債	その他	一般財源	30,000
	30,000		54,000		6,000	

1 事業の背景・目的

平成26年8月豪雨による内水被害への対策として、国・府・市3者による「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」で示された方針に基づき、法川及び弘法川の上流域の市管理河川等において、調節池の整備を行います。

国・府と連携して事業を進めていくことで、法川及び弘法川流域住民はもとより、市民の安心・安全に寄与することができます。

2 事業の内容

法川及び弘法川の上流域における調節池等の適地を検討し、新設する西川調節池、既存のため池である桃池、草池の整備にかかる測量・設計、地質調査等を実施します。

3 事業費の内訳

(款) 土木費 (項) 河川費 (目) 河川総務費

委託料

測量設計業務（実施設計他） 90,000千円

4 主な特定財源

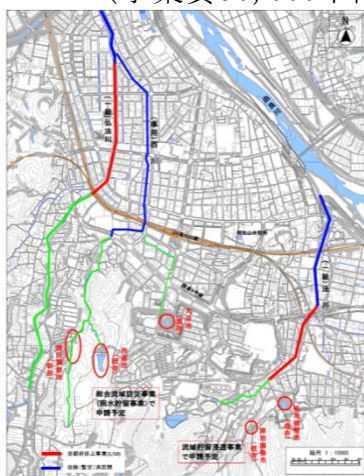
(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 土木費国庫補助金

社会資本整備総合交付金 $90,000 \text{ 千円} \times \text{補助率} 1/3 = 30,000 \text{ 千円}$

(款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債

公共事業等債

$(\text{事業費} 90,000 \text{ 千円} - \text{国費} 30,000 \text{ 千円}) \times \text{充当率} 90\% = 54,000 \text{ 千円}$



西川調節池

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059 内線 4215
-----	----------	----	--------------------

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	災害に強い森づくり事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
34,000	国	府	市債	その他	一般財源	—
		34,000				
1 事業の背景・目的 平成26年8月豪雨により被災した山腹について、府の委託事業による治山工事を実施し、山腹の荒廃の拡大と溪流からの土砂等の流出による再被害を防止し、下流域住民の安心と安全を図ります。 2 事業の内容 下記の2地区において、治山工事を実施します。 ・私市地区(治山ダム工他) ・奥榎原地区(既設治山ダム工の体積土砂排土) 3 事業費の内訳 (款)農林業費 (項)林業費 (目)林業振興費 山腹測量設計業務委託費 4,800千円 本数調整伐業務委託費 750千円 工事請負費 28,000千円 事務費 450千円 4 主な特定財源 (款)府支出金 (項)府委託金 (目)農林業費府委託金 災害に強い森づくり事業府委託金 34,000千円						
 H25災害に強い森づくり事業						
担当課	農林商工部林業振興課		電話	直通 24-7047 内線 4132		

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	府営ため池整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
14, 200	国	府	市債	その他	一般財源	13, 650
			12, 700		1, 500	
1 事業の背景・目的 豊富用水池は、造成後70年以上経過し、施設の老朽化が顕著な状況です。 府営事業で平成21年度から23年度まで施設の診断を行った結果、改修・改良が必要となりました。その結果を踏まえ、平成26年度から29年度にかけて府営事業によりため池整備を実施するため負担金を支払います。						
2 事業の内容 ○全体事業概要 事業内容 底樋、洪水吐、斜樋ゲート、水管理施設の改修・更新 (監視システム、警報装置含む) 総事業費 300, 000千円 事業期間 平成26年度～平成29年度 市負担率 10% ○本年度事業概要 ため池整備工事 1式 142, 000千円						
3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金（事業主体：京都府） 142, 000千円×10%＝14, 200千円 国55%、府30%、市10%、地元5%						
4 主な特定財源 公共事業債 12, 700千円						
						
担当課	農林商工部農林管理課		電話	直通 24-7042 内線 4116		

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	ため池等農地災害危機管理対策事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,500	国	府	市債	その他	一般財源	3,000
		1,250			2,250	

1 事業の背景・目的

府営事業で改修工事を実施している豊富用水池及び農村地域防災減災事業を今後実施する市寺奥池に関連した市寺口池について、ため池の危険性と地区住民の避難経路を周知することにより、被害を最小限にするとともに、地区住民の安心安全な生活の確保に寄与するため、ハザードマップを作成します。

なお、豊富用水池のハザードマップ作成は府営事業で平成25年度から実施をしていたが、平成28年度からハザードマップ作成は市営事業に移管されるため、今回、市の事業として実施します。

また、福知山市字大門地内に位置する袋池は、平成27年度で改修の計画策定業務を実施していますが、改修工事の事業採択において、環境調査（生き物調査）が必要であるため、今回、市の事業として実施します。

2 事業の内容

○全体事業（袋池）

工事内容 取水施設改修 1式

総事業費 25,000千円

事業期間 平成27年度～平成29年度

○本年度事業（袋池）

生き物調査業務 1式

事業費 1,000千円

（豊富用水池、市寺口池）

ハザードマップ作成 1式

事業費 2,500千円

3 事業費の内訳

委託料 3,500千円



大門地内



豊富用水池

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7042 内線 4116
-----	------------	----	--------------------

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	猪崎川北線緊急避難道整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,700	国	府	市債	その他	一般財源	2,000
	1,485		1,000		215	

1 事業の背景・目的

近年、頻繁に発生している自然災害への備えとして、地元自治会からも要望がある猪崎川北線を緊急避難道路として整備します。

緊急避難道を整備することにより、災害により孤立するおそれのある集落の住民の安心・安全を図ります。

2 事業の内容

緊急避難道として市道猪崎川北線の整備に必要となる測量・設計を実施します。

事業期間：平成27年度～平成32年度（予定）

全体延長L＝450m、計画幅員W＝4.0m

3 事業費の内訳

(款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費

委託料 2,700千円 (測量・設計業務)

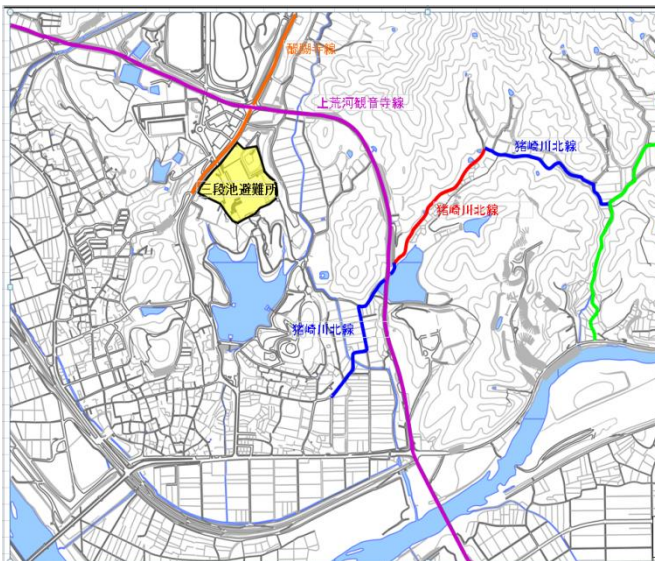
4 主な特定財源

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 土木費国庫補助金

社会資本整備総合交付金 2,700千円×補助率55%＝1,485千円

(款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債

公共事業等債 (2,700千円－1,485千円) ×充当率90%≒1,000千円







担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059 内線 4215
-----	----------	----	--------------------

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	防災マップ整備事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
13, 508	国	府	市債	その他	一般財源	—
	6, 754	2, 251			4, 503	
1 事業の背景・目的 由良川等の浸水想定区域を表示した防災マップ（洪水ハザードマップ）については、平成18年度に作成し、全戸配付するとともに転入者への配布を行っています。 平成28年度に国土交通省が由良川の浸水想定区域等の見直しを行うことから、新たな防災マップ（洪水ハザードマップ）を作成し、全戸配付を行います。 今回の見直しでは、想定雨量の見直しや堤防決壊等による外力の影響も考慮されることとなっており、早期に作成し、全戸配付することで市民の災害時の円滑かつ適切な避難行動に役立てます。 2 事業の内容 国土交通省から新たな浸水想定区域等のデータを受領し、避難所等の防災情報や市民への啓発情報も掲載したうえで、全戸配付を行います。 3 事業費の内訳 需用費 印刷製本費 40, 000部 6, 308千円 委託料 防災マップ（洪水ハザードマップ）作成業務委託 1 式 7, 200千円 4 主な特定財源 （款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）消防費国庫補助金 防災マップ整備事業（社会資本整備総合交付金） 6, 754千円 （款）府支出金（項）府補助金（目）消防費府補助金 防災マップ整備事業（みらい戦略一括交付金） 2, 251千円						
担当課	総務部危機管理室		電話	直通 24-7503 内線 3511		

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	防災情報ライブカメラ整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3, 200	国	府	市債	その他	一般財源	—
			3, 200			
1 事業の背景・目的 災害時の情報収集機能の強化として取り組んだ防災情報ライブカメラについては、現在下水道課の監視カメラも含めて7箇所に設置し、市のホームページで公開しています。 平成28年度においては、早期に警戒すべき2か所（土師橋東詰付近府道・大谷川（前田））に増設し情報収集機能の強化を図ります。 2 事業の内容 ライブカメラの増設 2か所 3 事業費の内訳 工事請負費 3, 200千円 4 主な特定財源 （款）市債（項）市債（目）消防債 防災情報ライブカメラ整備事業（緊急防災減災事業債） 3, 200千円						
担当課	総務部危機管理室		電話	直通 24-7503 内線 3511		

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	防災情報緊急告知ラジオ導入事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,849	国	府	市債	その他	一般財源	13,609
		734		1,380	735	
1 事業の背景・目的 災害時には、防災行政無線の屋外拡声子局や広報車両で避難等と呼びかけますが、従来から風雨が激しい状況や窓を閉めきっている状態では、放送内容が聞き取れないという課題がありました。 このため、災害時に防災行政無線による放送内容を戸別に受信ができる緊急告知ラジオを平成26年度から由良川流域（浸水想定区域）の要配慮者を含む世帯、平成27年度には土砂災害警戒区域等に居住する世帯、自主防災組織の役員等は無償貸与するとともに、購入を希望する市民に対して半額程度の自己負担による販売を進めてきました。 平成28年度においては、希望者向けの販売を継続し、市民への情報伝達機能の更なる強化を図ります。 2 事業の内容 購入を希望する市民に対して、あらかじめ市で台数を確保し販売します。 （300台）※自己負担額 4,600円/台 3 事業費の内訳 備品購入費 2,849千円 4 主な特定財源 （款）財産収入（項）財産売払収入（目）物品売払収入 緊急告知ラジオ 1,380千円 （款）府支出金（項）府補助金（目）消防費府補助金 防災情報緊急告知ラジオ導入事業（みらい戦略一括交付金） 734千円 						
担当課	総務部危機管理室		電話	直通 24-7503 内線 3511		

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	消防車両更新事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
72,353	国	府	市債	その他	一般財源	49,718
	10,712	4,250	53,000	0	4,391	
1 事業の背景・目的 消防団の災害現場活動における機動力を向上するため、老朽化したポンプ車と小型動力ポンプ付積載車を更新整備します。 老朽化した消防ポンプ自動車を更新整備し、火災出動、救急支援出動、ドクターヘリ警戒活動など、複雑多様化する各種災害事象に安全かつ迅速に対応できるよう北分署に配置します。						
2 事業の内容 (1) 多機能型小型動力ポンプ付積載車整備 2 台 更新車両 雀部分団第 1 部（前田） 積載車（経過年数 26 年） 川合分団第 2 部（上川合） ポンプ車（経過年数 21 年） (2) 消防ポンプ自動車整備（CD-I 型） 1 台 23 年を経過する消防ポンプ自動車を更新整備します。						
3 事業費の内訳 (款) 消防費 (項) 消防費 (目) 消防施設費 (1) 多機能型小型動力ポンプ付積載車整備 2 台 17,196 千円 (2) 消防ポンプ自動車整備 1 台 55,157 千円						
4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 消防費国庫補助金 消防ポンプ自動車整備 10,712 千円（緊急消防援助隊整備費補助金 50%） (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 消防費府補助金 積載車整備（雀部分団） 4,250 千円（地域防災力総合支援事業 50%） (款) 市債 (項) 市債 (目) 消防債 積載車整備（雀部分団） 3,100 千円（防災対策事業債 75%） 積載車整備（川合分団） 8,500 千円（過疎対策債） 消防ポンプ自動車整備 9,600 千円（一般補助施設整備等事業債 90%） 消防ポンプ自動車整備 31,800 千円（旧合併特例債 95%）						
 ポンプ車（イメージ）			 積載車（イメージ）			
担当課	消防本部警防課		電話	直通 24-0119 内線 2420+205		

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	自主防災組織地域防災マップ作成事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3, 000	国	府	市債	その他	一般財源	—
	1, 500	500			1, 000	
1 事業の背景・目的 現在、市で作成・全戸配付を行っている防災マップ（洪水ハザードマップ）や地震ハザードマップに加えて、自主防災組織が独自に取り組む地域ごとの災害リスク等を反映した地域版防災マップ（マイマップ）の作成を支援することで、安心・安全なまちづくりを推進します。 平成27年度は取組の初年度として20組織を対象にマップ作成を行いました が、2年目となる平成28年度は30組織を対象としてマップ作成に取り組めます。 2 事業の内容 マイマップ作成・印刷 30組織 3, 000千円 3 事業費の内訳 需用費 印刷製本費 1, 500千円 委託料（地図データ整理業務） 1, 500千円 4 主な特定財源 （款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）消防費国庫補助金 自主防災組織地域防災マップ作成事業（地方創生推進交付金） 1, 500千円 （款）府支出金（項）府補助金（目）消防費府補助金 自主防災組織地域防災マップ作成事業（みらい戦略一括交付金） 500千円						
担当課	総務部危機管理室		電話	直通 24-7503 内線 3511		

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	消防団資機材整備事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
5,751	国	府	市債	その他	一般財源	3,516
		1,305			4,446	
1 事業の背景・目的 消防団活動で必要となる装備の更新及び充実を図ることで、消防団活動の安全を確保し、地域住民の生命・財産を災害から守るとともに、「消防団の装備の基準」(昭和63年 消防庁告示第3号)に基づき、消防団用の無線機器の更なる増強を図り、消防団の情報収集・共有・発信機能を強化し、地域防災力の向上に努めます。 2 事業の内容 (1) 消防団簡易デジタル無線の購入 29台 (各分団1台ずつ増強) 現行の配置状況…234台の配置 消防団車両に2台 消防団幹部に1台 (2) ヘルメットの更新 (400個) (3) 消火用ホースの購入 (65mm×20m 58本) (4) 背負い式消火水のうの購入 (8台) 3 事業費の内訳 (款) 消防費 (項) 消防費 (目) 非常備消防費 消耗品費 1,320千円 (ヘルメット) 備品購入費 4,415千円 消防団簡易デジタル無線 2,610千円 消火用ホース 1,555千円 背負い式消火水のう 250千円 使用料及び賃借料 (簡易無線局電波使用) 16千円 4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 消防費府補助金 簡易デジタル無線 1,305千円 (地域防災力総合支援事業 50%)						
担当課	消防本部総務課		電話	直通 24-0119 内線 2420+204		

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化											
事業名	自主防災組織育成補助事業					継続						
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額						
2,300	国	府	市債	その他	一般財源	—						
	1,150				1,150							
1 事業の背景・目的 災害対応においては、地域での「自助・共助」による活動が被害を最小限度に食い止めるため欠かせないものとなります。 自主防災組織の組織率は現在73.4%であり、昨今の大規模災害の頻発を踏まえて、喫緊の課題として未設置自治会への設置促進と、設置済み自主防災組織については活動強化に取り組み、「市民とともにつくる災害に強いまちづくり」を推進します。 2 事業の内容 自主防災組織の育成の推進及び活動の充実を図るための、補助制度に基づく組織結成の促進、活動の活性化を図ります。 〈設置補助（設置時1回のみ）〉 基準額10万円、補助率1/2、補助金上限5万円 〈運営補助（毎年利用可能）〉 基準額6万円、補助率1/3、補助金上限2万円 <table><tr><td>設置補助金</td><td>500 千円（10 組織）</td></tr><tr><td>運営補助金</td><td>1,800 千円（90組織）</td></tr></table> 3 事業費の内訳 <table><tr><td>負担金補助及び交付金</td><td>2,300 千円</td></tr></table> 4 主な特定財源 （款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）消防費国庫補助金 自主防災組織育成補助事業（地方創生推進交付金） 1,150 千円							設置補助金	500 千円（10 組織）	運営補助金	1,800 千円（90組織）	負担金補助及び交付金	2,300 千円
設置補助金	500 千円（10 組織）											
運営補助金	1,800 千円（90組織）											
負担金補助及び交付金	2,300 千円											
担当課	総務部危機管理室		電話	直通 24-7503 内線 3511								

政策名	災害に強いまちづくり～総合的な防災機能強化					
事業名	福祉避難所運営事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
750	国	府	市債	その他	一般財源	672
					750	
1 事業の背景・目的 災害発生時に身体的、知的、精神障害等により広域避難所での継続的な避難生活が困難な人等を受け入れる福祉施設を事前に指定し、災害時における要配慮者の安心安全を確保する必要があることから、受入先への委託に関して所要の経費を計上します。 2 事業の内容 福祉避難所運営にかかる費用の措置（委託料） 3 事業費の内訳 (款) 民生費 (項) 災害救助費 (目) 災害救助費 福祉避難所運営費委託料 ・ 受入施設の人件費等 (8人×7日) × (7,000円+5,000円) ×1回=672,000円 ・ 食費 1,380円 (国基準額) × (8人×7日) ×1回=77,280円						
担当課	福祉保健部高齢者福祉課		電話	直通 24-7013 内線 2144		

政策名	公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして					
事業名	公共施設最適化事業（保健・福祉施設）					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
32,125	国	府	市債	その他	一般財源	—
			27,000	5,125		
1 事業の背景・目的						
東部保健福祉センターは、完成から19年が経過しており、老朽化が進んでいます。その他の設備についても修繕を要する箇所が増えており、駐車場も狭く、多くの方が来所する健診時には、必要な駐車場も確保できない状態です。						
そこで、福知山市公共施設マネジメント実施計画に基づき、近隣施設である福知山市三和支所内の空きスペースを改築して、東部保健福祉センター機能を全面的に移転します。						
成果指標：短期（5年）で30%の削減 （福知山市公共施設マネジメント実施計画による保健福祉センターの削減目標（延床面積ベース））						
2 事業の内容						
(1) 東部保健福祉センター移転に伴う三和支所改築工事						
・トレーニングルーム 2室						
・診察室 3室						
・プレイルーム 1室						
(2) 東部保健福祉センター移転に伴う三和支所への物品の運搬等にかかる経費						
(3) 東部保健福祉センター移転に伴う必要備品の購入費用						
3 事業費の内訳						
(款) 衛生費 (項) 保健衛生費 (目) 保健衛生総務費						
・需用費（消耗品費） 130千円						
・役務費（手数料） 54千円						
・委託料 540千円						
・工事請負費 30,000千円						
・備品購入費 1,401千円						
4 主な特定財源						
(款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金						
公共施設総合管理基金繰入金（94ページ参照） 5,125千円						
(款) 市債 (項) 市債 (目) 衛生費						
公共施設最適化事業債 27,000千円						
(30,000千円×90％＝27,000千円)						
担当課	福祉保健部健康推進室		電話	直通 23-2788 内線 6230		

政策名	公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして					
事業名	消防団施設整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
60,252	国	府	市債	その他	一般財源	75,172
			59,400		852	

1 事業の背景・目的

消防団員の活動拠点となる消防車庫・詰所などを整備し、団員の活動環境を維持することにより、地域に密着した消防団の活性化・処遇改善を図ります。

2 事業の内容

- | | |
|------------------|------------------|
| (1) 消防車庫詰所新築工事 | 2 か所（修斉分団、有路上分団） |
| (2) ホース乾燥柱塗装改修工事 | 3 か所 |

3 事業費の内訳

(款) 消防費 (項) 消防費 (目) 消防施設費

- | | |
|---------------------|-----------|
| (1) 修斉分団統合車庫詰所新築工事 | 27,986 千円 |
| (2) 有路上分団統合車庫詰所新築工事 | 31,586 千円 |
| (3) ホース乾燥柱塗装改修工事 | 680 千円 |

4 主な特定財源

(款) 市債 (項) 市債 (目) 消防債

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| 修斉分団統合車庫詰所新築工事 | 27,900 千円（緊急防災・減災事業債） |
| 有路上分団統合車庫詰所新築工事 | 31,500 千円（過疎対策債） |



修斉分団新築場所
(成和コミセン駐車場)



有路上分団新築場所
(1部詰所敷地)

担当課	消防本部警防課	電話	直通 24-0119 内線 2420+205
-----	---------	----	------------------------

政策名	公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして					
事業名	公共施設民間譲渡事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
29,212	国	府	市債	その他	一般財源	—
				29,212		

1 事業の背景・目的

利用者が地域の住民に限られるコミュニティ施設で、地域住民が保有・管理することがふさわしい施設を自治会等の住民組織に譲渡します。また民間事業者の自主的な運営に託すことで、より効率的・効果的に活用ができると考えられる施設を民間事業者に譲渡します。

2 事業の内容

福知山市公共施設マネジメント実施計画に基づき、市所有の公共施設を民間に譲渡します。

3 事業費の内訳

事業名	予算額 a+b	担当課名 (電話)	
		特定財源 a	一般財源 b
	款/項/目		
	説明		
公共施設民間譲渡事業 (集会施設) (まちづくり推進課)	3,768	まちづくり推進課 (直通 24-7033 内線 3131)	
		地域振興基金繰入金 3,768	—
	(款)総務費 (項)総務管理費 (目)地域交流推進費		
	○岡ノ二町集会所、大野公民館、甘栗公会堂、長尾公民館		
	(1) 土地の境界確定、分筆登記、所有権移転 2,940 (2) 登録免許税・不動産取得税などの経費を補助 828		
公共施設民間譲渡事業 (集会施設) (人権推進室)	6,254	人権推進室 (直通 24-7021 内線 2219)	
		地域振興基金繰入金 6,254	—
	(款)民生費 (項)社会福祉費 (目)社会福祉施設費		
	(1) 共同利用施設用地の整理・登記 4,854 (岡ノ三児童施設・堀口集会所)		
	(2) 民間譲渡に向けた施設整備 1,400 (堀口集会所)		
公共施設民間譲渡事業 (農業施設 (共同作業所))	19,190	農業振興課 (直通 24-7044 内線 4120)	
		公共施設等総合管理基金繰入金 19,190	—
	(款)農林業費 (項)農業費 (目)農業振興費		
	(1) 土地境界等調査、登記委託業務 2,500 (2) 農業施設 (共同作業所) 修繕工事一式 11,938 (大門農機具保管庫、行積作業所及び行積農機具保管施設)		
	(3) 施設譲渡にかかる事務費助成 4,752 (後野農機具保管庫 ほか8件)		

政策名	公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして					
事業名	公共施設除却事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
172,150	国	府	市債	その他	一般財源	—
			121,800	50,350		

1 事業の背景・目的

設置時の目的が概ね達成され利用者が減少している施設や、複数の施設を統合したことにより余剰となった施設、および老朽化し継続利用の見込めない施設について施設総量の削減を図るため解体（除却）します。

2 事業の内容

福知山市公共施設マネジメント実施計画に基づき、市所有の公共施設を解体（除却）します。公共施設等の除却に係る地方債と公共施設等総合管理基金の繰入金を財源として活用します。

財源	説明
除却債	① 計上科目 (款)市債 (項)市債 (目)民生債ほか各目内各節 ② 財源説明 正式な地方債メニュー名称は「公共施設等の除却に係る地方債」。福知山市公共施設マネジメント計画に基づき実施する解体（除却）事業に活用することができます。事業費の75%まで発行可能（充当率）で、調達先は民間等資金、原則10年以内に償還することとされています。ただし償還に対する地方交付税算入はありません。
公共施設等 総合管理基金 繰入金 (以下、「基金」)	① 計上科目 (款)繰入金 (項)基金繰入金 (目)基金繰入金 (節)公共施設等総合管理基金繰入金 ② 財源説明 福知山市公共施設マネジメント計画の推進のため公共施設等の整理、整備等に関する経費に充てる（＝繰り入れる）ことを目的に平成28年度に新設する基金です。 積み立て原資は公共施設マネジメントの実施により生み出される土地建物の売却収入、貸付収入などです。 初年度は91,911千円を積立てる計画です。

3 事業費の内訳

事業名	予算額 a+b	担当課名 (電話)	
		特定財源 a	一般財源 b
	款/項/目		
	説明		
公共施設除却事業(集会施設)(人権推進室)	7,900	人権推進室(直通 24-7021 内線 2219)	
		除却債 5,900 基金 2,000	-
	(款)民生費 (項)社会福祉費 (目)社会福祉施設費		
	集会施設(段畑児童施設、宮垣集会所、大見長祖集会所)の解体		
公共施設除却事業(農業施設(共同作業所))	51,700	農業振興課(直通 24-7044 内線 4120)	
		除却債 38,700 基金 13,000	-
	(款)農林業費 (項)農業費 (目)農業振興費		
	用途廃止した農業施設(共同作業所、長田共同畜舎など6件)の解体		
公共施設除却事業(一戸建住宅)	1,400	人権推進室(直通 24-7021 内線 2219)	
		除却債 1,000 基金 400	-
	(款)土木費 (項)住宅費 (目)住宅管理費		
	平成27年10月以降空家となり入居継承者が不在となり、土地所有者より解体撤去の申し出があった一戸建て住宅(三和町地内)を解体		
公共施設除却事業(市営住宅)	28,300	建築課(直通 24-7053 内線 4242)	
		除却債 21,200 基金 7,100	-
	(款)土木費 (項)住宅費 (目)住宅建設費		
	平成26年度南天田団地建替事業において統合され空き家となった小谷ヶ丘団地の既存建物の解体		
公共施設除却事業(消防施設)	10,300	消防本部警防課(直通 24-0119 内線 2420+20)	
		除却債 6,300 基金 4,000	-
	(款)消防費 (項)消防費 (目)消防施設費		
	消防団修斉分団第3部で2か所、有路上分団で3か所に分散配置していた詰所をそれぞれ統合新設することに伴い、老朽化した既存消防車庫・詰所・警鐘台を解体		
公共施設除却事業(消防水利施設)	4,200	消防本部警防課(直通 24-0119 内線 2420+20)	
		除却債 3,100 基金 1,100	-
	(款)消防費 (項)消防費 (目)消防施設費		
	老朽化した防火水槽を撤去。川北(新設に伴う撤去)、土師町(土地所有者の土地返還要望、周辺施設により消防水利は充足)		
消防救急無線デジタル化整備事業	6,800	通信指令課(直通 22-0119 内線 2420+500)	
		基金 6,800	-
	(款)消防費 (項)消防費 (目)消防施設費		
	平成26年4月に消防救急デジタル無線の運用を開始、平成28年5月31日にアナログ無線の使用期限を迎えるため、電波法の規定に基づき既存アナログ無線設備の撤去が必要であり、また施設の老朽化に伴う安全対策の必要性も緊急の課題となっているため、該当の6つの施設について早急な撤去を実施します。		

3 事業費の内訳（つづき）

事業名	予算額 a+b	担当課名（電話）	
		特定財源 a	一般財源 b
	款/項/目		
	説明		
公共施設除却事業（小学校施設）	11,400	教育総務課（直通 24-7061 内線 5114）	
		除却債 8,500 基金 2,900	-
	（款）教育費 （項）小学校費 （目）学校管理費		
	廃校となった施設を解体（金山・育英プール）		
公共施設除却事業（その他施設）	2,200	教育総務課（直通 24-7061 内線 5114）	
		除却債 1,600 基金 600	-
	（款）教育費 （項）小学校費 （目）学校管理費		
	細見・川合教職員住宅解体		
公共施設除却事業（幼稚園施設）	26,950	教育総務課（直通 24-7061 内線 5114）	
		除却債 19,800 基金 7,150	-
	（款）教育費 （項）幼稚園費 （目）幼稚園費		
	園舎解体（雀部幼稚園、三岳幼稚園）		
公共施設除却事業（その他施設）	14,000	生涯学習課（直通 24-7064 内線 5144）	
		除却債 10,500 基金 3,500	-
	（款）教育費 （項）社会教育費 （目）社会教育総務費		
	岡ノ三教育集会所の復旧にあたり、施設マネジメント計画の趣旨にのっとり、同一地域内の老人施設を、子育て支援拠点機能と教育集会所機能を併せ持つ複合施設として改修・再開することとしました。（平成28年秋オープン予定）		
	旧岡ノ三教育集会所は、建築後35年が経過した旧耐震基準の施設であることから、他用途に活用する場合耐震化・長寿命化が必要となること、空き家状態で放置していることで、不審火や不審者の侵入等の恐れもあり、資産の新たな活用が図れるよう、建物の撤去を行います。		
公共施設除却事業（学校給食センター）	7,000	学校給食センター（直通 23-5766）	
		除却債 5,200 基金 1,800	-
	（款）教育費 （項）保健体育費 （目）学校給食費		
	旧福知山市学校給食センター本体は、平成27年度に解体工事が完了。H28は旧福知山市学校給食センター車庫棟を解体し、跡地の有効利用を促進		

政策名	行財政効率の高いまちづくり					
事業名	市有地販売事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
110,839	国	府	市債	その他	一般財源	11,564
				95,100	15,739	
1 事業の背景・目的 市有地（保留地、公社継承地、未利用地等）を積極的に売却処分し財源の確保を図ります。 2 事業の内容 ①有効な広告宣伝を積極的に行い、販売促進を図ります。 ②除草等により売却処分までの適正な管理を行います。 ③測量及び不動産鑑定評価を行い、販売条件を整えます。 ④市有地販売促進事業を本事業に統合し、市有地等購入者に対する利子補給をします。 ⑤公共施設マネジメントで生み出された市有地の売払または貸付収入金を公共施設等総合管理基金に積み立てます。 新規 3 事業費の内訳 需用費 595千円（消耗品・印刷製本費 備品等修繕料） 役務費 1,960千円（郵送料・広告料・手数料） 委託料 7,684千円（維持管理業務・測量設計業務・不動産鑑定業務） 工事請負費 6,500千円（建物解体工事） 負担金及び交付金 2,189千円（市有地購入者利子補給補助金） 積立金 91,911千円（公共施設等総合管理基金積立金） 4 主な特定財源 土地建物貸付収入 4,733千円 電柱類設置貸付収入 367千円 創出土地売払収入 90,000千円						
担当課	財務部資産活用課		電話	直通 24-7068 内線 4342		

政策名	公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして					
事業名	総合福祉会館等施設管理事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
5,244	国	府	市債	その他	一般財源	961
				4,715	529	
1 事業の背景・目的 福知山市総合福祉会館、夜久野町ふれあいの里福祉センター等（ふれあいの里福祉センター、ふれあいの里多目的広場、ふれあいの里体育館）、夜久野町ふれあいの里ミニデイサービスセンターは、市民の福祉・生活文化の向上、健康づくりや生きがいづくりを図ることを目的として設置されており、そのための維持管理経費が必要となります。 また、本市では、公共施設の再配置（更新・統合・移譲・廃止）を着実に推進することを目的として、個々の公共施設に関する具体的な取組とスケジュールを定めた公共施設マネジメント実施計画を策定しています。 本計画において、夜久野町ふれあいの里福祉センター等、夜久野町ふれあいの里ミニデイサービスセンターについては3か年（平成29年度中）の譲渡を計画しており、譲渡を円滑に進めるために登記測量業務を委託するものです。 2 事業の内容 ・各施設の維持管理に係る経費 ・夜久野町ふれあいの里福祉センター等及び夜久野町ふれあいの里ミニデイサービスセンターの登記測量業務に係る委託経費 3 事業費の内訳 （款）民生費 （項）社会福祉費 （目）社会福祉総務費 ・需用費						

政策名	公共施設マネジメント～適正配置とサービスの質の向上をめざして					
事業名	閉校施設用地整理事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,777	国	府	市債	その他	一般財源	2,777
				2,777		
1 事業の背景・目的 夜久野旧明正小学校の用地について、売却・賃借等を行う準備として、用地の境界確定を行います。 2 事業の内容 平成26年度事業で夜久野旧 3 小学校の土地の所有者を調査した結果、用地を有効利用するためには、個人名義の土地や里道の整理、公図訂正等が必要であるため、用地の境界確定を平成27年度の精華小学校に続いて、平成28年度は旧明正小学校に対して行います。 3 事業費の内訳 (款) 教育費 (項) 小学校費 (目) 学校管理費 委託料 旧明正小学校敷地境界確定業務 一式 2,777千円 4 主な特定財源 (款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金 閉校施設用地整理事業 (公共施設等総合管理基金繰入金) 2,777千円						
担当課	教育委員会教育総務課		電話	直通 24-7061 内線 5119		

政策名	市民が主体のまちづくり					
事業名	議会ホームページリニューアル事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
706	国	府	市債	その他	一般財源	706
					706	—

1 事業の背景・目的

議会の情報を積極的に公開し、市民に議会への理解、関心を深めてもらうため、ホームページをリニューアルします。

市民によりわかりやすい情報を迅速に提供することにより、議会基本条例に掲げる「積極的な情報公開」「議会への市民参加」を推進します。

2 事業の内容

ページデザインのリニューアル、情報検索機能の充実、問い合わせフォームの追加など、利便性の向上と機能の強化を図ります。

- ・ ページデザインのリニューアル
- ・ 各種子ページの作成
- ・ 問い合わせフォームの作成
- ・ 統計プログラムの作成
- ・ その他、各種設定、アカウント取得など

3 事業費の内訳

(款) 議会費 (項) 議会費 (目) 議会費

(節) 委託料 706千円

ホームページ作成委託料 706千円



現在の議会ホームページ画面

担当課	市議会事務局	電話	直通 24-7031 内線 5311
-----	--------	----	--------------------

政策名	市民が主体のまちづくり					
事業名	政策マーケティング（100人ミーティング）事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,366	国	府	市債	その他	一般財源	2,424
	2,366					
1 事業の背景・目的 市民意見を十分に反映した市の各種計画を策定するための市民意見の抽出と、市民の市政への参画機会を増やすことにより「協働によるまちづくり意識」の醸成を目的として実施します。 2 事業の内容 無作為抽出等により募集・選出した市民 100 人が、グループ討議により福知山のまちづくりに関する多様な議題について深く討論します。 ・市民 100 人を無作為抽出により選出 ・100 人ミーティングの実施 ・意見のまとめを大学の連携・協力により行う ・まとめの分析 ・市政への反映 ・市ホームページ等への掲載  3 事業費の内訳 (款)総務費 (項)総務管理費 (目)企画費 ・報償費 216千円 ・旅費 42千円 ・需用費 75千円 ・役務費 33千円 ・委託料 2,000千円  4 主な特定財源 (款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)総務費国庫補助金 ・市町村合併推進体制整備費補助金 2,366千円 平成27年度「未来を描く！福知山100人ミーティング」の様子						
担当課	市長公室企画課		電話	直通 24-7030 内線 3114		

政策名	市民が主体のまちづくり					
事業名	男女共同参画保護救済事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2,907	国	府	市債	その他	一般財源	1,518
					2,907	
1 事業の背景・目的 DV防止計画に基づき、DVや様々な暴力の根絶に向けた施策を行っています。 平成27年8月には、男女共同参画社会の実現をめざして男女共同参画センターを開設しました。年々、相談内容が複雑かつ多様化していることから、相談事業やDV被害者支援の充実を図ります。						
2 事業の内容 フェミニストカウンセラーによる女性相談、女性弁護士による女性法律相談、男性のための電話相談、学生法律相談、DV相談、DV被害者緊急一時保護支援など、相談者に寄り添った相談事業を実施していきます。						
3 事業費の内訳 賃金 917千円 報償費 18千円 旅 費 80千円 需用費 21千円 役務費 60千円 委託料 1,087千円 使用料及び賃借料 724千円						
平成 27 年度 福知山市 女性弁護士による女性法律相談 女性に対する暴力やストーカー行為等の被害から女性の人権を守り、安心・安全に暮らすためにどんな法制度があるのか等について、女性弁護士による法律相談を受けてみませんか？ 秘密は固く守ります。安心してご相談ください。 平成 27 年 8 月 19 日（水曜日） 10 月 21 日（水曜日） 12 月 16 日（水曜日） 平成 28 年 2 月 17 日（水曜日） ☆時間 ①13:00～ ②14:00～ ③15:00～ おひとり1時間。各日3人までです（要予約） ☆場所 男女共同参画センター（ハピネスふくちやま3階）						
女性弁護士による女性法律相談チラシ						
担当課	市民人権環境部 人権推進室		電話	直通 24-7022 内線 2217		

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,593	国	府	市債	その他	一般財源	996
				1,575	18	
1 事業の背景・目的 図書館事業の充実を図るとともに、市民に学習機会を提供することで読書活動の普及・図書館活動への理解と利用促進につなげるため、講座・講演会等事業と佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業基金積立事業を継続実施します。 講座・講演会等事業では、子ども向けのワークショップや大人向けの読みきかせ等についての講演会、読みきかせボランティア養成講座を開催することにより、読書活動を推進します。 佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業基金積立事業では、基金の安定的な継続を図ります。 2 事業の内容 ①「子ども読書の日」記念事業（ワークショップ） ②読みきかせボランティア養成講座（10回） ③対面読書ボランティア研修会（2回） ④工作教室（月1回＋夏休み・冬休み） ⑤秋の読書週間事業（大人向け講演会） ⑥学校図書館・図書館サービス研修会 ⑦障害のある子どもの読書支援研修会  3 事業費の内訳 報償費569千円／旅費40千円／需用費110千円／役務費14千円／積立金860千円 4 主な特定財源 （款）寄附金（項）寄附金（目）教育費指定寄附金 子ども読書活動指定寄附金 860千円 （款）繰入金（項）基金繰入金（目）基金繰入金 佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業基金繰入金 715千円						
担当課	教育委員会 図書館中央館		電話	直通 22-3225		



政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	地域で支える「地域未来塾」開講事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,285	国	府	市債	その他	一般財源	1,943
		2,190			1,095	
1 事業の背景・目的 家庭の事情や経済的な理由により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身についたりしていない中学生へ、教員OBや大学生など地域住民の協力による学習支援を実施します。受講生徒の出席率80%を指標とします。						
2 事業の内容 各中学校ブロックで取り組んでいる「心の教育」実践活動実行委員会を中心に、市内中学校で学習支援に取り組みます。 中学3年生の希望者を対象に、9月から週1～2回程度開講します。4月から8月は準備期間とし、各中学校区実行委員会に学校支援部会を立ち上げ、学習支援員の確保や学校との連携を進めていきます。平成27年度はモデル校として桃映中学校で実施し、28年度は桃映中学校を含む市内3校に拡大します。 「地域未来塾」の全体調整をおこなうコーディネーター1名と、学習指導にあたる指導員複数名を配置し英・数・国を中心に支援します。指導員には教員のOBや大学生、また教員免許を所持する一般の方を予定しており、場所は中学校または近隣の社会教育施設を使用します。						
3 事業費の内訳 (款)教育費 (項)社会教育費 (目)社会教育総務費 報償費 2,649千円 1,137千円 コーディネーター謝金 1,512千円 学習指導員謝金 需用費 636千円 教材費等消耗品、灯油代						
4 主な特定財源 (款)府支出金 (項)府補助金 (目)教育費府補助金 地域で支える学校教育推進事業補助金 2,190千円 補助率2/3(内 国負担1/3、府負担1/3)						
担当課	教育委員会生涯学習課			電話	直通 22-9552 内線 5142	

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	学校給食管理運営事業（市給食センター） 学校給食管理運営事業（大江給食センター）					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
234, 228	国	府	市債	その他	一般財源	178, 643
				13	234, 215	

1 事業の背景・目的

『未来創造 福知山』の政策2-3-『施策2. 心身ともに健やかな子どもを育成する』を実現するために、安全で安心な学校給食を子どもたちに安定した体制で提供できることを第1の目的として取り組んでいます。

平成28年度は食物アレルギー対応を強化し、対象者の多い「卵アレルギー」について除去食の提供を新たに開始します。

また、『施策6』の主な取り組みの1つである「学校給食センターの統合・再編による運営の効率化」についても、平成28年度から夜久野センターを廃止し、その業務を福知山センターに統合することとしており、夜久野学園の学校給食は、福知山市学校給食センターから配送します。

2 事業の内容

平成28年度は、市内公立小中学校31校を対象に、福知山市学校給食センターで25校分、大江学校給食センターで6校分を調理・配送します。

週5日のうち、米飯が4回、パンが1回で実施しており、一日あたりの調理数は、福知山市センターで約6,700食、大江センターで約500食を予定しています。

3 事業費の内訳

事業名 学校給食管理運営事業

予算区分 教育費/保健体育費/学校給食費/

旅費 21千円

需要費 59,646千円

役務費 1,217千円

委託料 171,742千円

使用料及び賃借料 398千円

備品購入費 400千円

負担金補助及び交付金 546千円

公課費 258千円



担当課	教育委員会 学校給食センター	電話	直通 23-5766
-----	-------------------	----	------------



政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	遷喬小学校プール整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
85,050	国	府	市債	その他	一般財源	
		2,150	80,700		2,200	4,710
1 事業の背景・目的 これまで児童は学校から離れた日新コミセンのプールを利用していたが、施設が老朽化したことと、教育環境の向上を図るため、敷地内にプールを新設します。 2 事業の内容 遷喬小学校プール増築工事 3 事業費の内訳 (款) 教育費 (項) 小学校費 (目) 学校建設費 85,050千円 役務費 50千円 工事請負費 85,000千円 4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 教育費府補助金 遷喬小学校プール整備事業 (みらい戦略一括交付金) 2,150千円 (款) 市債 (項) 市債 (目) 教育債 遷喬小学校プール整備事業 (合併特例債) 80,700千円						
担当課	教育委員会教育総務課		電話	直通 24-7061 内線 5114		

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	日新中学校特別教室棟改築事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
78,445	国	府	市債	その他	一般財源	179,050
	39,074		33,600		5,771	
1 事業の背景・目的 耐震性や耐力度の低い管理棟を耐震補強にて使用する為、補強工事より機能が損なわれる教室を別棟とし改築を行います。 2 事業の内容 仮設技術室棟建設工事【継続費】 日新中学校特別教室棟改築工事【継続費】 3 事業費の内訳 (款) 教育費 (項) 中学校費 (目) 学校建設費 78,445千円 役務費 130千円 使用料及び賃借料 4,500千円 工事請負費 70,000千円 備品購入費 3,815千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫負担金 (目) 教育費国庫負担金 日新中学校特別教室棟改築事業 (国庫負担金) 39,074千円 (款) 市債 (項) 市債 (目) 教育債 日新中学校特別教室棟改築事業 (合併特例債) 33,600千円						
担当課	教育委員会教育総務課		電話	直通 24-7061 内線 5114		

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	小学校耐震改修事業 中学校耐震改修事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
312,850	国	府	市債	その他	一般財源	3,850
	6,750		275,000		31,100	
1 事業の背景・目的 学校施設の耐震化を行い、生徒等の安全と安心の確保を図ります。耐震補強工事を実施するための実施設計等を行います。 2 事業の内容 小学校 惇明小学校管理棟耐震改修工事 仮設管理棟校舎建設工事 惇明小学校管理棟耐震改修工事に伴う工事監理業務 中学校 日新中学校管理棟耐震改修工事 仮設プレハブ校舎設備改修工事 3 事業費の内訳 (款) 教育費 (項) 小学校費 (目) 学校建設費 175,650千円 (款) 教育費 (項) 中学校費 (目) 学校建設費 137,200千円 役務費 小学校費 150千円 委託料 小学校費 13,500千円 使用料及び賃借料 小学校費 27,000千円 工事請負費 小学校費 135,000千円 中学校費 137,200千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 教育費国庫補助金 小学校耐震改修事業 (文化財建造物修理事業) 6,750千円 (款) 市債 (項) 市債 (目) 教育債 小学校耐震改修事業 (緊急防災減災事業債) 135,000千円 中学校耐震改修事業 (緊急防災減災事業債) 135,000千円 小学校耐震改修事業 (一般補助施設整備等事業債) 5,000千円						
担当課	教育委員会教育総務課		電話	直通 24-7061 内線 5114		

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	小学校施設空調設備設置事業 中学校施設空調設備設置事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
161,920	国	府	市債	その他	一般財源	308,500
			153,700		8,220	
1 事業の背景・目的 普通教室に空調設備を設置し教育環境の改善を図り、実施設計の必要な学校において行い、実施設計が前年度完了した学校については空調設備の設置工事を行います。						
2 事業の内容 小学校 修斉小学校空調設備に係る実施設計設計業務 上豊富小学校空調設備に係る実施設計設計業務 天津小学校空調設備に係る実施設計設計業務 金谷小学校空調設備に係る実施設計設計業務 下六人部小学校空調設備設置工事 上川口小学校空調設備設置工事 中学校 六人部中学校空調設備設置工事 川口中学校空調設備設置工事						
3 事業費の内訳 (款) 教育費 (項) 小学校費 (目) 学校建設費 101,320千円 (款) 教育費 (項) 中学校費 (目) 学校建設費 60,600千円 委 託 料 小学校費 7,820千円 工事請負費 小学校費 93,500千円 中学校費 60,600千円						
4 主な特定財源 (款) 市債 (項) 市債 (目) 教育債 小学校空調設備設置事業 (合併特例債) 96,200千円 中学校空調設備設置事業 (合併特例債) 57,500千円						
担当課	教育委員会教育総務課		電話	直通 24-7061 内線 5114		

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり																																			
事業名	観光友好都市鬼伝説交流事業					新規																														
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																														
746	国	府	市債	その他	一般財源	—																														
		273		200	273																															
1 事業の背景・目的 大江山鬼伝説で関係の深い坂田金時の生誕の地・静岡県小山町と観光友好都市を結び、人、物、文化の交流を通じて地域活性化を図っています。 静岡県小山町の好意により平成25年より3カ年、福知山市の児童・生徒が富士山登山に招待を受け「夏休み富士山チャレンジ自然体験」を行ってきました。平成28年度は、小山町の児童・生徒を福知山市に招き、鬼伝説の大江山を体感し、市民レベルの交流により、一層の友好関係の構築を進めます。 2 事業の内容 大江山酒呑童子の里を拠点に大江山登山、鬼瓦製作体験、手漉き和紙体験等大江の体験と日本の鬼の交流博物館で鬼伝説について学び、福知山市の児童・生徒と交流を行い、市民レベルで友好都市の絆を深めます。 3 事業費の内訳 <table><tr><td>(1) 需用費</td><td>消耗品等</td><td>30千円</td></tr><tr><td>(2) 役務費</td><td>郵送料等</td><td>15千円</td></tr><tr><td>(3) 手数料</td><td>和紙手漉き体験等手数料</td><td>100千円</td></tr><tr><td>(4) 保険料</td><td>イベント保険加入料</td><td>30千円</td></tr><tr><td>(5) 使用料及び賃借料</td><td></td><td>571千円</td></tr><tr><td colspan="2">大江山グリーンロッジ使用料等</td><td></td></tr></table> 4 主な特定財源 <table><tr><td>(款) 諸収入</td><td>(項) 雑入</td><td>(目) 雑入</td></tr><tr><td></td><td>参加者負担金</td><td>200千円</td></tr><tr><td>(款) 府支出金</td><td>(項) 府補助金</td><td>(目) 総務費府補助金</td></tr><tr><td></td><td>みらい戦略一括交付金</td><td>273千円</td></tr></table>							(1) 需用費	消耗品等	30千円	(2) 役務費	郵送料等	15千円	(3) 手数料	和紙手漉き体験等手数料	100千円	(4) 保険料	イベント保険加入料	30千円	(5) 使用料及び賃借料		571千円	大江山グリーンロッジ使用料等			(款) 諸収入	(項) 雑入	(目) 雑入		参加者負担金	200千円	(款) 府支出金	(項) 府補助金	(目) 総務費府補助金		みらい戦略一括交付金	273千円
(1) 需用費	消耗品等	30千円																																		
(2) 役務費	郵送料等	15千円																																		
(3) 手数料	和紙手漉き体験等手数料	100千円																																		
(4) 保険料	イベント保険加入料	30千円																																		
(5) 使用料及び賃借料		571千円																																		
大江山グリーンロッジ使用料等																																				
(款) 諸収入	(項) 雑入	(目) 雑入																																		
	参加者負担金	200千円																																		
(款) 府支出金	(項) 府補助金	(目) 総務費府補助金																																		
	みらい戦略一括交付金	273千円																																		
担当課	地域振興部大江支所	電話	直通 56-1102 内線 75-9322																																	

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり																				
事業名	観光友好都市交流事業					継続															
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額															
615	国	府	市債	その他	一般財源	688															
				150	465																
1 事業の背景・目的 観光友好都市の静岡県小山町との民間レベルでの交流を促進することを目的に、平成25年度から小中学生を対象とした「夏休み富士山チャレンジ自然体験」を実施しています。 本事業により小山町との交流を一層促進し、友好の絆を深めるとともに、参加した小中学生達が世界遺産である富士山の雄大さと他のまちを知ることにより「ふるさと福知山」を再発見し愛着を持っていただくきっかけの場とします。 2 事業の内容 ○夏休み富士山チャレンジ 実施時期 平成28年7月下旬（2泊3日） 参加者 市内の小6・中1・2年生 30名 内 容 富士登山及び富士山学習、小山町児童・生徒との交流会 3 事業費の内訳 <table><tr><td>夏休み富士山チャレンジ</td><td>大型バス借上運行委託料</td><td>500千円</td></tr><tr><td></td><td>高速道路使用料</td><td>56千円</td></tr><tr><td></td><td>事務経費</td><td>59千円</td></tr></table> 4 主な特定財源 <table><tr><td>(款) 諸収入</td><td>(項) 雑入</td><td>(目) 雑入</td></tr><tr><td>雑入</td><td>150千円</td><td></td></tr></table> 平成27年度 登山の様子 							夏休み富士山チャレンジ	大型バス借上運行委託料	500千円		高速道路使用料	56千円		事務経費	59千円	(款) 諸収入	(項) 雑入	(目) 雑入	雑入	150千円	
夏休み富士山チャレンジ	大型バス借上運行委託料	500千円																			
	高速道路使用料	56千円																			
	事務経費	59千円																			
(款) 諸収入	(項) 雑入	(目) 雑入																			
雑入	150千円																				
担当課	地域振興部観光振興課		電話	直通 24-7076 内線 4150																	

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり									
事業名	日本鬼文化交流事業					拡充				
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額				
1,346	国	府	市債	その他	一般財源					
		500			846	461				
1 事業の背景・目的 大江地域では、「大江山鬼伝説」を活かし「鬼」をキーワードに「人・物・文化」の交流を通じて地域活性化を進めています。全国の鬼瓦製作者の集まり「日本鬼師の会」の活動支援や鬼伝説ゆかりの自治体と交流することにより鬼文化の振興や市外への情報発信を行い観光振興と地域振興を図ります。 2 事業の内容 ○鬼文化交流都市との交流にかかる経費 ○第26回日本鬼師の会全国研修大会への補助 ○日本鬼文化交流事業への交付金 拡充 日本鬼文化交流事業として福知山城の鯰瓦復元10周年、また天守閣再建30周年にあたり、鯰瓦と屋根瓦の施工監理に携わった文化庁選定保存技術保持者・現代の名工（鬼瓦製作者）故小林章男氏（日本鬼師の会初代会長）の鬼瓦の魅力とまちづくりについて、市民をはじめお城の再建に携わった方々、鬼文化に関わる方々に広く伝えるとともに、福知山市の鬼文化情報を全国に発信するため、特別展示会及び講演会を開催します。 3 事業費の内訳 <table><tr><td>旅費</td><td>196千円</td></tr><tr><td>負担金補助及び交付金</td><td>1,150千円</td></tr></table> 4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 総務費府補助金 みらい戦略一括交付金 500千円							旅費	196千円	負担金補助及び交付金	1,150千円
旅費	196千円									
負担金補助及び交付金	1,150千円									
担当課	地域振興部大江支所		電話	直通 56-1102 内線 75-9322						

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	－福知山城天守閣再建30周年記念事業－ 丹波福知山明智光秀サミット開催事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
4,874	国	府	市債	その他	一般財源	355
		2,437			2,437	
1 事業の背景・目的 福知山城天守閣再建30周年を記念するにあたり、福知山市と明智光秀のかかわりを再考察し、戦国時代の歴史舞台としての本市の歴史・文化の魅力を高め、まちづくりに活かすとともに各種PR、テレビ番組、大河ドラマ等の誘致の一助とします。 2 事業の内容 福知山城天守閣再建30周年記念事業(平成27、28年2箇年継続事業)。 戦国武将であり、福知山城初代城主である明智光秀を主題に、光秀に縁のある市とともにパネルディスカッション、講演会等によるサミットを開催します。 (1) 実施日 平成28年5月22日(日) (2) 場 所 福知山市厚生会館 3 事業費の内訳 (1) 報償費 500千円 (2) 旅 費 141千円 (3) 需用費 50千円 (4) 委託料 4,033千円 (5) 使用料 150千円 4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 総務費府補助金 京都府みらい戦略一括交付金 2,437千円						
担当課	地域振興部まちづくり推進課		電話	直通 24-7033 内線 3131		

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	福知山城魅力創出事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3,202	国	府	市債	その他	一般財源	407
				3,202		
1 事業の背景・目的 福知山の歴史に大きな影響を与えた明智光秀の事跡について、市民（郷土史研究者）、歴史研究者、行政が協働し、詳しく、かつ易しい明智光秀解説本（中・高校生以上対象）を作成（平成29年3月刊行予定）します。 2 事業の内容 福知山城を築城し城下町の基礎を築いた明智光秀を顕彰するとともに福知山城の魅力を高めるため、「明智光秀のことがわかりやすい解説本」の作成を目指します。 (1) 刊行物名 『（仮）明智光秀と福知山 ー戦国武将光秀の生涯ー』 (2) 監 修 小和田哲男（静岡大学名誉教授） (3) 執 筆 者 郷土史研究者5名、歴史研究者3名 (4) 仕 様 A5版 多色刷 1500部作成 (5) 一般販売 販売予定価格 一冊1,500円（税抜き） 3 事業費の内訳 (1) 報償費 50千円 (2) 旅費 182千円 (3) 需用費 1,680千円 (4) 役務費 1,290千円 4 主な特定財源 (款) 使用料及び手数料 (項) 使用料 (目) 総務使用料 郷土資料館入館料 2,014千円 (款) 諸収入 (項) 雑入 (目) 雑入 京都府市町村交付金 1,188千円						
担当課	地域振興部まちづくり推進課			電話	直通 24-7033 内線 3131	

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	三和荘駐車場兼用ペタンクコート整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
29,886	国	府	市債	その他	一般財源	8,300
			29,300		586	
1 事業の背景・目的 三和荘を地域交流拠点施設として平成17年に開設し、毎年15万人前後の人が三和荘及び周辺関連施設を利用しています。 ペタンクコートを増設し、各種大会等ペタンク利用者が増えることにより、三和荘の集客向上と施設の経営の安定化につなげます。 〔成果指標〕 ・コート数：8コート→32コート ・利用者数50人規模→200～300人規模 ・誘致大会：国際大会選手選考会、地方ブロック選手権大会など ・三和荘年間入込客1,500人増 また、駐車場兼用とすることで、イベントやスポーツ大会実施時における三和荘利用者の駐車場不足を解消し、顧客の利便性を図ることで三和荘の利用者を増やします。 平成27年度 詳細設計・土工（表土掘削、残土処分） 事業期間：平成27年度～平成28年度 2 事業の内容 三和荘周辺にペタンクコート（砕石仕様、24コート）を増設し、各種地域大会や世界選手権選考会を誘致するなど、特色のあるスポーツ観光を進めます。 平成28年度 整備工事 3 事業費の内訳 （1）工事請負費 29,300千円（増設工事） （2）負担金補助及び交付金（負担金） 586千円（上下水道加入負担金） 4 主な特定財源 （款）市債 （項）市債 （目）総務債 地域交流推進施設整備事業債 29,300千円						
担当課	地域振興部三和支所		電話	直通 58-3003 内線73 - 9117		

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	スポーツ合宿補助事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
2, 200	国	府	市債	その他	一般財源	1, 856
	1, 100			1, 100		
1 事業の背景・目的 本市の充実したスポーツ資源を有効に活用し、市外からの交流促進を図るためスポーツ合宿誘致に取り組み、地域の活性化や、「スポーツ振興」に努めます。 ただし、7月・8月の本市の合宿繁忙期を除く期間（10か月限定）とし、空き施設が多い平日を中心に合宿を誘致し、施設の有効活用を図ります。 目標 年間 1, 100人泊 2 事業の内容 合宿で本市に来られる団体に対して補助金交付要綱に則り補助金を交付し、合宿費用の一部を補完します。 (補助金の交付額) 1回の延べ宿泊数が20泊以上の団体（監督、顧問、コーチなどの指導者含む）が対象で、大会参加に係る宿泊を除いた月曜日から金曜日までの宿泊した延べ泊数に1泊当たり2, 000円を乗じた額を補助金の額とし、1回の合宿1団体あたり20万円を限度として交付します。 3 事業費の内訳 補助金 スポーツ合宿補助金 @2, 000円×1, 100人泊＝2, 200千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 教育費国庫補助金 地方創生推進交付金 1, 100千円 (款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 基金繰入金 地域振興基金 1, 100千円						
担当課	地域振興部スポーツ振興課			電話	直通 24－7069 内線5332	

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり													
事業名	ノルディック・ウォークinふくちやま事業					継続								
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度								
260	国	府	市債	その他	一般財源	予算額								
	130				130	382								
1 事業の背景・目的														
「スポーツから健康サポート」をテーマに、体力・健康の保持に努める方が増えていることを踏まえて、ノルディック・ウォークをとおして、自然に触れる機会を設け、市民にニュースポーツであるノルディック・ウォークの普及を図ることにより、スポーツから健康をサポートします。 コース：市内（夜久野町宝山、三段池公園周辺 他で開催） 募集規模：1回100人程度×3回														
2 事業の内容														
生活習慣病予防やリハビリテーション・介護予防など、年齢を問わず子どもから高齢者まで、また、アスリート（競技者）のトレーニングに至るまで、幅広い方々が実施できるノルディック・ウォークをとおして、スポーツから健康をサポートします。														
3 事業費の内訳														
<table><tr><td>(1) 報償費（公認指導員等謝礼）</td><td>80千円</td></tr><tr><td>(2) 役務費（通信運搬費）</td><td>30千円</td></tr><tr><td>(3) 使用料及び賃借料（借上料）</td><td>150千円</td></tr><tr><td>計</td><td>260千円</td></tr></table>							(1) 報償費（公認指導員等謝礼）	80千円	(2) 役務費（通信運搬費）	30千円	(3) 使用料及び賃借料（借上料）	150千円	計	260千円
(1) 報償費（公認指導員等謝礼）	80千円													
(2) 役務費（通信運搬費）	30千円													
(3) 使用料及び賃借料（借上料）	150千円													
計	260千円													
4 主な特定財源														
<table><tr><td>(款) 国庫支出金</td><td>(項) 国庫補助金</td><td>(目) 教育費国庫補助金</td></tr><tr><td>地方創生推進交付金</td><td>130千円</td><td></td></tr></table>							(款) 国庫支出金	(項) 国庫補助金	(目) 教育費国庫補助金	地方創生推進交付金	130千円			
(款) 国庫支出金	(項) 国庫補助金	(目) 教育費国庫補助金												
地方創生推進交付金	130千円													
 ノルディック・ウォーク普及体験会の様子														
担当課	地域振興部スポーツ振興課			電話	直通 24－7069 内線5332									

政策名	人と文化・スポーツを育むまちづくり					
事業名	SEA TO SUMMIT事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度
740	国	府	市債	その他	一般財源	予算額
	370				370	740
1 事業の背景・目的 カヌー・自転車・山登りによる、海から山への移動手段そのものを楽しむ環境イベント「SEA TO SUMMIT（シー・トゥー・サミット）」を民間主導の運営で開催することにより、中丹地域内の周遊観光を促進します。 2 事業の内容 環境イベント「由良川・大江山SEA TO SUMMIT（シー・トゥー・サミット）」（カヌー・自転車・ハイク）を開催するため、京都府とともに福知山市、舞鶴市、綾部市の3市が負担金を拠出します。 3 事業費の内訳 負担金補助及び交付金（負担金） 740千円 4 主な特定財源 （款）国庫支出金 （項）国庫補助金 （目）教育費国庫補助金 地方創生推進交付金 370千円						
担当課	地域振興部スポーツ振興課		電話	直通 24-7069 内線5332		

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	地籍調査事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
54, 077	国	府	市債	その他	一般財源	13, 118
		40, 500			13, 577	
1 事業の背景・目的 もっとも基礎的な土地に関する情報（面積・所有者・境界など）を1筆ごとに明らかにし、その結果を記録することにより、土地取引や公共用地の取得を円滑に進めることができ、土地利用の促進に寄与します。						
2 事業の内容 (1) 末広・昭和地区 面積：0. 21km2 期間：H27～29年度 H28年度：現地測量、閲覧など (2) 旧福知山町周辺1地区 面積：0. 23km2 期間：H28～30年度 H28年度：一筆調査、現地立会など (3) 大江町南有路1地区 面積：3. 29km2 期間：H28～31年度 H28年度：一筆調査、多角点測量等						
3 事業費の内訳 (款) 土木費 (項) 土木管理費 (目) 土木総務費 賃金（臨時職員賃金）1, 440千円 報償費（地籍調査推進委員謝礼）1, 560千円 旅費（京都府・近畿連絡協議会、技術講習会など）179千円 需用費（説明会資料印刷、参考図書購入、燃料費など）812千円 役務費（郵送料、公用車保険料など）223千円 委託料（測量調査等業務委託料）48, 503千円 使用料及び賃借料（地籍システム賃借料など）1, 234千円 負担金補助及び交付金（国土調査協会年会費など）126千円 計54, 077千円						
4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 土木費府補助金 54, 000千円×補助率3/4＝40, 500千円（うち国1/2、府1/4）						
担当課	土木建設部都市整備課		電話	直通 24-7079 内線 4322		

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	福祉有償運送実施団体活動補助事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1, 060	国	府	市債	その他	一般財源	1, 060
					1, 060	
1 事業の背景・目的						
高齢化の進展、障害のある人の社会参加や介護保険制度等による自立支援が推進されるなか、身体的な理由から公共交通を利用することが困難な人の外出移動手段として、NPO法人等が行う福祉有償運送は重要性が増しています。						
しかしながら、事業運営は車両の維持や運転手の確保など非常に厳しい状況であることから、運行にかかる経費の一部を支援することで、安全で持続可能な運行を確保し、利用者の利便性の向上と福祉の増進を図ります。						
なお、支援内容については、これまでの一律補助から、運行回数や運行距離などの事業規模に応じて支援額を細分化する内容に改め活動を支援します。						
2 事業の内容						
福祉有償運送事業実施団体に対する補助						
※事業規模に応じて、次の【基本分】と【加算分】を合わせた額を補助の上限とする。						
【基本分】						
○補助金額 有償運送事業に必要な経費の1/2。上限額100千円（従前150千円）						
○対象経費 安全講習費用、実施団体所有車両整備費、事務経費						
【加算分】 新規						
○運行回数加算 年間運行回数 500回以上1, 000回未満の団体 50千円						
年間運行回数1, 000回以上の団体 80千円						
○運行距離加算 1回当たり平均運行距離10km以上の団体 10千円						
(ただし、年間運行回数1, 000回以上の場合)						
例1：年間1, 000回以上の場合、基本分100千円＋加算分80千円＝上限180千円						
例2：年間1, 000回以上かつ平均運行距離10km以上の場合、基本分100千円＋回数加算分80千円＋距離加算分10千円＝上限190千円						
3 事業費の内訳						
補助金 福祉有償運送実施団体への補助金 1, 050千円						
7団体想定						
事務費 消耗品、郵送料 10千円						
担当課	市民人権環境部 生活交通課		電話	直通 24-7084 内線 2232		

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	中心市街地活性化関連道路整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
152,000	国	府	市債	その他	一般財源	150,000
	76,000	3,800	68,400		3,800	

1 事業の背景・目的

中心市街地において、歴史的資産等を活用し、快適で調和の取れた街なみの形成を図るために、中心市街地活性化基本計画に基づいて、街なみ景観に配慮した道路舗装、道路形態を整備し、通行車両及び歩行者の安心安全を確保します。

中心市街地活性化基本計画に基づく街並み環境整備事業の一環として、リニューアルが進む広小路商店街等の景観に配慮した道路改良を実施します。

2 事業の内容

広小路本町線の電線類地中化、舗装改良工事及び支障物件移転補償を実施します。京町線の舗装改良工事を行います。

3 事業費の内訳

(款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費
 工事請負費 127,000千円
 補償、補填及び賠償金 25,000千円

4 主な特定財源

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 土木費国庫補助金
 社会資本整備総合交付金 152,000千円×補助率50%=76,000千円

(款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 土木費府補助金
 みらい戦略一括交付金

(152,000千円－76,000千円－68,400千円)×50%=3,800千円

(款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債

公共事業等債 (152,000千円－76,000千円)×充当率90%=68,400千円



広小路本町線



京町線

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059 内線 4215
-----	----------	----	--------------------

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	街路事業（多保市正明寺線 高畑工区）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
556, 492	国	府	市債	その他	一般財源	362, 529
	257, 269		284, 200		15, 023	
1 事業の背景・目的 現高畑橋は昭和35年に架設されてから50年以上経過し、橋面・高欄の損傷等、老朽化が著しく進んでいます。また、幅員4.5mと狭小で歩道がなく、交通渋滞や歩行者の安全な通行に支障を生じ、地元自治会及び利用者から早期整備が望まれています。 高畑橋の架け替え事業は、橋長178m、車道幅員を7mに拡張し、両側に2.5mの歩道を設けるものです。 新橋完成により、長田野工業団地と国道175号との交通の流れが円滑になり、福知山市東部と中心市街地とのアクセスが強化されます。さらに、歩行者にとっても安心・安全な通行確保を図ることができます。						
2 事業の内容 昨年度に引き続き、橋梁の架設及び取合道路の整備を行います。 ・橋梁上部工架設工事 ・橋梁上部工付属施設工事 ・取合道路整備工事 ・水管橋移設補償						
3 事業費の内訳 (款) 土木費 (項) 都市計画費 (目) 街路事業費 旅費 29千円 工事請負費 548, 463千円 <u>補償、補填及び賠償金</u> 8, 000千円 計 556, 492千円						
4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 土木費国庫補助金 防災・安全交付金 467, 763千円×補助率55%≒257, 269千円 (款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債 旧合併特例債 (556, 492千円－257, 269千円－29千円) ×充当率95%≒284, 200千円						
担当課	土木建設部都市計画課		電話	直通 24-7050 内線 4317		

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	広域交通網整備促進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
120,000	国	府	市債	その他	一般財源	109,000
			114,000		6,000	

1 事業の背景・目的

国道9号及び駅南地域等市街地周辺において頻繁に発生している交通混雑を緩和し、郊外幹線道路へ通行車両を誘導するため、広域交通網促進としてのバイパス道路を整備し、市街地周辺とのアクセスをスムーズにします。

また、住民交流や観光施設への利用の活性化を図り、さらには、緊急避難路として位置付け、安全で円滑な交通体系の充実を図ります。

2 事業の内容

駅南地域の交通混雑を解消し、郊外幹線道路へ通行車両を誘導するため、道路の新設改良を行います。

- ・福知山停車場奥榎原線 事業期間：平成23年度～平成31年度（予定）
- ・西町市寺線 事業期間：平成18年度～平成28年度（予定）

3 事業費の内訳

(款) 土木費 (項) 道路橋りょう費 (目) 道路新設改良費

委託料 1,000千円 (公共嘱託登記業務)

工事請負費 108,000千円 (道路新設改良工事)

公有財産購入費 10,000千円 (用地買収)

補償、補填及び賠償金 1,000千円 (物件移転補償)

4 主な特定財源

(款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債

旧合併特例債 120,000千円×充当率95%＝114,000千円



西町市寺線



福知山停車場奥榎原線

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059 内線 4218
-----	----------	----	--------------------

直通 24-7059 内線 4215

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	防衛施設周辺整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
90, 923	国	府	市債	その他	一般財源	16, 303
	62, 177				28, 746	
1 事業の背景・目的						
自衛隊福知山駐屯地の訓練場に隣接する市道旭が丘小谷ヶ丘線は住民にとって主要な生活道路ですが、一部幅員が狭く、自衛隊大型車両と一般車両が安全に離合することができない状況です。						
このため、道路拡幅工事を行い、安全な車両経路を確保することにより、駐屯地周辺における市民生活の安心・安全性の向上を図ります。						
2 事業の内容						
昨年度に引続き、市道旭が丘小谷ヶ丘線の改良工事を実施します。						
全体延長 L＝280.0m（舗装工、区画線工、ボックスカルバート工など）						
平成27年度～平成28年度 2ヶ年継続費設定						
年割額 平成27年度 20,187千円、平成28年度 88,823千円						
3 事業費の内訳						
（款）土木費 （項）道路橋りょう費 （目）道路新設改良費						
賃金 1,200千円（臨時職員賃金）						
旅費 187千円（交付申請）						
需用費 400千円（消耗品費）						
使用料及び賃借料 3,030千円（複写機使用料）						
工事請負費 78,049千円（舗装工、区画線工など）						
補償、補填及び賠償金 8,057千円（物件移転補償）						
4 主な特定財源						
（款）国庫支出金 （項）国庫補助金 （目）土木費国庫補助金						
補助対象 88,823千円（人件費1,800千円含む）×補助率70%≒62,177千円						
 法川  拡幅箇所（市営住宅南天田団地東側）						
担当課	土木建設部土木課		電話	直通 24-7059 内線 4215		

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	社会資本整備総合交付金事業（道路整備）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
80, 000	国	府	市債	その他	一般財源	75, 000
	44, 000		32, 400		3, 600	

1 事業の背景・目的

道路は市民生活や経済活動の基盤となる重要な社会資本であることから、国において社会資本の円滑な整備促進を目的として、社会資本整備総合交付金が創設されています。

市道において、幹線道路の新設・舗装改良、自然災害防止などの大規模な事業については、年次計画を立て、有利な社会資本整備総合交付金を活用して事業を実施し、市民生活の向上を図ります。

また、由良川水系河川整備計画に伴い、築堤計画と整合を図りながら、府道福知山綾部線と府道舞鶴綾部福知山線に接続している川北荒木線の川北橋を整備します。

2 事業の内容

道路改築、舗装修繕、歩道整備などに関する設計及び工事等を実施します。

3 事業費の内訳

(款) 土木費（項）道路橋りょう費（目）道路新設改良費

委託料 38, 000千円（実施設計、公共嘱託登記業務）

工事請負費 37, 000千円（石原戸田線 外2路線）

公有財産購入費 5, 000千円（篠尾大門線 外2路線）

4 主な特定財源

(款) 国庫支出金（項）国庫補助金（目）土木費国庫補助金

社会資本整備総合交付金 80, 000千円×補助率55％＝44, 000千円

(款) 市債（項）市債（目）土木債

公共事業等債（80, 000千円－44, 000千円）×充当率90％＝32, 400千円



川北橋全景



川北橋 車道・歩道

担当課	土木建設部土木課	電話	直通 24-7059 内線 4218
-----	----------	----	--------------------

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	三段池公園カルチャーパーク整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
222,343	国	府	市債	その他	一般財源	
			220,000	543	1,800	37,174
1 事業の背景・目的 文化・スポーツ・レクリエーション活動など、多目的な総合公園としてさらに整備を進めます。 2 事業の内容 三段池公園総合体育館の天井耐震化及び城山地区他の施設整備を実施します。 ・総合体育館つり天井対策工事 H27に契約し、H28に実施します。(H27設定債務負担行為) 工程計画としては、H28.5～10サブアリーナ、H28.12～メインアリーナの実施を予定しています。 ・公園施設整備工事 3 事業費の内訳 (款) 土木費 (項) 都市計画費 (目) 公園施設費 旅費 43千円 工事請負費 222,300千円 計 222,343千円 4 主な特定財源 (款) 市債 (項) 市債 (目) 土木債 緊急防災・減災事業債 220,000千円×100%＝220,000千円 (款) 財産収入 (項) 財産運用収入 (目) 財産貸付収入 自動販売機設置貸付収入 543千円						
 年間約16万人(H26実績)が利用する三段池公園総合体育館のつり天井耐震化工事を行います。  城山地区法面災害復旧箇所の安全対策として、転落防止策を設置します。						
担当課	土木建設部都市計画課		電話	直通 24-7052 内線 4313		

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	南天田団地建替事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
31,200	国	府	市債	その他	一般財源	24,200
					31,200	
1 事業の背景・目的 市営住宅の居住水準等の向上により、安心、安全、快適環境を提供することを目的とし、また、小規模団地の統合、集約により余剰地の有効活用を図ります。						
2 事業の内容 南天田団地建替事業において、余剰地の転売に向け、登記処理等の用地整理や、宅地造成（開発行為含む）を行います。						
3 事業費の内訳 （款）土木費 （項）住宅費 （目）住宅建設費 委託料 ・ 開発申請業務委託料 2,700千円 ・ 用地整理（公共嘱託登記）委託料 1,500千円 工事請負費 ・ 住宅跡地宅地造成工事 27,000千円						
  市営住宅南天田団地 跡地						
担当課	土木建設部建築課		電話	直通 24-7053 内線 4242		

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	公園施設長寿命化対策支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
30,000	国	府	市債	その他	一般財源	30,000
	15,000		13,500		1,500	
1 事業の背景・目的 高度経済成長期に整備を行った公園において老朽化が進行していますが、厳しい財政状況から設置後20年以上経過した遊具や破損している遊具も十分なメンテナンスを行うことができず、利用禁止処置や施設の撤去を余儀なくされているものがあります。 そのため平成24・25年度において策定した公園施設長寿命化計画に基づき、公園利用者の安心・安全を確保するとともに、維持管理費の抑制と平準化を図り、計画的に施設の維持管理や更新を行います。						
2 事業の内容 整備後30年が経過した公園施設長寿命化を実施する。 都市公園92公園の内 街区公園 35公園 近隣公園 3公園 総合公園 2公園 運動公園 1公園 特殊公園 3公園 合計 44公園 三段池公園総合体育館他の屋根葺き替えに係る設計業務及び三段池公園の遊具等施設更新工事を実施します。 ・三段池公園総合体育館他屋根葺き替え設計業務他 ・三段池公園施設更新等工事						
3 事業費の内訳 (款) 土木費 (項) 都市計画費 (目) 公園施設費 委託料						

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	水洗化促進補助事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
66, 931	国	府	市債	その他	一般財源	66, 599
	1, 819	1, 819			63, 293	

1 事業の背景・目的

浄化槽整備区域内において、浄化槽の設置による水洗化を促進し、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に資するため、浄化槽を設置し、又はその維持管理を行う方に対し補助金を交付します。

2 事業の内容

(1) 合併処理浄化槽設置整備事業補助金

浄化槽整備区域内において、10人槽以下の合併処理浄化槽を設置する方に対して、補助金を交付します。

(人槽区分) (補助限度額)

5人槽409千円

7人槽613千円

10人槽974千円

(2) 合併処理浄化槽維持管理事業補助金

浄化槽整備区域内において、10人槽以下の合併処理浄化槽の維持管理を行う方に対して、1基につき年額33千円の補助金を交付します。

(3) 水洗化促進事業補助金

下水道事業の処理区域外において、浄化槽の設置に伴い、水洗便所改造工事を行う方であって、その方及びその世帯員全員の市民税が非課税である方に対し、240千円を限度として補助金を交付します。

(4) 浄化槽汚泥処理負担金

浄化槽世帯から排出される汚泥に係る処理負担金について、下水道事業会計に支出します。

3 事業費の内訳

(1) 合併処理浄化槽設置整備事業補助金

5人槽：409千円×7基＝2, 863千円

7人槽：613千円×7基＝4, 291千円

計7, 154千円

(2) 合併処理浄化槽維持管理事業補助金

33千円×1, 283基＝42, 339千円

(3) 水洗化促進事業補助金

240千円×1基＝240千円

(4) 浄化槽汚泥処理負担金

3, 050円×5, 573. 7k1＝17, 000千円

4 主な特定財源

(款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)衛生費国庫補助金

合併処理浄化槽設置整備事業 1,819千円

(款)府支出金 (項)府補助金 (目)衛生費府補助金

合併処理浄化槽設置整備事業 1,819千円

担当課	上下水道部 お客様サービス課	電話	直通 22-6500 内線 210
-----	-------------------	----	-------------------

政策名	豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり					
事業名	大規模建築物耐震化緊急支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
23,000	国	府	市債	その他	一般財源	9,425
	11,500	5,750			5,750	
1 事業の背景・目的 建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正による、大規模建築物等の耐震診断の義務化に伴い、民間建築物の耐震化の支援を行います。 病院、店舗等の不特定多数の者が利用する建築物で、一定規模以上かつ昭和56年5月31日以前に建設に着手した建築物の耐震化を図ります。 2 事業の内容 病院1棟 耐震改修工事に対する補助 工事費対象限度額 100,000千円×23%=23,000千円 (補助23%のうち、国負担11.5% 府負担5.75% 市負担5.75%) 3 事業費の内訳 (款) 消防費 (項) 消防費 (目) 災害対策費 負担金補助及び交付金(補助金) 23,000千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 消防費国庫補助金 社会資本整備総合交付金 23,000千円×補助率1/2=11,500千円 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 消防費府補助金 京都府大規模建築物耐震化緊急支援事業費補助金 23,000千円×補助率1/4=5,750千円						
担当課	土木建設部建築課		電話	直通 24-7053 内線 4242		

政策名	豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり					
事業名	消防水利整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
28,820	国	府	市債	その他	一般財源	18,620
	2,693		19,500		6,627	
1 事業の背景・目的 市民の生命と財産を守り安心・安全なまちづくりを推進していくため、耐震化されていない防火水槽を耐震性に整備し、災害に強い消防防災体制を構築します。 また、漏水の著しい防火水槽の改修や消火栓の維持管理、および転落危険性のある防火水槽への安全対策としてフェンスなどを設置します。 2 事業の内容 (1) 耐震性貯水槽新設3基 (川北、喜多、夜久野町日置) (2) 防火水槽安全対策15 か所 (3) 防火水槽改修2 基 (4) 消火栓新設・改修3 基 (5) 防火水槽標識整備50 か所 3 事業費の内訳 (款) 消防費 (項) 消防費 (目) 消防施設費 (1) 耐震性貯水槽新設3 基19,300 千円 (2) 防火水槽安全対策15 か所5,250 千円 (3) 防火水槽改修2 基3,000 千円 (4) 消火栓新設・改修3 基1,000 千円 (5) 防火水槽標識整備50 か所270 千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 消防費国庫補助金 耐震性貯水槽新設 (川北)2,693 千円 (消防防災施設整備補助金 50%) (款) 市債 (項) 市債 (目) 消防債 耐震性貯水槽新設 (川北)2,400 千円 (一般補助施設等事業債 90%) 耐震性貯水槽新設 (川北)600 千円 (一般補助施設等事業債 75%) 耐震性貯水槽新設 (夜久野町日置)6,500 千円 (過疎対策債) 耐震性貯水槽新設 (喜多)6,500 千円 (辺地対策債) 防火水槽安全対策3,500 千円 (過疎対策債)						
担当課	消防本部警防課	電話	直通 24-0119 内線 2420+205			

政策名	豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり					
事業名	「森の京都 福知山」北陵総合センター整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
35, 000	国	府	市債	その他	一般財源	—
			35, 000			
1 事業の背景・目的 京都府が策定した「森の京都」計画と「森の京都 福知山」マスタープランの具現化に向け、「森の京都」エリア内にある北陵総合センターの施設及び周辺環境を整備することにより、大江山や三岳山への観光客や登山者の増加を図り、森の恵みゆたかな美しいふるさとを未来に引き継いでいくとともに、農村と都市住民との交流人口の増加による地域の活性化を目指します。 2 事業の内容 北陵総合センターの施設の改修 ・グラウンド改修工事 1式 ・受電設備改修工事 1式 ・グラウンド改修及び受電設備改修に伴う設計業務 1式 3 事業費の内訳 ・工事請負費 30, 000千円 ・委託料 5, 000千円 4 主な特定財源 ・辺地対策債 35, 000千円 						
担当課	農林商工部農林管理課		電話	直通 24-7041 内線 4112		

政策名	豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり					
事業名	美しい農村再生支援事業					継続
予算額(千円)	左の財源内訳					前年度 予算額
20,264	国	府	市債	その他	一般財源	9,264
	20,000				264	

1 事業の背景・目的

大江町毛原地区に受け継がれてきた美しい棚田は、伝統文化、経験に裏打ちされた持続可能な資源管理の方法等を現在に伝えるとともに、農村の価値の向上に寄与していますが、地区の過疎化・高齢化の進行により、棚田の維持が困難となりつつあります。そのため、美しく伝統ある農村を次世代へ継承していくため、棚田を保全・継承し、かつ集落の担い手を確保する取組を支援します。

2 事業の内容

農林水産省「美しい農村再生支援事業」を活用し、農村資源の保全・継承に向けた活動計画の策定、棚田を活かした農産物の地域ブランド化・販路開拓、新規移住者による集落の担い手の確保等の体制づくりを構築します。

また、景観保全を継承するため、損傷した農業施設等の整備をします。

- (1) 農村の歴史・伝統技術等の調査解析
- (2) 環境保全計画策定
- (3) 農地・農業施設保全整備

3 事業費の内訳

報償費	80千円
旅費	56千円
需用費	7,904千円
委託費	12,195千円
使用料及び賃借料	29千円

4 主な特定財源

美しい農村再生支援事業補助金 20,000千円



大江町毛原地内

担当課	農林商工部農林管理課	電話	直通 24-7041 内線 4114
-----	------------	----	--------------------

政策名	豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり					
事業名	ふくちの村 ^{むらびと} 来 ^き 人 ^{にん} 定住活動支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
7, 211	国	府	市債	その他	一般財源	5, 725
					7, 211	
1 事業の背景・目的						
本市の農山村地域では、人口減少、高齢化、空き家増加が進行し、共同作業の困難化、農林業の衰退、生活環境の悪化など、集落機能の低下が重要課題となっています。 一方では近年、従来の都会中心の価値観や社会情勢の変化により、農山村地域への移住志向も高まってきています。 現在、都市部からの過疎地への定住促進対策として、国では「地域おこし協力隊制度」や、府では、空き家活用に関する補助事業などの制度が創設されており、これらの条件や制度を活かした農山村活性化の取り組みが進んでいます。 集落や地域団体等自らが空き家を活用した移住者受け入れ計画を策定し、将来計画人口の実現や地域活動を活性化していく取り組みを支援する事業です。						
2 事業の内容						
移住促進計画を策定し、空き家に移住者を受け入れて地域おこしを行う地域に対し、市が委嘱した地域おこし協力隊員(ふくちの村来人)を2名配置し、地域協力活動を行います。 (1) 地域おこし協力隊制度 ・ふくちの村来人活動事業（継続2名配置）						
						
ふくちの村来人						
3 事業費の内訳						
報酬費 4,800千円(10千円×20日/月×12月×2人)						
旅 費 56千円						
需用費 772千円(消耗品337千円・燃料費365千円・印刷製本費70千円)						
役務費 82千円						
委託料 15千円						
使用料及び賃借料 1,446千円						
(パソコン2台120千円・住居2軒840千円・車両2台480千円・複写機6千円)						
負担金補助及び交付金 40千円						
(研修等参加負担金40千円)						
担当課	農林商工部農林管理課		電話	直通 24-7041 内線 4114		



ふくちの村来^{むらびと}人^{にん}

政策名	豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり					
事業名	福知山千年の森づくり事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3, 696	国	府	市債	その他	一般財源	11, 292
		1, 324	1, 500	872		
1 事業の背景・目的 本市は、市域面積の約7割を森林が占め、豊かな自然・歴史・伝説など、後世に継承すべき多様で豊富な地域資源を有しています。 そのような中、平成19年8月に三岳山から大江山連峰一帯が「丹後天橋立大江山国定公園」に指定されました。 この国定公園の指定を契機として、国定公園を市民共有の財産として守り育て、環境保全、農林業振興、観光振興を図り、オンリーワンの森林公園を目指すために本事業を実施し、市民協働の森づくりを進めます。						
2 事業の内容 (1)福知山千年の森づくり事業 ・千年の森づくり懇話会の開催、国定公園クリーンデー、千年の森メモリアル植樹地、登山道の管理 (2)自然環境整備交付金事業（4.5/10補助） ・国定公園内の誘導標識 2基 (3)国定公園からの贈り物事業 ・日向水木の育苗及び植樹						
3 事業費の内訳 報償費 40千円 旅費 42千円 需用費 545千円 委託料 152千円 使用料及び賃借料 97千円 工事請負費 2,790千円 負担金補助及び交付金 30千円						
4 主な特定財源 (1)自然環境整備交付金 1,324千円 (2)過疎債 1,500千円 (3)福知山千年の森づくり基金繰入 872千円						
「福知山千年の森づくり事業」 国定公園クリーンデー 						
担当課	農林商工部農林管理課		電話	直通 24-7041 内線 4114		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					(単位: 千円)
事業名	年金生活者等支援臨時福祉給付金事業					新規
補正予算額	左の財源内訳					
	国	府	市債	その他	一般財源	
340,780	340,780					
1 事業の背景・目的 平成27年12月18日の閣議決定において、「一億総活躍社会」の実現に向け、賃金引上げの恩恵が及びにくい低年金受給者への支援によるアベノミクスの成果の均てんの観点や、高齢者世帯の年金も含めた所得全体の底上げを図る観点に立ち、また、平成28年前半の個人消費の下支えにも資するよう、低所得の高齢者等を対象に当該給付金事業の実施が決定されたことにより、給付事務を行います。 2 事業の内容 基準日（平成27年1月1日）に本市に住民登録されている方であり、かつ、平成27年度の市民税が非課税の方（市民税が課税されている方の扶養親族等、生活保護受給者を除く）で、平成28年度中に65歳以上である方に対し、給付金を支給します。 ・一人 30,000円 3 事業費の内訳 (款)民生費 (項)社会福祉費 (目)社会福祉総務費 事務費 10,780千円 負担金補助及び交付金 330,000千円 4 主な特定財源 (款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)民生費国庫補助金 ・年金生活者等支援臨時福祉給付金事業費 340,780千円（補助率10/10）						
担当課	福祉保健部地域福祉課		電話	直通 24-7087 内線 2125		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	「絆」プロジェクト 手話のできる人材育成推進事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1, 110	国	府	市債	その他	一般財源	1, 310
		555			555	
1 事業の背景・目的 手話通訳や要約筆記は、聴覚・音声・言語に障害のある人のコミュニケーション手段を確保する上で、様々な場面で大切な役割を担っています。 特に、要約筆記は難聴の高齢者などにとっても、有効なコミュニケーション手段のひとつとなります。 本市では、平成25年3月に策定した「第2次福知山市地域福祉計画」に基づき、人権尊重を基本に、ユニバーサル社会の形成に向け、平成28年度も本事業を実施します。 2 事業の内容 (1) 聴覚・音声・言語に障害のある人の情報支援を行うため、市役所窓口に自己紹介程度の手話による会話ができ要約筆記を可能とする職員を養成します。 (2) 聴覚・音声・言語に障害のある人の社会参加を促進するため、企業や事業所に対して簡単な手話の出前講座を開催し、手話の普及・啓発を行います。 (3) 地域住民に対して、聴覚、音声、言語に障害のある人の生活・福祉制度についての理解と認識を深めるための講演会を開催します。 3 事業費の内訳 (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 社会福祉総務費 ・ 報償費 100千円 (講師謝礼) ・ 需用費 60千円 (消耗品) ・ 委託料 950千円 (職員手話・要約筆記養成研修実施業務) 4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 民生費府補助金 ・ 京都府みらい戦略一括交付金 555千円						
担当課	福祉保健部地域福祉課		電話	直通 24-7088 内線 2112		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	利用者支援事業（基本型・特定型）					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
589	国	府	市債	その他	一般財源	—
	196	196			197	
1 事業の背景・目的 福知山市子育て世代包括支援センターの取組みとして、妊娠・出産・子育て期にわたり切れ目のない子育て世代への包括支援を行います。 2 事業の内容 (1) 利用者支援事業（基本型）の実施（委託） 子育て支援サービスの円滑利用のサポート 子育て支援団体のネットワークの構築と支援 (2) 利用者支援事業（特定型）の実施（直営） 子育て支援課に子育てコンシェルジュの配置（継続） 保育に関する相談や利用調整 市内の子育て支援情報の集約と提供 3 事業費の内訳 (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉総務費 旅費（研修旅費）15千円 需用費（消耗品費・印刷製本費）63千円 役務費1千円 委託料510千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 民生費国庫補助金 子ども・子育て支援交付金(利用者支援事業)196千円 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 民生費府補助金 子ども・子育て支援交付金(利用者支援事業)196千円 5 その他 利用者支援事業（基本型）は、岡ノ三地域に整備中の地域子育て支援拠点施設において、施設開設と同時に開始する予定としています。						
担当課	福祉保健部子育て支援課		電話	直通 24-7082 内線 2111		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	地域子育て支援拠点事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
4, 432	国	府	市債	その他	一般財源	
	1, 399	1, 399			1, 634	3, 657
1 事業の背景・目的 ワンストップ拠点「子育て世代包括支援センター」の一翼を担う地域子育て支援拠点施設における「地域子育て支援拠点事業」の委託により、妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目ない支援を行うことを目的とします。 2 事業の内容 1）岡ノ三地域にて、地域子育て支援ひろばの拡充実施（平成28年10月～） 週4日の開設を週5日の開設に充実 利用者増加に対応するため、従事者の増員(1人増員 3人体制) 2）地域子育て支援ひろばの実施（平成28年4月～9月 従来分） 3 事業費の内訳 (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉総務費 委託料（平成28年4月～9月）2, 000千円 委託料（平成28年10月～）2, 252千円 需用費（光熱水費）（平成28年10月～）180千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 民生費国庫補助金 子ども・子育て支援交付金(地域子育て支援拠点事業) 1, 399千円 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 民生費府補助金 子ども・子育て支援交付金(地域子育て支援拠点事業) 1, 399千円 5 その他 本事業は、市民協働の子育て応援事業における「地域子育て支援ひろば事業」を岡ノ三地域に整備中の地域子育て支援拠点施設において、事業内容（開設日の増設・従事者の増員 他）を拡充し実施するものです。 地域子育て支援拠点施設においては、市街地における子育て支援の拠点として、本事業のほかに利用者支援事業（基本型）、イクマチフリーマーケット等の事業も実施する予定としています。						
担当課	福祉保健部子育て支援課		電話	直通 24-7082 内線 2111		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	放課後児童クラブ運営事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
200,477	国	府	市債	その他	一般財源	222,334
	21,996	34,114	10,000	43,082	91,285	

1 事業の背景・目的

保護者が就労等で昼間家庭にいない児童に対し、放課後や学校休業中に安心して遊び生活できる場を提供するとともに健全育成を図り、保護者の就労と子育ての両立を支援します。

2 事業の内容

放課後児童クラブは、市直営12か所、委託1か所、補助6か所、合計19か所で、平日は放課後から午後7時まで、土曜日と長期休業中は午前7時45分から午後7時まで開設しています。

児童クラブに対する保護者ニーズが多様化・高度化するなか、施設の充実や指導員の資質向上を進めるなど、利用児童の安心・安全な環境整備を推進します。

さらに、今年度中には全クラブ6年生まで受入れが可能になります。



放課後児童クラブの様子

3 事業費の内訳

・賃金

146,538千円

・報償費

221千円

・旅費

275千円

・需用費

5,700千円

・役務費

3,951千円

・委託料

8,335千円

・使用料及び賃借料

120千円

・工事請負費

10,580千円

・備品購入費

519千円

・負担金補助及び交付金

24,238千円

合 計

200,477千円

4 主な特定財源

(款) 使用料及び手数料

(項) 使用料

(目) 教育使用料

・放課後児童クラブ使用料

43,082千円

(款) 国庫支出金

(項) 国庫補助金

(目) 教育費国庫補助金

・子ども・子育て支援事業

21,996千円

(款) 府支出金

(項) 府補助金

(目) 教育費府補助金

・子ども・子育て支援事業

21,996千円

・みらい戦略一括交付金

12,118千円

(款) 市債

(項) 市債

(目) 教育債

・放課後児童クラブ運営事業（合併特例債）

10,000千円

担当課	教育委員会生涯学習課	電話	直通 24-7067 内線 2118
-----	------------	----	--------------------

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	民間保育所施設整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
126,934	国	府	市債	その他	一般財源	258,903
	110,831	1,500			14,603	
1 事業の背景・目的 保護者の就労形態の多様化等から保育に対するニーズは増加しています。こうした中、子どもを良好な環境で保育し保護者の就労等を支援するため、民間認可保育所が実施する改築工事や賃貸物件による保育所整備に対し、補助金を交付します。 2 事業の内容 ・老朽化に対応するため、移転改築に対する補助を行います。 ・多様な就労環境に対応するため、賃貸物件による夜間保育所開所に補助を行います。 3 事業費の内訳 (款) 民生費 (項) 児童福祉費 (目) 児童福祉総務費 ・負担金補助及び交付金 126,934千円 4 主な特定財源 (款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 民生費国庫補助金 ・保育所等整備交付金 110,831 千円 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 民生費府補助金 ・京都府こども未来基金 1,500 千円						
担当課	福祉保健部子育て支援課		電話	直通 24-7083 内線 2117		

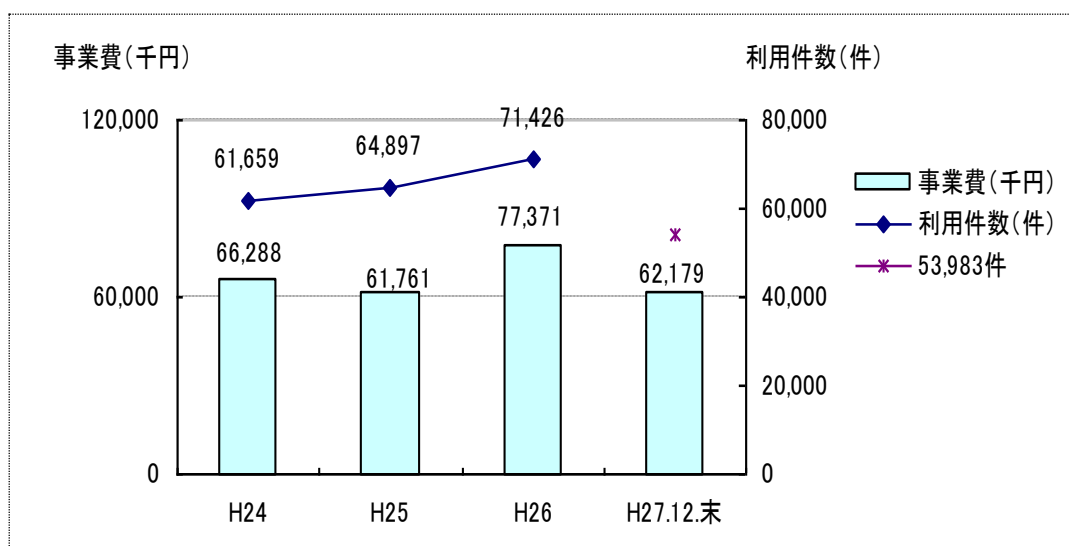
政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	ふくふく医療費支給事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
69,956	国	府	市債	その他	一般財源	87,255
					69,956	

1 事業の背景・目的

子どもの健康保持及び増進を図るとともに、子育て家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援を図ります。

2 事業の内容

3歳以上中学3年生までの子どもの入院外の医療費について、1医療機関1日最大500円の自己負担で受診できるよう医療費を公費負担します。



3 事業費の内訳

(款) 民生費	(項) 社会福祉費	(目) 社会福祉総務費
・ 需用費	161千円	
・ 役務費	6,195千円	
・ 扶助費	63,600千円	

担当課	福祉保健部子育て支援課	電話	直通 24-7011 内線 2115
-----	-------------	----	--------------------

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり																	
事業名	人工透析患者通院助成事業					新規												
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額												
2,908	国	府	市債	その他	一般財源	—												
					2,908													
1 事業の背景・目的 通院による人工透析を受けている人は、その通院が頻回であるため、通院にかかる交通費が大きな経済的負担となっています。 本市では、現在、通院による人工透析を受けている人に対し、タクシー等の料金を助成することで、通院手段の確保と通院にかかる交通費の経済的負担の軽減を図るため、「障害者安心おでかけサポート事業（社会福祉課所管）」と「在宅高齢者外出支援助成事業（高齢者福祉課所管）」を実施しています（重複利用は不可）。 両事業の今後のあり方の検討・提言を行うことを目的に「移動制約者にかかる外出支援検討委員会（委員8人で構成）」を平成26年度に設置し、通院による人工透析を受けている人の支援について、検討を重ねてきました。 平成27年度本検討委員会において、両事業の助成内容等の公平性や既存事業との整合性等の観点から検討した結果、人工透析患者への通院支援を一本化し、別制度として実施します。 2 事業の内容 (1) 対象者 じん臓機能障害により人工透析を受けるため医療機関へ通院している市民税非課税の人 (2) 内容 ・500円券を週2回通院している人は、1か月に16枚（8,000円）また、週3回通院している人は、1か月に24枚（12,000円）交付します。 ・通院先までの距離が片道10キロを超える人は、上記の2倍の助成券を交付します。 (3) 実施時期 平成28年10月から 3 事業費の内訳 <table><tr><td>(款) 民生費</td><td>(項) 社会福祉費</td><td>(目) 社会福祉援護費</td></tr><tr><td>需用費</td><td>24千円</td><td></td></tr><tr><td>役務費</td><td>36千円</td><td></td></tr><tr><td>扶助費</td><td>2,848千円</td><td></td></tr></table>							(款) 民生費	(項) 社会福祉費	(目) 社会福祉援護費	需用費	24千円		役務費	36千円		扶助費	2,848千円	
(款) 民生費	(項) 社会福祉費	(目) 社会福祉援護費																
需用費	24千円																	
役務費	36千円																	
扶助費	2,848千円																	
担当課	福祉保健部社会福祉課		電話	直通 24-7017 内線 2124														

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	障害者安心おでかけサポート事業					縮小
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3, 963	国	府	市債	その他	一般財源	4, 103
					3, 963	
1 事業の背景・目的 本事業では、在宅の重度障害のある人に対し、移動に要するタクシー等の料金の助成を行うことにより、社会参加の促進を図り、在宅の重度障害のある人やその家族の精神的・経済的負担の軽減を図っています。 本事業並びに在宅高齢者の外出支援を目的に高齢者福祉課が実施している在宅高齢者外出支援助成事業の今後のあり方の検討・提言を行うことを目的に「移動制約者にかかる外出支援検討委員会（委員8人で構成）」を平成26年度に設置し、両事業の関係整理に向けて、検討を重ねてきました。 これまでは、両事業の重複利用を可としていましたが、平成27年度本検討委員会において、両事業の趣旨・目的や既存事業との整合性等の観点から検討した結果、重複利用を廃止した上で、引き続き、本事業を継続します。 2 事業の内容 (1) 対象者 ・視覚の障害程度が1級または2級の人 ・下肢または移動の障害程度が1級または2級の人（ただし、一上下肢の障害程度が1級または2級の人で、一下肢の障害程度が3級の人とは下肢または移動の障害程度が1級または2級の人とみなします。） ・体幹の障害程度が1級または2級の人 ・心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこうまたは直腸及び小腸、肝臓及びヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害程度が1級の人 ・療育手帳の障害程度の表示がAの人 (2) 内容 ・200円券を1か月に5枚、申請を受理した月より当該年度の3月までの月数分を交付します。（1,000円／月） ・さらに、じん臓機能障害1級の人で、通院による人工透析を受けている人は、100円券を1か月に5枚、割増交付します。（500円／月） ※人工透析を受けている人は、平成28年10月から別制度として実施します。 (3) 適用除外 対象者の世帯に係る前年分の所得税の合計額が399,000円を超える場合。 3 事業費の内訳 (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 社会福祉援護費 需用費 90千円 役務費 225千円 扶助費 3, 648千円						
担当課	福祉保健部社会福祉課		電話	直通 24-7017 内線 2124		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	外出支援助成事業					縮小
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
12,816	国	府	市債	その他	一般財源	19,364
					12,816	
1 事業の背景・目的 下肢の障害等により、他人の支援なしにタクシー等が利用できない在宅高齢者について、本人及び家族の身体的・精神的また経済的負担の軽減を図ることを目的にタクシー等の利用料金の一部を助成します。 本事業については、平成24年度の市民公開レビューにおける「見直し」の判定を受けて、平成26年度に「移動制約者に係る外出支援検討委員会」を設置し、専門家等の意見を聞く中で、非課税世帯・原則要支援2以上に対象者を限定するなど具体的な見直し内容の制度設計を行い、平成27年度下期より見直し後の制度により実施しているところです。 平成28年度も引き続き見直し後の内容で事業に取り組むこととしますが、透析患者向けサービスについては平成28年度下期から新たな通院支援事業に移行することとします。 さらに、平成28年度も「移動制約者に係る外出支援検討委員会」を引き続き開催し、今後の外出支援のあり方等について検討をいただくこととします。 2 事業の内容 (1) 移動制約者に係る外出支援検討委員会 (2回開催) (2) 原則要支援2以上で非課税世帯の在宅高齢者に外出支援助成券を交付します。 (3) 透析患者については、上半期のみ現在の制度を存続し、下半期については、新しい通院支援制度に移行します。(社会福祉課所管の障害者安心お出かけサポート事業と統合) 3 事業費の内訳 (款) 民生費 (項) 社会福祉費 (目) 老人福祉費 ○事業費 12,704千円 ・需用費 120千円 (助成券印刷) ・役務費 450千円 (助成券郵送料) ・扶助費 12,134千円 (助成券支出) ○移動制約者に係る外出支援検討委員会開催経費 112千円 ・報酬 112千円(委員報酬)						
担当課	福祉保健部高齢者福祉課		電話	直通 24-7013 内線 2144		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	生活保護扶助事業					継続
予算額(千円)	財源内訳 (千円)					前年度 予算額
1,742,339	国	府	市債	その他	一般財源	1,635,068
	1,295,504	31,400		15,000	400,435	

1 事業の背景・目的

憲法 25 条に規定する理念に基づき、市民等の健康で文化的な最低限度の生活を保障することで安全で安心な生活を確保し、また自立支援を行うことによって「貧困の再生産」や「貧困の連鎖」の防止を図ります。

2 事業の内容

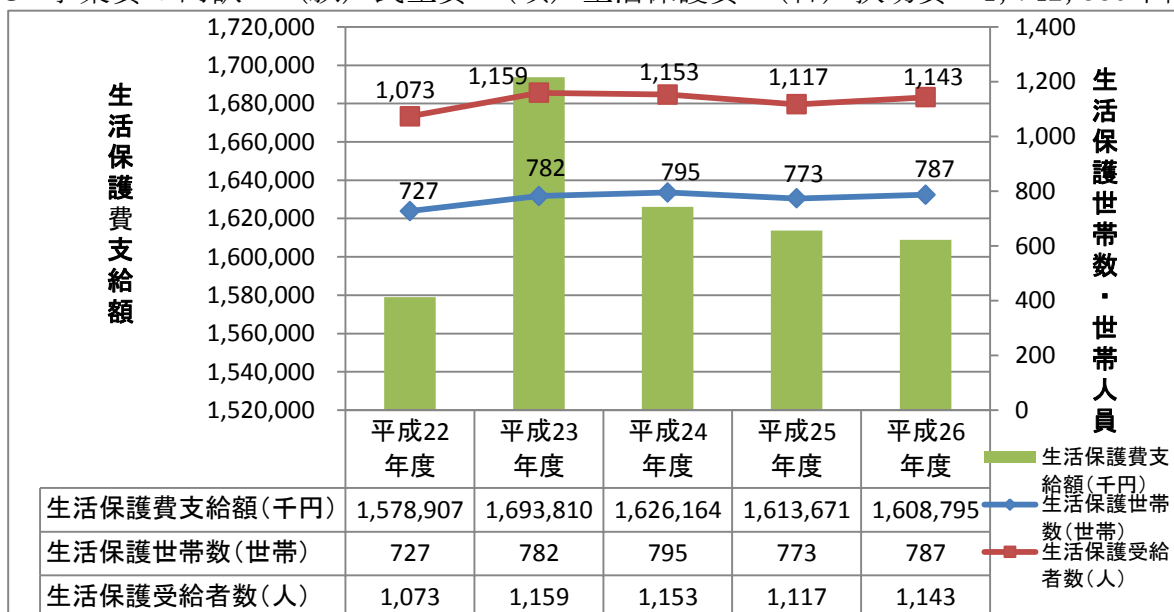
国民最後のセーフティネットとして、困窮の程度により次に掲げる各扶助を支給するとともに世帯の自立支援を行います。

○保護の種類 ①生活扶助 ②教育扶助 ③住宅扶助 ④医療扶助
⑤介護扶助 ⑥出産扶助 ⑦生業扶助 ⑧葬祭扶助

○保護の要件

生活保護は、保護を必要とされる本人、その扶養義務者又は同居の親族の申請に基づき、審査の上で開始します。また利用し得る資産、能力その他あらゆるものを、最低限度の生活の維持のために活用することを要件とします。

3 事業費の内訳 (款) 民生費 (項) 生活保護費 (目) 扶助費 1,742,339千円



4 主な特定財源

(款) 国庫支出金 (項) 国庫負担金 (目) 民生費国庫負担金 1,295,504千円
 (款) 府支出金 (項) 府負担金 (目) 民生費府負担金 31,400千円
 (款) 諸収入 (項) 雑入 (目) 雑入 15,000千円
 府負担金は、本市に帰来先がない方(行旅病人等)への保護費のみ対象です。

担当課	福祉保健部社会福祉課	電話	直通 24-7012 内線 2131
-----	------------	----	--------------------

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	生活困窮者自立支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
12, 094	国	府	市債	その他	一般財源	10, 788
	8, 302				3, 792	
1 事業の背景・目的 生活困窮者自立支援法が成立し、平成27年4月1日より全国の福祉事務所設置自治体で生活困窮者に対する相談窓口が開設されています。 法では、生活保護に至っていない生活困窮者に対する「第2のセーフティネット」を拡充し、早い段階で生活困窮者に本人の状況に応じて寄り添った支援をすることで、「経済的・社会的自立」を促していくことを目的としています。 また、本人の主体性と尊厳を確保し、自立に向け各支援員がサポートを行うとともに、ワンストップ型の相談窓口として機能させていきます。						
2 事業の内容 ア 支援対象者 福知山市在住の方で、経済的に困窮しており、就労等による自立に向けた支援を希望される方。（既に生活保護を受給されている方は対象外） イ 支援内容 ・自立相談支援事業（必須事業） ①生活困窮者からの相談対応と情報提供 ②支援プランに基づく自立支援 ③支援機関との連携と支援ネットワークの構築 ※法的解決支援が必要な相談内容については、京都司法書士会の支援を受け、実施します。 ・住居確保給付金（必須事業） 離職等により経済的に困窮し、住居を失った又はそのおそれがある方に対し、有期で住居確保給付金を支給します。 ・就労準備支援事業（任意事業） 一般就労に向けた準備として、基礎能力の形成からの支援を計画的かつ一貫して実施します。 ・一時生活支援事業（任意事業） 福知山市旅館組合から本事業の実施に向けて賛同いただける旅館等の紹介を受け、住居喪失者に対する宿泊場所の提供等を実施します。						
3 事業費の内訳 （款）民生費（項）社会福祉費（目）社会福祉総務費 ・旅費(282千円) ・需用費(288千円) ・役務費(147千円) ・委託料(8, 153千円) ・使用料及び賃借料(1, 080千円) ・扶助費(2, 136千円) ・公課費(8千円)						
4 主な特定財源 （款）国庫支出金（項）国庫負担金（目）民生費国庫負担金 ・生活困窮者自立支援事業 2, 214千円 （款）国庫支出金（項）国庫補助金（目）民生費国庫補助金 ・生活困窮者自立支援事業等 6, 088千円						
担当課	福祉保健部社会福祉課		電話	直通 24-7094 内線 2171		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	特用林産振興事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
400	国	府	市債	その他	一般財源	350
					400	
1 事業の背景・目的 丹波くり・丹波マツタケ・丹波漆等地域性の高い林産物の生産振興を図るため、老木の多いくりの新植や改植を促進し、全国的に有名な丹波くり等の特用林産の振興を図ります。 2 事業の内容 ・丹波くり新植・改植 40a ・既設くり園等防護柵設置 30a 新規 ・丹波漆新植 10a 合計 80a×50千円/10a=400千円 3 事業費の内訳 (款)農林業費 (項)林業費 (目)林業振興費 補助金 400千円						
  品評会入賞くり						
担当課	農林商工部林業振興課		電話	直通 24-7047 内線 4132		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	有害鳥獣防除事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
6,384	国	府	市債	その他	一般財源	43,326
		700		950	4,734	
1 事業の背景・目的 シカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物等への被害は農家の営農意欲や農地保全にも大きく影響しており、捕獲対策と併せて金網柵等及び捕獲柵の設置やバッファゾーン整備等による防除対策を実施するため、福知山市有害鳥獣対策協議会が実施する防除事業に対する支援を行い、被害の軽減を図ります。						
2 事業の内容 (1) バッファゾーン整備及び実のなる木植栽事業 人里・集落・農地への野生鳥獣の侵入を防ぐため、山裾に緩衝帯を整備するとともに奥地に実のなる木を植栽し、野生鳥獣との棲み分けを図ります。 (2) 平成26年8月豪雨に係る被災地区防除施設の復旧支援事業 新規 平成26年8月豪雨災害により被災した金網柵等の防除施設の復旧を支援します。 ・金網柵 2,324m、溶接金網（メッシュ柵）252m						
3 事業費の内訳 (款) 農林業費 (項) 林業費 (目) 林業振興費 ・委託料 1,700千円 ・補助金 4,684千円 金網柵 2,324m×1,500円×3/4=2,614千円 溶接金網 252m×1,900円×3/4=2,170千円 大型捕獲柵2,324m×1,500円×3/4 1,900千円						
4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 農林業費府補助金 700千円 (款) 諸収入 (項) 雑入 (目) 雑入 950千円						
 大型捕獲柵						
担当課	農林商工部林業振興課		電話	直通 24-7047 内線 4132		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	有害鳥獣捕獲事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
92, 935	国	府	市債	その他	一般財源	
		10, 224		26, 596	56, 115	78, 996
1 事業の背景・目的 本市におけるシカ・イノシシ等の野生鳥獣による農作物被害の軽減と市民の不安を解消するため、「福知山市鳥獣被害防止計画」に基づき、有害鳥獣駆除隊及び捕獲実施隊による計画捕獲を効果的に実施します。						
2 事業の内容 シカ4, 500頭、イノシシ1, 000頭他小動物の計画捕獲を推進するための対策を実施します。 (1) 駆除隊活動事業 有害鳥獣駆除隊員に対し、捕獲頭数、活動実績に応じた捕獲報償金及び出動手当てを支払います。 (2) 捕獲実施隊活動事業 有害鳥獣捕獲実施隊による、主に銃器を使用する捕獲活動にに応じた捕獲報償金及び出動手当てを支払います。 (3) 広域捕獲及び緊急捕獲活動事業 府県境に生息する鳥獣を効率的に捕獲するための広域捕獲や緊急銃器捕獲を実施し、活動実績に応じて出動手当等を支払います。 (4) 狩猟免許取得支援強化事業 狩猟免許の新規取得者に対し、有害鳥獣駆除隊への参加を要件として免許取得費用の3分の2を助成します。 (5) 安全・技術講習会開催事業 駆除隊員、実施隊員、農区柵の管理者等に対し捕獲活動に関する法令順守と安全対策、わなによる捕獲技術、捕獲個体の適正処分等の講習会を開催します。						
3 事業費の内訳 (款) 農林業費 (項) 林業費 (目) 林業振興費 報償費(捕獲動物買上料及び活動手当) 88, 917千円、賃金1, 215千円、旅費 65千円、需用費1, 072千円、役務費439千円、委託料132千円、使用料291千円、負担金補助及び交付金804千円						
4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 農林業費府補助金 10, 224千円 (款) 諸収入 (項) 雑入 (目) 雑入 26, 596千円						
担当課	農林商工部林業振興課		電話	直通 24-7047 内線 4132		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	中丹地域有害鳥獣処理施設管理事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
38,906	国	府	市債	その他	一般財源	59,280
	11,039			16,828	11,039	

1 事業の背景・目的

有害鳥獣により増加する農作物被害を軽減させるための重要課題である計画的な捕獲を推進するにあたり喫緊の課題であった捕獲個体の適正処分を図るため、福知山市・綾部市・舞鶴市の共同利用施設である「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行なうことにより、駆除隊員の労力負担を軽減することで計画捕獲を一層推進し、農作物被害の軽減を図ります。

2 事業の内容

- (1) 施設の維持管理
- (2) 捕獲個体の収集運搬及び焼却処分

3 事業費の内訳

(款) 農林業費 (項) 林業費 (目) 林業振興費

- ・ 需用費 (燃料費及び光熱水費他) 20,132千円
- ・ 役務費 (電信・電話料等) 95千円
- ・ 委託料 (指定管理委託料・施設機器点検委託料等) 18,679千円

4 主な特定財源

(款) 諸収入 (項) 雑入 (目) 雑入 16,828千円 (他市負担金)

(款) 国庫支出金 (項) 国庫補助金 (目) 農林業費国庫補助金
地方創生推進交付金 11,039千円



中丹地域有害鳥獣処理施設

担当課	農林商工部林業振興課	電話	直通 24-7047 内線 4132
-----	------------	----	--------------------

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	農地中間管理事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
41, 566	国	府	市債	その他	一般財源	
		41, 180		386		79, 379
1 事業の背景・目的						
就農人口の減少や高齢化など農業を取り巻く状況が厳しくなる中で、農業の持続的発展を図るために農地の集積と集約化を加速し生産コストを削減していく必要があります。						
このため、平成26年6月に農地中間管理機構に指定された「京都府農業総合支援センター」が中間的受け皿となって借り受けた農地を公募によって登録された借受け希望者に貸し付けることで、担い手への農地集積・集約化を図る取り組みを支援します。						
2 事業の内容						
・地域集積協力金						
地域内の農地の一定割合以上を機構に貸し付けた地域に交付						
単価 2～5割：1.5万円/10a、5～8割：2.1万円/10a、8割超：2.7万円/10a						
・経営転換協力金						
経営している全農地を機構に貸し付けて農業をやめることで、機構に貸し付ける農地の面積に応じて、当該農業をやめる農家に対して交付金の交付						
単価 0.5ha以下：30万円、0.5～2.0ha：50万円、2.0ha超：70万円						
・耕作者集積協力金（単価 1万円/10a）						
登録された借受け希望者の経営農地に隣接する農地、または接続する2筆以上の農地を機構に貸し付けることで、貸付面積に応じて、農地の貸し手に対して交付						
3 事業費の内訳						
・農地中間管理機構からの事務委託による事務費 386千円						
・地域集積協力金 12地域 145ha 21,680千円						
・経営転換協力金 36戸 36ha 18,000千円						
・耕作者集積協力金 75戸 15ha 1,500千円						
合計 41,566千円						
4 主な特定財源						
・農地中間管理機構からの受託事業収入 386千円						
・府補助金 41,180千円						
合計 41,566千円						
担当課	農林商工部農業振興課		電話	直通 24-7044 内線 4120		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	認定担い手農家育成助成事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3, 200	国	府	市債	その他	一般財源	
					3, 200	3, 490
1 事業の背景・目的 農業者の高齢化や有害鳥獣被害を背景として、規模縮小や離農する農業者が増えており、耕作放棄地が現在約200ha発生しています。農地の荒廃化防止において、地域における担い手農家への期待は大きく、地域のために農地集積されている担い手農家が多くなっています。 今後も、農地中間管理事業の活用による農地集積が進むものと思われますが、農地の借り手となる担い手農家の経営規模の拡大を支援することにより、更に農地集積を加速化させ農地の荒廃化を防止します。 2 事業の内容 認定担い手農家が、農地集積を行う利用権設定に対して助成します。 (助成額) 新規の利用権設定の場合 10aあたり10,000円の助成 (要件) 対象は農振農用地の田で利用権設定期間は6年以上 3 事業費の内訳 (補助金) 3,200,000円 新規利用権設定 3,200a×10,000円／10a =3,200,000円						
担当課	農林商工部農業振興課		電話	直通 24-7044 内線 4121		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	企業誘致促進特別対策事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
51,980	国	府	市債	その他	一般財源	51,580
				51,000	980	
1 事業の背景・目的 平成20年から始まった国内の人口減少は、地方部の本市においては都市部への人口流出と併せて今後加速度的に進むと見られています。こうした中、人口減少と地域経済の縮小を克服すべく、安定した雇用を創出し地域経済の活性化、若者の定住化を促進する為に、長田野工業団地アネックス京都三和への企業誘致を進めるとともに、市中操業企業による設備投資と新規雇用を奨励し域内経済の活性化と企業の市外流出を防ぎます。						
2 事業の内容 ○京都府北部中核工業団地企業誘致推進協議会：アネックス京都三和への企業誘致を京都府と連携協働し情報共有や企業訪問を実施します。 ○京都府市町村企業誘致連絡会議：京都府及び府下市町の企業誘致担当課長にて緊密な連携を図り、工場用地の積極的な販売戦略を展開します。 ○企業等誘致促進事業：アネックス京都三和等へ進出する企業へ建設費、雇用費の奨励を図ります。（面積・投資額に適用条件あり） ○工場等操業支援事業：市内の新設、増設、建替えをする企業へ建設費、雇用費の奨励を図ります。（投資額に適用条件あり） ○アネックス京都三和P R ビデオ作製：効果的な動画による広告媒体を作製し企業誘致を促進します。						
3 事業費の内訳 ○京都府北部中核工業団地企業誘致推進協議会負担金 500千円 ○京都府市町村企業誘致連絡会議負担金 80千円 ○企業等誘致促進事業費 25,000千円 ・工場等新設奨励金 (2千円×9,500㎡＝19,000千円) ・雇用奨励金 (150千円×40人＝ 6,000千円) ○操業支援事業費 26,000千円 ・工場等新設増設奨励金 (2千円×10,000㎡＝20,000千円) ・雇用奨励金 (100千円×50人＝ 5,000千円) ・工場等建替え奨励金 (1千円×1,000㎡＝ 1,000千円) ○アネックス京都三和P R ビデオ作製委託費 400千円						
4 主な特定財源 ○企業誘致促進特別対策事業基金 51,000千円						
担当課	農林商工部産業立地課		電話	直通 24-7077 内線 4161		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	小規模企業融資制度事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
14,540	国	府	市債	その他	一般財源	13,832
					14,540	
1 事業の背景・目的 景気の低迷が続く昨今、日々の経営安定を図るために必要とする事業資金を金融機関から借り受ける小規模事業者を支援することで産業の活性化を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とします。 2 事業の内容 ○金融機関への利子補給「マル福」 ・京都府の小規模企業おうえん融資の金利のうち0.5%分を市が負担 ○企業者への利子補給 ・京都府小規模企業おうえん融資の利用事業者に6か月分の利子を全額補給（「マル福」利用者への利子補給） ・日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金融資の利用事業者に6か月分の利子を全額補給（「マル経」利用者への利子補給） 3 事業費の内訳 ○金融機関への利子補給「マル福」 負担金補助及び交付金9,632千円 ○企業者への利子補給 負担金補助及び交付金4,908千円 ・「マル福」利用者への利子補給4,205千円 ・「マル経」利用者への利子補給703千円						
担当課	農林商工部商工振興課		電話	直通 24-7075 内線 4143		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり																									
事業名	「森の京都 福知山」 エンジョイプログラム二瀬川散策コース整備事業					継続																				
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																				
26,612	国	府	市債	その他	一般財源	8,700																				
			26,500		112																					
1 事業の背景・目的 「森の京都 福知山」マスタープランに基づき、区域内を3つのゾーンに分け整備を進めています。「自然遺産パワースポット」の二瀬川溪流散策においては溪流の魅力の向上、また散策路の安全性を高めるため散策路等の整備を行います。 2 事業の内容 平成27年度に実施した基本設計に基づき、橋梁架設に係る実施設計業務委託を発注し、二瀬川溪流に橋梁の架設を進めます。 橋梁の架設に係る、上部工・下部工の実実施設計業務を発注し、平成28年度～平成29年度の2箇年の債務負担行為により橋梁の架設工事を実施します。 河川は、出水期（6月～10月）は工事抑止期間、非出水期（11月～5月）が工事可能期間とされており、工事を効率よく実施するため2カ年の債務負担行為として実施します。 【平成28年度】・橋梁架設工事に係る実施設計業務委託 ・橋梁構造物に係る用地取得及び散策路枝打ちの業務委託 【平成28～29年度】 ・橋梁架設工事（工事用仮設工、撤去工）《債務負担行為》 3 事業費の内訳 【平成28年度】①橋梁架設工事に伴う <table><tr><td>実施設計業務委託料</td><td>一式</td><td>=</td><td>7,000千円</td></tr><tr><td>②用地取得業務委託料</td><td>一式</td><td>=</td><td>1,500千円</td></tr><tr><td>③用地費、枝打ち業務委託料</td><td>一式</td><td>=</td><td>112千円</td></tr><tr><td>④橋梁架設工事費（平成28年度分）</td><td></td><td></td><td>18,000千円</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td></td><td>26,612千円</td></tr></table> 4 主な特定財源 過疎対策事業債 26,500千円 5 その他【平成28～29年度】《債務負担行為》 ・平成28年度：橋梁架設工事費（仮設工、準備工） 18,000千円 ・平成29年度：橋梁架設設置工事（下部工、上部工他） 27,000千円							実施設計業務委託料	一式	=	7,000千円	②用地取得業務委託料	一式	=	1,500千円	③用地費、枝打ち業務委託料	一式	=	112千円	④橋梁架設工事費（平成28年度分）			18,000千円	計			26,612千円
実施設計業務委託料	一式	=	7,000千円																							
②用地取得業務委託料	一式	=	1,500千円																							
③用地費、枝打ち業務委託料	一式	=	112千円																							
④橋梁架設工事費（平成28年度分）			18,000千円																							
計			26,612千円																							
担当課	地域振興部大江支所		電話	直通 56-1101 内線 75-9311																						

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	「森の京都 福知山」大江山グリーンロッジ整備事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3, 500	国	府	市債	その他	一般財源	—
		1, 750			1, 750	
1 事業の背景・目的 大江山グリーンロッジは、丹後天橋立大江山国定公園の麓に位置する酒呑童子の里の中核施設であり、大江山登山者の活動拠点また宿泊拠点としての位置付けにあります。 「森の京都 福知山マスタープラン」の丹後天橋立大江山国定公園エンジョイプログラムに基づき、当国定公園のビジターセンターとして「大江山グリーンロッジ」の改修整備を行い、ビジターの活動拠点、宿泊拠点としての機能向上、また本施設を核に大江山を始め、大江山への観光ルート上にある多様な観光地への誘客を図ります。 利用者の多様なニーズ対応のため、大江山グリーンロッジの洋室、和室の各1室に室内用の浴室バス・洋式トイレを設置します。また、共同浴場の濾過器等の改修を行い施設機能の充実を図ります。 2 事業の内容 大江山グリーンロッジ整備事業実施設計業務委託 3 事業費の内訳 委託料 3, 500千円 「森の京都 福知山」大江山グリーンロッジ整備事業実施設計業務 4 主な特定財源 (款) 府支出金 (項) 府補助金 (目) 総務費府補助金 みらい戦略一括交付金 1, 750千円						
担当課	地域振興部大江支所		電話	直通 56-1102 内線 75-9322		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり											
事業名	城下町福知山・まち歩き観光促進事業					継続						
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額						
6,435	国	府	市債	その他	一般財源	—						
	3,217				3,218							
1 事業の背景・目的 J R 福知山駅や福知山城には、その隣接地に来街者のための無料駐車場がありますが、まちなか観光ルートの拠点でもある広小路界限周辺には無料の駐車場がなく、ゆっくりまち歩き観光や買い物等を楽しむことができません。 既存の御霊公園福知山パーキングの駐車料金 1 時間を無料化することで、まちなかへの来街の動機付けと滞在時間の延長を促し、まちなかの回遊性の強化と賑わいの創出を図ります。 2 事業の内容 福知山まちづくり株式会社が運営する御霊公園福知山パーキングの駐車料金の 1 時間分を無料化（平成 28 年度より本格実施） 3 事業費の内訳 <table><tr><td>城下町福知山・まち歩き観光促進事業負担金</td><td>6,435 千円</td></tr><tr><td>42,900 台/年×150 円＝6,435,000 円</td><td></td></tr></table> 4 主な特定財源 <table><tr><td>国庫補助金（地方創生推進交付金）</td><td>3,217千円</td></tr></table>							城下町福知山・まち歩き観光促進事業負担金	6,435 千円	42,900 台/年×150 円＝6,435,000 円		国庫補助金（地方創生推進交付金）	3,217千円
城下町福知山・まち歩き観光促進事業負担金	6,435 千円											
42,900 台/年×150 円＝6,435,000 円												
国庫補助金（地方創生推進交付金）	3,217千円											
担当課	農林商工部商工振興課	電話	直通 24-7075 内線 4142									

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	試行雇用おうえん助成金交付事業					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
4, 420	国	府	市債	その他	一般財源	
	2, 210			2, 190	20	4, 440
1 事業の背景・目的 就職が困難な求職者を最長3か月間試行的に雇用することで、常用雇用へのきっかけとする公共職業安定所のトライアル雇用奨励金制度を利用する事業所に対して、市が上乗せして助成金を交付することで、事業者の人材確保にかかる負担の軽減と雇用の循環を促します。 2 事業の内容 (1) 対象事業所 トライアル雇用奨励金制度を利用した市内の事業所 (2) 補助金額 ○試行雇用者が34歳以下又は60歳以上【若年者・高齢者雇用分（継続）】 トライアル雇用奨励金の1/2（20千円）を限度に最長3か月分 ○試行雇用者が35歳以上59歳以下【循環型雇用分 拡充（+20千円）】 トライアル雇用奨励金と同額（40千円）を限度に最長3か月分 ※ただし、トライアル雇用奨励金制度を終了し、交付決定が確認出来た事業所に対して交付します。 3 事業費の内訳 ○需用費 ・事務用品費 10千円 ・チラシ印刷費 30千円 ○負担金補助及び交付金 ・試行雇用おうえん助成金 4, 380千円 試行雇用者：34歳以下及び60歳以上 45件×60千円（20千円×3か月）＝2, 700千円 試行雇用者：35歳以上59歳未満 14件×120千円（40千円×3か月）＝1, 680千円 4 主な特定財源 ○国庫補助金（地方創生推進交付金） 2, 210千円 ○ふるさと就職おうえん事業基金繰入金 2, 190千円						
担当課	農林商工部商工振興課		電話	直通 24-7075 内線 4143		

政策名	行財政効率の高いまちづくり					
事業名	まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1,673	国	府	市債	その他	一般財源	—
	229				1,444	

1 事業の背景・目的

昨年10月に策定した「福知山市まち・ひと・しごと・あんしん創生総合戦略」を推進するため、事業の進捗管理や有識者会議を開催し、必要な見直しを行います。

2 事業の内容

総合戦略策定時に関わっていただいた産官学金労言の外部有識者会議を引き続き組織し、平成27年度に実施した各種施策の検証と新たな施策の提案、見直しを行い、本市のPDCAサイクルの一翼を担っていただきます。

また、現状分析を客観的に行い、効果的な事業実施につながるよう地域経済分析システム（RESAS：リーサス）を積極的に活用します。

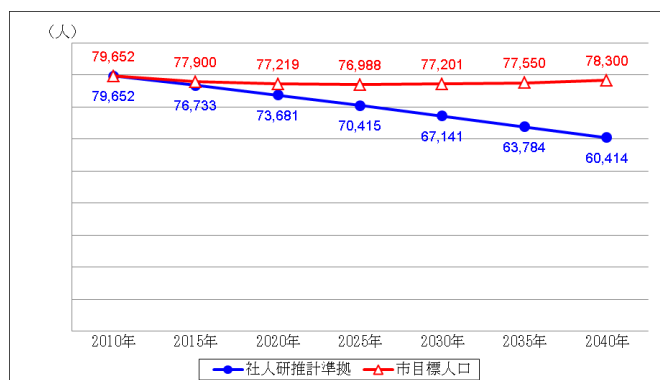
3 事業費の内訳

(款)総務費 (項)総務管理費 (目)企画費

・賃金	1,215千円	・役務費	7千円
・報償費	200千円	・備品購入費	150千円
・旅費	70千円	・負担金補助及び交付金	1千円
・需用費	30千円		

4 主な特定財源

(款)国庫支出金 (項)国庫補助金 (目)総務費国庫補助金
地方創生推進交付金 229千円



2040年に目標人口78,300人を設定



有識者会議第1分科会の様子
H27.5.28 市民交流プラザふくちやま

担当課	市長公室企画課	電話	直通 24-7030 内線 3114
-----	---------	----	--------------------

政策名	行財政効率の高いまちづくり					
事業名	ふるさと納税推進事業					新規
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
7,983	国	府	市債	その他	一般財源	—
					7,983	
1 事業の背景・目的 平成20年度から始まったふるさと納税制度は、自分の選んだ自治体に寄附を行ったときに、寄附額のうち2,000円を超える部分について、所得税と住民税が原則として全額控除される制度です。平成27年1月からは寄附できる金額がこれまでの倍になり（収入や家族構成により異なります。）、さらに4月からは、ワンストップ特例制度が創設されるなど、寄附者にとってより利用しやすい制度となりました。このような状況のもと全国の自治体も寄附金を集めるために、寄附者に対し、さまざまな特典や地元産品をお礼の品として揃え、多額の寄附金を集めている団体もあります。最近ではメディアにも多く取り上げられ、この制度が定着しつつあります。 本市においても、ふるさと福知山を全国に情報発信し、地域活性化の取り組みとして特産品等返礼品の充実を図り、クレジットカード等でふるさと納税が行える環境を整備し、寄附者の利便性の向上と寄附金の増収を図ります。						
2 事業の内容 ふるさと納税大手事業者有福知山市のふるさと納税について情報発信業務を委託します。 ふるさと納税について、クレジットカードで納税が行えるよう公金収納代行業者へ業務を委託します。 特産品等の調達や返礼、在庫管理などの業務全般をふるさと納税の知識やノウハウをもった事業者へ委託します。						
3 事業費の内訳 （款）総務費 （項）総務管理費 （目）諸費 ふるさと納税推進事業 需用費 消耗品費 5千円（225円×21冊×1.08） パンフレット等製本費500千円（46.2円×10,000冊×1.08） 役務費 カード決済初期登録費用 32千円 保守手数料 20千円（1,500円×12月×1.08） カード決済収納代行手数料119千円（11,000千円×1%×1.08） 委託料 W E B サイト業務委託 1,545千円（11,000千円×13%×1.08） 返礼品等業務委託 5762千円 （返礼品4,000円×1,100件+送料850×1,100件）×1.08 歳出合計 7,983千円						
担当課	財務部財政課		電話	直通 24-7035 内線 3322		

政策名	行財政効率の高いまちづくり					
事業名	新地方公会計制度導入支援事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
17,715	国	府	市債	その他	一般財源	9,000
					17,715	
1 事業の背景・目的						
平成27年度から平成29年度までの3年間で、全ての地方公共団体において、現状とは異なる統一的な基準による財務書類等を作成する要請が総務省より通知されています。それを受け、平成27年度から、新地方公会計制度の導入準備を行っており、平成28年度も継続して固定資産台帳の整備を進める必要があります。また、公会計システムの導入を行い、円滑な財務書類の作成を行います。						
2 事業の内容						
(1) 新地方公会計制度導入支援業務 10,000 千円						
平成27年度中に増減した固定資産台帳の整備と平成29年度の財務書類の公表に向けた平成28年度財務書類の作成にかかる経費（平成29年度に向けて平成28年度に財務書類の分析・検証を行い、円滑な公表が行えるように準備を進めます。）						
(2) 公会計システム導入業務 6,500千円						
総務省が示す財務書類を作成・公表していくために必要となるシステムの導入						
(3) 臨時職員賃金 1,215 千円						
固定資産台帳整備にかかるデータの整理・入力作業						
3 事業費の内訳						
(款) 総務費 (項) 総務管理費 (目) 財政管理費						
・ 賃金 1,215千円						
・ 委託料 16,500千円						
計 17,715千円						
現金主義会計 ◎ 現行の予算・決算制度は、現金収支を議会の民主的統制下に置くことで、予算の適正・確実な執行を図るという観点から、現金主義会計を採用 ※ 財政健全化法に基づく早期健全化スキームも整備 補完 発生主義会計 ◎ 発生主義により、ストック情報・フロー情報を総体的・一覽的に把握することにより、現金主義会計を補完 <財務書類> 地方公会計 ・ 貸借対照表 ・ 行政コスト計算書 ・ 純資産変動計算書 ・ 資金収支計算書 ↔ 企業会計 ・ 貸借対照表 ・ 損益計算書 ・ 株主資本等変動計算書 ・ キャッシュ・フロー計算書						
担当課	財務部財政課		電話	直通 24-7035 内線 3322		

政策名	行財政効率の高いまちづくり					
事業名	第三セクター等改革推進債償還基金積立事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
189,875	国	府	市債	その他	一般財源	189,942
				189,875		

1 事業の背景・目的

平成24年9月の土地開発公社解散に伴い、土地開発公社が借入れていた資金を福知山市が各金融機関に対して、代位弁済4,996百万円を行いました。そのうち、2,996百万円については、第三セクター等改革推進債を発行し清算しました。

2 事業の内容

土地開発公社解散で福知山市が継承した土地について、利活用を進め、土地貸付収入や土地売払収入を財源に第三セクター等改革推進債償還基金に一旦積立を行い定期償還分とは別に、繰り上げ償還分に対して基金を充当し償還を進めるものです。これにより繰上償還に係る財源の明確化と将来負担の軽減が図られます。

3 事業費の内訳

【参考】 第三セクター等改革推進債 借入額:2,996,200千円 借入利率:0.334%

【当初償還計画】

(単位:円)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	計
元 金	0	295,140,526	274,200,382	250,408,005	222,958,888	190,648,338	151,552,169	102,308,787	36,206,474	36,327,502	36,448,929	1,596,200,000
利 息	0	9,925,573	8,124,771	6,560,790	5,079,330	3,693,604	2,421,456	1,288,356	333,794	212,765	91,327	37,731,766
計	0	305,066,099	282,325,153	256,968,795	228,038,218	194,341,942	153,973,625	103,597,143	36,540,268	36,540,267	36,540,256	1,633,931,766
繰上償還額	0	200,000,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	0	0	0	1,400,000,000
計画繰上償還累計額		200,000,000	400,000,000	600,000,000	800,000,000	1,000,000,000	12,000,000,000	1,400,000,000				
年度末残高	2,996,200,000	2,501,059,474	2,026,859,092	1,576,451,087	1,153,492,199	762,843,861	411,291,692	108,982,905	72,776,431	36,448,929	0	

【修正後 償還計画】

(単位:円)

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	計
元 金	0	295,140,526	263,237,013	249,291,574	217,595,800	185,267,323	146,153,165	96,891,736	47,382,392	47,540,779	47,699,692	1,596,200,000
利 息	0	9,925,573	7,799,917	6,531,541	4,957,150	3,589,353	2,335,192	1,220,140	436,828	278,438	119,520	37,193,652
計	0	305,066,099	271,036,930	255,823,115	222,552,950	188,856,676	148,488,357	98,111,876	47,819,220	47,819,217	47,819,212	1,633,393,652
繰上償還額	0	300,000,000	120,000,000	230,000,000	200,000,000	200,000,000	200,000,000	150,000,000	0	0	0	1,400,000,000
計画繰上償還累計額		300,000,000	420,000,000	650,000,000	850,000,000	1,050,000,000	1,250,000,000	1,400,000,000				
年度末残高	2,996,200,000	2,401,059,474	2,017,822,461	1,538,530,887	1,120,935,087	735,667,764	389,514,599	142,622,863	95,240,471	47,699,692	0	

4 主な特定財源

(款) 財産収入 (項) 財産運用収入 (目) 財産貸付収入
公社継承土地貸付収入等 107,875千円

(款) 財産収入 (項) 財産売払収入 (目) 不動産売払収入
公社継承土地売払収入 82,000千円

担当課	財務部財政課	電話	直通 24-7035 内線 3322
-----	--------	----	--------------------

政策名	行財政効率の高いまちづくり					
事業名	施設マネジメント事業					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
5,424	国	府	市債	その他	一般財源	9,639
					5,424	
1 事業の背景・目的						
本市は、平成18年1月の合併以降、公共施設の用途が重複している施設や老朽化が進んでいる施設、人口減少に伴う空き施設を多く保有しています。 これらの施設を従来どおりの維持管理や改修を続けていくだけでは、厳しい財政状況をますます圧迫させ、他の行政サービスに影響を及ぼすことが懸念されます。 このため、公共施設マネジメント基本方針及び基本計画を策定し、適切な公共施設総量を設定した上で、平成27年度に具体的な再配置計画である公共施設マネジメント実施計画を策定し、今後5年間の具体的な取組を定めました。 平成28年度以降は、実施計画を着実に推進するための進捗管理を行います。 併せて、継続設置する公共施設の運営・管理手法の改善のため、指定管理者制度第三者評価制度委員会を設置し、外部委員による評価を実施します。						
2 事業の内容						
公共施設管理運営の改善 ・指定管理者制度第三者評価の実施 公共施設マネジメントの推進 ・公共施設マネジメントの進捗管理（実績報告・課題抽出・課題解決サイクルの循環） ・マネジメントガイドラインの修正						
3 事業費の内訳						
報酬費	指定管理者制度第三者評価制度委員報酬				135千円	
旅 費	公共施設マネジメント研修会旅費				144千円	
	指定管理者制度第三者評価委員協議旅費					
需用費	事務費等				121千円	
役務費	郵送料				24千円	
委託料	業務委託料				5,000千円	
	公共施設状況調査					
	・公共施設利用状況調査（利用状況・維持費・運営費）					
	・公共施設最適化事業調査及びデータベース作成					
	マネジメントガイドラインの見直し					
	・マネジメント推進課題の抽出・解決手法の検討					
	-公共施設譲渡事務補助事業の検討・作成					
	-専門部会の開催によるマネジメント推進課題の抽出、解決手法の提案					
	第三者評価制度導入に伴う指定管理者制度運用ガイドラインの修正					
	公共施設マネジメント実施計画進捗管理					
	・マネジメント事業の評価（単年度）手法の検討					
担当課	財務部資産活用課		電話	直通 24-7038 内線 3317		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	国民健康保険事業特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
9,352,000	国	府	市債	その他	一般財源	9,451,900
	1,743,169	339,630		7,269,201		

1 事業の背景・目的

職場の健康保険や後期高齢者医療制度など他の医療保険に加入していないすべての市民を対象に、法律に基づき国民健康保険事業を運営しています。

国民健康保険の保険者として、保険給付をはじめ被保険者の健康保持・増進のための保健事業、これらの事業の財源に充てるための保険料の賦課・徴収などを行います。

2 事業の内容

【主な事業】

○保険料の賦課・徴収

医療費支出に対応する保険料の賦課については、被保険者数が減少する一方、一人当たりの医療費が増高しており、国保財政は大変厳しい状況ではありますが、平成27年度に保険料の負担増をお願いしたところであり、被保険者の負担を考慮して据え置くこととします。

○国保人間ドック事業 予算額：23,187千円（27年度比 509千円増） 拡充

対 象 保険料滞納がない世帯で、受診日に満30歳以上の国民健康保険被保険者

受診見込人員 900人（27年度比 20人増）

人間ドック費用 36,228円（27年度と同額）

自己負担額 10,800円（3割負担）

受診方法 市内の指定医療機関で受診

○特定健康診査等事業 予算額：60,004千円

対 象 受診日に満40歳以上の国民健康保険被保険者

受診見込人員 4,100人（集団1,300人、個別2,800人）（27年度見込と同数）

自己負担額 500円 ※70歳以上、非課税世帯、40歳（新規）は無料
（27年度と同額）

受診方法 集団健診（各保健福祉センター・地域公民館など）

個別健診（市内の指定医療機関）

*満75歳以上の後期高齢者医療保険被保険者については別途健診事業あり。

3 事業費の内訳 計 9,352,000千円 ()内%は予算構成比率

総務費（人件費、物件費） 141,757千円（1.5%）

保険給付費 5,850,709千円（62.6%）

後期高齢者支援金、介護納付金など 1,191,001千円（12.7%）

共同事業拠出金 2,002,027千円（21.4%）

保健事業費（国保検診ほか） 99,114千円（1.1%）

その他		17,392千円 (0.2%)
予備費		50,000千円 (0.5%)
4 主な特定財源	() 内%は予算構成比率	
保険料(税)	1,488,961千円	(15.9%)
国庫支出金	1,743,169千円	(18.6%)
療養給付費交付金	153,995千円	(1.7%)
前期高齢者交付金	2,849,580千円	(30.5%)
京都府支出金	339,630千円	(3.6%)
共同事業交付金	2,012,484千円	(21.5%)
一般会計繰入金	719,651千円	(7.7%)
担当課	市民人権環境部保険課	電話 直通 24-7015・24-7019 内線 2261、2265

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	国民健康保険診療所費特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
50,400	国	府	市債	その他	一般財源	49,800
				50,400		
1 事業の背景・目的 国民健康保険の被保険者の診療やその他の便益を図り、住民の健康を保持増進するために国民健康保険雲原診療所を設置運営します。						
2 事業の内容 診療日 毎週月曜日・水曜日・金曜日 医 師 福知山市民病院からの派遣						
3 事業費の内訳 歳入 診療所収入 34,200千円 国保特別会計繰入金 8,584千円 一般会計繰入金 7,457千円 その他（手数料・雑入） 159千円 歳出 診療所管理費 29,771千円 医業諸費 19,547千円 元利償還金 82千円 予備費 1,000千円						
4 主な特定財源 国民健康保険調整交付金						
担当課	市民人権環境部保険課		電話	直通 24-7019 内線 2265		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	休日急患診療所費特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
23, 100	国	府	市債	その他	一般財源	
				23, 100		21, 500
1 事業の背景・目的 休日において緊急に医療を必要とする市民に対し、応急的な診療を提供することにより市民が安心して生活できる環境を整備するため、昭和52年から福知山市休日急患診療所を社団法人福知山医師会、福知山薬剤師会の協力を得て、実施している。 2 事業の内容 (1) 診療科目 内科・小児科 (2) 診療日 日曜日、祝日、12月30日～1月3日（年間71日開設） (3) 診療時間 午前9時～午後0時30分、午後1時30分～午後6時 3 事業費の内訳 ・総務管理費 8, 519千円 ・医業費 14, 071千円 ・公債費利子 10千円 ・予備費 500千円 4 主な特定財源 (款) 診療収入 (項) 診療収入 (目) 診療収入 ・診療収入（窓口） 2, 009千円 ・社保支払基金 8, 244千円 ・国保連合会診療報酬 3, 461千円 ・福祉医療給付金 3千円 (款) 使用料及び手数料 (項) 手数料 (目) 文書料 ・診断書及び証明書手数料 1千円 (款) 繰入金 (項) 繰入金 (目) 他会計繰入金 ・一般会計繰入金 9, 382千円						
担当課	福祉保健部健康推進室		電話	直通 23-2788 内線 6230		

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	介護保険事業特別会計					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
8,106,600	国	府	市債	その他	一般財源	7,812,400
	1,986,433	1,139,578		4,980,589		

1 事業の背景・目的

平成12年度からスタートした介護保険制度は、介護を社会全体で支える仕組みとして定着してきました。

しかし、一方で介護や支援を必要とする方の急増による給付費の増大、認知症や一人暮らし高齢者の増加など様々な環境や状況の変化から見直しを迫られ、数度にわたり制度の改正が行われてきたところです。

市町村は、介護保険の保険者として、第1号被保険者（65歳以上の方）の保険料賦課徴収、介護認定、各種負担軽減制度の実施、介護保険制度の周知、地域密着型サービス事業所の指定・指導、介護給付費の支払い、福祉用具・住宅改修の許可など様々なサービスの提供やそれに関連する事務を行っています。そのほかにも、地域支援事業として、地域包括支援センターと連携しながら、介護予防事業や保険外の各種事業にも取り組んでいます。特に、国の制度改正による平成29年からの介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）の実施を見据え、「地域コーディネーター」の配置や「（仮称）市民介護士」の養成に取り組めます。

さらに地域包括ケアシステムの構築を目指し、在宅医療介護連携の推進、認知症対策等、所要の経費を予算化するものです。

2 事業の内容

- （1）一般管理費 ・ 介護保険運営にかかる事務費、人件費
- （2）賦課徴収費 ・ 介護保険料の賦課徴収にかかる事務費、人件費
- （3）介護認定審査会費 ・ 介護認定にかかる事務費、人件費
- （4）保険給付費 ・ 介護給付費として、国保連合会等に支払う経費
- （5）介護予防事業費
 - ・ 介護予防教室、介護支援サポーター、訪問リハビリなど介護予防にかかる経費
- （6）包括的支援・任意事業
 - ・ 地域包括支援センター運営、在宅医療介護連携、認知症施策推進、生活支援・介護予防サービス、介護用品、安心生活見守り、配食サービスなどの事業にかかる経費
- （7）基金積立金 ・ 歳入の剰余金及び介護給付費準基金利子の積立
- （8）公債費 ・ 基金繰替運用利子
- （9）予備費 ・ 緊急対応時に備えた予算
- （10）償還金及び還付加算金 ・ 第1号被保険者保険料還付金

3 事業費の内訳

(1) 一般管理費	185,273千円
(2) 賦課徴収費	22,937千円
(3) 介護認定審査会費	52,928千円
(4) 保険給付費	7,622,052千円
(5) 介護予防事業費	22,197千円
(6) 包括的支援・任意事業費	187,406千円
(7) 基金積立金	1,593千円
(8) 公債費	64千円
(9) 償還金及び還付加算金	2,150千円
(10) 予備費	10,000千円
計	8,106,600千円

4 主な特定財源

介護保険料（現年度分）	1,577,544千円
介護保険料（滞納繰越分）	4,842千円
督促手数料他	301千円
介護給付費国庫負担金	1,378,562千円
調整交付金	525,922千円
国庫補助金（介護予防）	14,202千円
国庫補助金（包括・任意）	67,747千円
支払基金交付金	2,150,080千円
介護給付費府負担金	1,098,604千円
府補助金（介護予防）	7,101千円
府補助金（包括・任意）	33,873千円
財産収入	420千円
一般会計繰入金（給付）	1,012,768千円
一般会計繰入金（その他）	234,334千円
延滞金	200千円
雑入	100千円
計	8,106,600千円

担当課	福祉保健部高齢者福祉課	電話	直通 24-7013 内線 2144
-----	-------------	----	--------------------

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	介護サービス事業勘定（介護保険事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
22,400	国	府	市債	その他	一般財源	30,700
				22,400		

1 事業の背景・目的

高齢化が進み、要支援認定者（介護予防サービス対象者）が増加傾向にあります。この要支援者を対象にした介護予防サービスの介護予防ケアプラン作成については、地域包括支援センターが受け、直轄で作成を行う分と、その他の介護支援事業所に委託する分があります。この介護予防ケアプラン作成等にかかる経費の予算計上を行います。

2 事業の内容

(1) 地域包括支援センター運営事業 5,777千円

・センター運営にかかる事務費。包括支援センターの委託化による事業所追加に係る電算機器等の設置経費。訪問用自動車借り上げ料。

(2) 地域包括支援センター運営事業（人件費） 9,416千円

・プランを作成するセンター職員の人件費。3人分の人件費を計上しています。

(3) 居宅介護支援事業費 7,017千円

・センターから介護支援事業所にプラン作成を委託する経費。
包括支援センターの委託化により直営事業所の3圏域のみと担当エリアが減少するため、27年度予算(15,547千円)に比べて8,530千円の減額となっています。

(4) 基金積立金 79千円

・介護サービス事業基金にかかる利息を積み立てます。

(5) 一時借入金利子 11千円

・支払いのために一時借入金（基金繰替運用）を行う際の利息。

(6) 予備費 100千円

・不足の事態に備えて予備費を計上します。

3 事業費の内訳

（款）総務費 （項）総務管理費 （目）一般管理費

(1) 地域包括支援センター運営事業 5,777千円

・需用費 257千円、役務費 723千円、委託料 884千円
使用料及び賃借料 3,906千円 公課費 7千円

(2) 地域包括支援センター運営事業（人件費） 9,416千円

・嘱託職員 3名分

（款）事業費 （項）居宅介護支援事業費 （目）居宅介護支援事業費

(1) 介護予防サービス計画作成事業 7,017千円

- ・センターで受けるプラン作成のうち、居宅介護支援事業所への委託料
- (款) 基金積立金 (項) 基金積立金 (目) 介護サービス事業基金積立金
- (1) 基金積立金 79千円
- (款) 公債費 (項) 公債費 (目) 利子
- (1) 一時借入金 11千円
- (款) 予備費 (項) 予備費 (目) 予備費
- (1) 予備費 100千円

4 主な特定財源

- (款) サービス収入 (項) 予防給付費収入 (目) 居宅支援サービス計画費収入
 - ・介護予防サービス計画作成料 16,594千円
- (款) 財産収入 (項) 財産運用収入 (目) 利子及び配当金
 - ・介護サービス事業基金利子 79千円
- (款) 繰入金 (項) 基金繰入金 (目) 介護サービス事業基金繰入金
 - ・地域包括支援センター運営事業 5,727千円

担当課	福祉保健部高齢者福祉課	電話	直通 24-7013 内線 2151
-----	-------------	----	--------------------

政策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	後期高齢者医療事業特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1, 862, 700	国	府	市債	その他	一般財源	1, 897, 700
				1, 862, 700		
1 事業の背景・目的						
75歳以上の高齢者を対象とした医療保険制度です。京都府後期高齢者医療広域連合が保険者の役割を果たし、高齢者の医療の確保に関する法律第48条に規定する後期高齢者医療の事務を行います。						
2 事業の内容						
(1) 一般管理費 ・ 後期高齢者医療事業運営に係る一般経費						
(2) 一般管理費（人件費） ・ 後期高齢者医療事業運営に係る人件費						
(3) 後期高齢者医療保険料徴収事業						
・ 京都府広域連合が賦課を行った保険料を市が徴収します。						
(4) 後期高齢者医療広域連合納付金						
・ 京都府後期高齢者医療広域連合規約に基づき算出された納付金を納めます。						
① 共通経費						
広域連合の組織運営に要する事務費負担金						
② 保険料納付金						
特別徴収、普通徴収により徴収した保険料負担金						
③ 保険基盤安定負担金						
低所得者等の保険料軽減分を公費補填する負担金						
④ 療養給付費負担金						
療養の給付に要する負担金						
(5) 後期高齢者医療保健事業						
・ 疾病の予防、早期発見、早期治療により医療費を抑制します。						
(6) 後期高齢者医療人間ドック						
・ 疾病の予防、早期発見、早期治療により医療費を抑制します。						
(7) 公債費 ・ 一時借入金の利子						
(8) 保険料還付金 ・ 保険料の還付金						
(9) 予備費 ・ 緊急対応時の備えた予算						
3 事業費の内訳						
(1) 一般管理費						

・ 委託料	519千円
(4) 後期高齢者医療広域連合納付金	
・ 共通経費負担金	22,469千円
・ 療養給付費負担金	825,607千円
・ 保険基盤安定負担金	249,194千円
・ 保険料等負担金	691,891千円
(5) 後期高齢者医療保健事業	
・ 賃金	947千円
・ 需用費	206千円
・ 役務費	805千円
・ 委託料	24,756千円
・ 使用料及び賃借料	12千円
(6) 後期高齢者医療人間ドック事業	拡充
・ 需用費	80千円
・ 役務費	104千円
・ 委託料	9,072千円
(7) 公債費	103千円
(8) 保険料還付金	1,316千円
(9) 予備費	3,000千円

4 主な特定財源

・ 特別徴収	438,494千円
・ 普通徴収	231,883千円
・ 普通徴収（過年度分）	1,846千円
・ 証明手数料	1千円
・ 督促手数料	225千円
・ 一般会計繰入金	1,151,330千円
・ 延滞金	218千円
・ 保険料還付金	1,316千円
・ 雑入	17,937千円
・ 繰越金	19,450千円

担当課

市民人権環境部保険課

電話

直通 24-7018 内線 2145

施策名	子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり					
事業名	病院事業（病院事業会計）					拡充
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
13,477,200	国	府	市債	その他	一般財源	13,226,880
	10,000	34,350	446,100	12,986,750		

1 事業の背景・目的

市民病院は福知山市域のみならず、ますます広域化する医療ニーズに対応するため、引き続き医療スタッフの確保と医療機能の充実、地域医療の連携を進めます。

大江分院では訪問看護や訪問診療などの在宅医療を推進し、高齢化社会における地域に根ざした医療の提供を推進します。さらに、市民病院と連携しながら総合診療専門医の育成施設として、魅力ある病院づくりを進めるとともに、運営の合理化・効率化により安定経営を目指します。



業務予定量（[]内は対H27比）					
	市民病院		大江分院		
●入院					
病床数（床）	354	[0]	72	[0]	
一日平均患者数（人）	319.0	[+6.0]	59.0	[△6.5]	
診療日数（日）	365	[△1]	365	[△1]	
年間延患者数（人）	116,435	[+1,877]	21,535	[△2,438]	
●外来					
一日平均患者数（人）	1,000	[+20]	70	[△34]	
診療日数（日）	243	[0]	243	[0]	
年間延患者数（人）	243,000	[+4,860]	17,010	[△8,252]	

2 事業の内容

【主な事業】

◆市民病院 医療機器等整備事業

① 事業の概要

X線コンピューター断層撮影装置(CT)等の更新
フラットパネル搭載デジタルマンモグラフィー等の新設
(乳がん検診用機器)

② 総事業費 490,887千円

◆大江分院 医療機器等整備事業

① 事業の概要

セーフティウォーカー(リハビリテーション用機器)等の更新
ストレッチャー&チェアースケール(看護用機器)等の新設

② 総事業費 5,049 千円

3 事業費の内訳

【主な事業】

◆市民病院

①医療機器等更新事業 189,562千円

②医療機器等新設事業 301,325千円

◆大江分院

①医療機器等更新事業 4,023千円

②医療機器等新設事業 1,026千円



X線コンピューター断層撮影装置 (CT)



フラットパネル搭載デジタルマンモグラフィー
(乳がん検診用機器)

担当課	市民病院 事務部総務課	電話	代表 22-2101 内線 2211
-----	----------------	----	--------------------

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	簡易水道事業（簡易水道事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
834,000	国	府	市債	その他	一般財源	999,200
		6,980	148,900	678,120		

1 事業の背景・目的

安心安全な水を継続的に供給するため、適正な施設の維持管理に努めます。
また、老朽化している配水管、漏水が多発している配水管を布設替えすることにより断水事故の解消に努めます。

2 事業の内容

【主な事業】

(1) 施設維持管理事業

・157カ所の施設を運転、維持管理するための消耗品（薬品等）、ポンプ運転電気料、機器の保守点検、漏水調査業務、施設清掃業務等

(2) その他簡易水道改良事業

・細見簡易水道 芦刈配水管布設替工事（老朽管対策）
・大江町中央簡易水道 公庄配水管布設替工事（道路外布設解消）
・中夜久野簡易水道 末配水管布設替工事（老朽管対策）
・上夜久野簡易水道 副谷配水管布設替工事（老朽管対策）

(3) 簡易水道上水道経営統合準備事業

・固定資産調査・評価業務
・システム改修業務等

3 事業費の内訳

【主な事業】

(1) 施設維持管理事業

事業費 97,716千円
(内訳) 需用費 52,705千円（光熱水費、消耗品費等）
委託料 29,718千円（施設維持管理業務等）
その他 15,293千円

(2) その他簡易水道改良事業

事業費 89,100千円
(内訳) 工事請負費 89,100千円

(3) 簡易水道上水道経営統合準備事業

事業費 9,895千円
(内訳) 委託料 9,819千円
その他 76千円

4 主な特定財源

・簡易水道使用料	288,664千円
・簡易水道施設費府補助金	6,980千円
・一般会計繰入金	337,931千円
・簡易水道事業債	148,900千円
・その他	51,525千円

担当課	上下水道部	電話	直通 22-6503	内線 72-370
	総務課		直通 22-6500	内線 72-210
	お客様サービス課 水道課		直通 22-6502	内線 72-300

施策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	農業集落排水施設事業（農業集落排水施設事業特別会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1, 059, 000	国	府	市債	その他	一般財源	1, 088, 500
		42, 500	223, 200	793, 300		
1 事業の背景・目的						
農山村地域における用排水の水質保全、生活環境の改善を図るため、市内21地区で運営している農業集落排水施設事業の処理場、マンホールポンプ（311箇所）、管渠など各施設の適正な維持管理に努めます。						
また、人口減少等により計画水量に対して余裕の生じた農業集落排水施設の北有路地区に三河地区を、井田額田地区に今西中地区を統合し、維持管理経費の縮減を図ります。						
2 事業の内容						
【主な事業】						
(1) 施設管理事業						
農業集落排水施設中六人部地区施設管理事業ほか市内全21地区（簡易排水1地区を含む。）の農業集落排水施設の維持管理等						
(2) 施設統合事業						
北有路地区農業集落排水統合関連事業				28, 600千円		
井田額田地区農業集落排水統合関連事業				63, 600千円		
3 事業費の内訳						
【主な事業】						
(1) 施設管理事業						
施設管理費			432, 334千円			
(内訳) 需用費			71, 909千円		(光熱水費・修繕料等)	
委託料			201, 116千円		(処理施設維持管理業務等)	
工事請負費			89, 548千円		(管きょ移設工事等)	
負担金補助及び交付金			15, 554千円		(汚泥処理負担金等)	
その他			54, 207千円		(直営経費)	
(2) 施設統合事業						
築造費			92, 200千円			
委託料			6, 500千円		(実施設計業務)	
工事請負費			85, 700千円		(統合関連工事)	
4 主な特定財源						
・ 集落排水使用料			191, 959千円			
・ 一般会計繰入金			536, 568千円			
・ 集落排水事業債			223, 200千円			
・ 集落排水府補助金			42, 500千円			
・ その他			64, 773千円			
担当課	上下水道部 総務課 お客様サービス課 下水道課		電話	直通 22-6503 内線 72-370 直通 22-6500 内線 72-210 直通 23-2085 内線 72-401		

施策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	水道事業（水道事業会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
3, 045, 100	国	府	企業債	その他	一般財源	3, 277, 300
	33, 300	8, 141	452, 000	2, 551, 659		
1 事業の背景・目的 市民生活や産業活動を支える重要なライフラインとして、災害に強い水道施設の整備に取り組みます。 本年度は、堀山送水管布設替工事など老朽化した施設や管路の更新を計画的に進め、水道水の安定供給に努めます。 2 事業の内容 【主な事業】 建設改良事業 ・堀山送水管布設替工事 ・市道多保市正明寺線橋梁架替に伴う配水管布設替工事 他 3 事業費の内訳 【主な事業】 ・堀山送水管布設替工事 100, 000千円 ・市道多保市正明寺線橋梁架替に伴う配水管布設替工事 84, 200千円 4 主な特定財源 ・水道料金 1, 338, 444千円 ・企業債 452, 000千円 ・加入金 57, 957千円 ・国庫補助金 33, 300千円 ・一般会計繰入金 105, 062千円						
担当課	上下水道部 総 務 課 お客様サービス課 水 道 課		電話	直通22-6503 内線72-370 直通22-6500 内線72-210 直通22-6502 内線72-300		

施策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	下水道事業（下水道事業会計）					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
6,956,400	国	府	企業債	その他	一般財源	6,932,400
	830,130	1,000	1,216,700	4,908,570		
1 事業の背景・目的 平成26年8月豪雨災害に伴う国・府・市の検討結果に基づく治水対策及び土師地区の浸水対策を推進し、防災対策の強化に取り組みます。また、ライフライン施設として安心・安全で快適な市民生活を持続していくために適切な施設の維持管理と計画的な施設の改築更新を行っていきます。 2 事業の内容 【主な事業】 建設改良事業 ・土師排水区梅原貯留施設築造工事 ・土師排水区沢貯留施設築造工事 ・中部系統カルバート更生工事 3 事業費の内訳 【主な事業】 管渠施設拡張事業費 雨水管渠布設事業費 ・土師排水区梅原貯留施設築造工事 ・土師排水区沢貯留施設築造工事 管渠施設改良事業費 合流管渠改築更新事業費 ・中部系統カルバート更生工事 4 主な特定財源 ・下水道使用料 1,550,954千円 ・一般会計負担金等 913,465千円 ・企業債 1,216,700千円 ・国府補助金 831,130千円						
担当課	上下水道部 総務課 お客様サービス課 下水道課		電話	直通 22-6503 内線 72-370 直通 22-6500 内線 72-210 直通 23-2085 内線 72-401		

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり																							
事業名	石原土地区画整理事業 (石原土地区画整理事業特別会計)					継続																		
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																		
700,600	国	府	市債	その他	一般財源	894,400																		
				700,600																				
1 事業の背景・目的 石原地区は、近畿自動車道敦賀線の開通に伴い、広域的な観点から福知山ICへのアクセス道路の整備が必要となり、また既存の幹線道路や生活道路は拡幅等による改善、更には長田野工業団地に近いことから良質な住宅地の供給が求められています。 石原土地区画整理事業では、都市基盤及び都市施設を整備し、生活利便性の向上を図るとともに、良好な生活環境を形成する市街地づくりを行うことを目的としています。 2 事業の内容 本事業は、平成4年度に事業着手、以後、都市基盤及び都市施設の整備を行い、平成21年度に換地処分を完了しました。特別会計の早期閉鎖にむけ、平成28年度は、積極的な保留地の売却に努めます。 3 事業費の内訳 <table><tr><td>旅費</td><td>57千円</td></tr><tr><td>需用費（消耗品費、修繕料ほか）</td><td>521千円</td></tr><tr><td>役務費（通信運搬費、広告料、手数料）</td><td>2,367千円</td></tr><tr><td>委託料（除草業務、現場技術業務ほか）</td><td>3,516千円</td></tr><tr><td>工事請負費（保留地整備工事ほか）</td><td>11,700千円</td></tr><tr><td>公債費</td><td>1,087千円</td></tr><tr><td>前年度繰上充用金</td><td>681,352千円</td></tr></table> 4 財源の内訳 <table><tr><td>保留地処分金</td><td>700,541千円</td></tr><tr><td>雑入（使用料）</td><td>59千円</td></tr></table>							旅費	57千円	需用費（消耗品費、修繕料ほか）	521千円	役務費（通信運搬費、広告料、手数料）	2,367千円	委託料（除草業務、現場技術業務ほか）	3,516千円	工事請負費（保留地整備工事ほか）	11,700千円	公債費	1,087千円	前年度繰上充用金	681,352千円	保留地処分金	700,541千円	雑入（使用料）	59千円
旅費	57千円																							
需用費（消耗品費、修繕料ほか）	521千円																							
役務費（通信運搬費、広告料、手数料）	2,367千円																							
委託料（除草業務、現場技術業務ほか）	3,516千円																							
工事請負費（保留地整備工事ほか）	11,700千円																							
公債費	1,087千円																							
前年度繰上充用金	681,352千円																							
保留地処分金	700,541千円																							
雑入（使用料）	59千円																							
担当課	土木建設部都市整備課	電話	直通 24-7048 内線 4332																					

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり																					
事業名	福知山駅周辺土地地区画整理事業 (福知山駅周辺土地地区画整理事業特別会計)					継続																
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																
64,400	国	府	市債	その他	一般財源	114,000																
				64,400																		
1 事業の背景・目的 福知山駅周辺地区は、本市の中心部に位置し、商業・業務施設が集積し、中央部にはJR福知山駅及び京都丹後鉄道福知山駅やバスターミナルがあり、交通の結節点となっています。 福知山駅周辺土地地区画整理事業では、福知山駅付近連続立体交差事業とあわせて、都市基盤を整備し、鉄道高架後の土地、未利用地の有効利用、また、都市施設を拡充することによって、南北市街地の一体化、都市機能の強化を図り、総合的な都心づくりを行うことを目的としています。 2 事業の内容 本事業は、平成7年度に事業着手、以後、都市基盤及び都市施設の整備を行い、平成25年度に換地処分を完了しました。特別会計の早期閉鎖に向け、平成28年度は、積極的な保留地の売却に努めます。 3 事業費の内訳 <table><tr><td>旅費</td><td>57千円</td></tr><tr><td>需用費（消耗品費、印刷製本費ほか）</td><td>189千円</td></tr><tr><td>役務費（通信運搬費、広告料、手数料）</td><td>4,470千円</td></tr><tr><td>委託料（除草業務、現場技術業務ほか）</td><td>297千円</td></tr><tr><td>工事請負費（保留地整備工事ほか）</td><td>4,650千円</td></tr><tr><td>公債費</td><td>384千円</td></tr><tr><td>前年度繰上充用金</td><td>54,353千円</td></tr></table> 4 財源の内訳 <table><tr><td>保留地処分金</td><td>64,400千円</td></tr></table>							旅費	57千円	需用費（消耗品費、印刷製本費ほか）	189千円	役務費（通信運搬費、広告料、手数料）	4,470千円	委託料（除草業務、現場技術業務ほか）	297千円	工事請負費（保留地整備工事ほか）	4,650千円	公債費	384千円	前年度繰上充用金	54,353千円	保留地処分金	64,400千円
旅費	57千円																					
需用費（消耗品費、印刷製本費ほか）	189千円																					
役務費（通信運搬費、広告料、手数料）	4,470千円																					
委託料（除草業務、現場技術業務ほか）	297千円																					
工事請負費（保留地整備工事ほか）	4,650千円																					
公債費	384千円																					
前年度繰上充用金	54,353千円																					
保留地処分金	64,400千円																					
担当課	土木建設部都市整備課	電話	直通 24-7048 内線 4332																			

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	河守土地区画整理事業 (河守土地区画整理事業特別会計)					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
18,800	国	府	市債	その他	一般財源	26,500
				18,800		
1 事業の背景・目的 河守地区は、国道175号沿線や山手側では商工業施設や住宅等が立地しており、一定の宅地化が進んでいるものの、京都丹後鉄道側は過去の水害により宅地化が進んでいない状況です。 河守土地区画整理事業では、由良川・宮川の築堤改修や国道175号の沿道環境整備とあわせて、安心かつ快適に住み続けられる市街地の環境づくりを行うことを目的としています。						
2 事業の内容 本事業は、平成15年度に事業着手、以後、都市基盤及び都市施設の整備を行い、平成24年度に換地処分を完了しました。特別会計の早期閉鎖に向け、平成28年度は、積極的な保留地の売却に努めます。						
3 事業費の内訳 旅費 15千円 需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費ほか） 414千円 役務費（通信運搬費、広告料、保険料ほか） 462千円 委託料（除草業務、現場技術業務ほか） 389千円 工事請負費（保留地整地工事ほか） 1,800千円 公課費 25千円 公債費 198千円 前年度繰上充用金 15,497千円						
4 財源の内訳 保留地処分金 18,800千円						
担当課	土木建設部都市整備課		電話	直通 24-7048 内線 4332		

政策名	だれもが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり					
事業名	宅地造成事業(宅地造成事業特別会計)					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
22, 500	国	府	市債	その他	一般財源	42, 000
				22, 500		
1 事業の背景・目的 戸田地区は、出水時における由良川の氾濫により幾度となく浸水被害を被ってきました。こうした背景の中で、国土交通省が実施する由良川改修による築堤事業により、対象家屋の集団移転先用地を、併せて実施した〃ほ場整備、区域内の既存集落隣接地に確保、造成を行い代替地として分譲するもので、地区計画を導入し「農」と「住」の一体的な整備による田園住区を創出していきます。						
2 事業の内容 [全体計画]						
	非農用地造成事業			集落環境整備事業		
開発区域	6.2 h a			6.7 h a		
事業概要	宅地分譲 85区画 区画道路、公園施設、 防災設備、管路整備 事業年度：平成14年度 ～平成28年度			集落道路、幹線道路、 防災設備、公園緑地 事業年度：平成13年度～ 平成28年度		
[平成28年度事業概要]						
・造成地植栽工 1式						
・未分譲宅地除草等委託料 1式						
・雨水排水ポンプ施設点検清掃費 1式						
3 事業費の内訳						
・工事請負費 1, 200千円						
・委託料 460千円						
・事務費 1, 551千円						
・予備費ほか 19, 289千円						
担当課	農林商工部農林管理課			電話	直通 24-7041 内線 4112	

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり					
事業名	と畜場費特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
32,500	国	府	市債	その他	一般財源	32,500
				32,500		
1 事業の背景・目的 京都府北部における農畜産振興、安心・安全な食肉供給施設並びに生産流通における重要な機能の維持確保を図ることを目的として実施します。 また、地産地消及び食育の推進に寄与するものであります。 2 事業の内容 食用に供する牛・豚などのと畜が、衛生的かつ円滑に実施されるための施設の維持管理を行います。 平成26年度 年間利用頭数 大動物（牛、馬） 702頭 小動物（仔牛等） 6頭 合 計 708頭 3 事業費の内訳 一般管理費 29,621千円 食肉センター運営補助 2,346千円 一時借入金利子 33千円 予備費 500千円 合 計 32,500千円 4 主な特定財源 施設使用料 4,205千円 一般会計繰入金 1,976千円 雑入（4市運営負担金ほか） 26,319千円 合 計 32,500千円						
担当課	農林商工部農業振興課		電話	直通 24-7044 内線 4126		

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり																													
事業名	公設地方卸売市場事業特別会計					継続																								
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額																								
6,700	国	府	市債	その他	一般財源	7,000																								
				6,700																										
1 事業の背景・目的 生産者に安定的な販路を提供するとともに、消費者には生鮮食料品等を日々安定的に供給する多数の小売商等の仕入機構としての役割を果たし、取引の適正化と流通の円滑化を図ることにより、市民生活の安定に寄与することを目的として実施します。 平成24年度から指定管理者制度（利用料金制）を導入しております。 2 事業の内容 市場取引業務、施設管理について指定管理者に適正な指導助言を行い、協定に基づく施設修繕を実施します。 価格安定対策事業の実施により、地場野菜の流通促進を図ります。 平成26年度 青果取扱量・高 <table><tr><td>野菜</td><td>1,230 t</td><td>319,366千円</td></tr><tr><td>果実</td><td>1,027 t</td><td>271,237千円</td></tr><tr><td>花卉など</td><td>44 t</td><td>26,216千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>2,301 t</td><td>616,819千円</td></tr></table> 3 事業費の内訳 <table><tr><td>一般管理費</td><td>5,685千円</td></tr><tr><td>一時借入金利子</td><td>15千円</td></tr><tr><td>予備費</td><td>1,000千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>6,700千円</td></tr></table> 4 主な特定財源 <table><tr><td>一般会計繰入金</td><td>6,700千円</td></tr><tr><td>合 計</td><td>6,700千円</td></tr></table>							野菜	1,230 t	319,366千円	果実	1,027 t	271,237千円	花卉など	44 t	26,216千円	合 計	2,301 t	616,819千円	一般管理費	5,685千円	一時借入金利子	15千円	予備費	1,000千円	合 計	6,700千円	一般会計繰入金	6,700千円	合 計	6,700千円
野菜	1,230 t	319,366千円																												
果実	1,027 t	271,237千円																												
花卉など	44 t	26,216千円																												
合 計	2,301 t	616,819千円																												
一般管理費	5,685千円																													
一時借入金利子	15千円																													
予備費	1,000千円																													
合 計	6,700千円																													
一般会計繰入金	6,700千円																													
合 計	6,700千円																													
担当課	農林商工部農業振興課	電話	直通 24-7044 内線 4126																											

政策名	地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり							
事業名	福知山市下夜久野地区財産区管理会特別会計					継続		
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額 172		
172	国	府	市債	その他	一般財源			
				172				
1 事業の背景・目的 福知山市下夜久野地区財産区管理会条例に基づき、財産の保全並びに基金の管理を図ります。 2 事業の内容 ・財産区有林の現地確認による保全管理 ・下夜久野地区財産区管理会に要する費用の財源及び財産区保有の財産の維持管理を実施する費用の財源確保 3 事業費の内訳 <table><tr><td> ・管理経費 報酬160千円 需用費(消耗品費)3千円 役務費1千円 </td><td> ・維持経費 需用費(印刷製本費)3千円 負担金補助及び交付金4千円 積立金1千円 </td></tr></table> 4 主な特定財源 福知山市下夜久野地区財産区財政調整基金							・管理経費 報酬160千円 需用費(消耗品費)3千円 役務費1千円	・維持経費 需用費(印刷製本費)3千円 負担金補助及び交付金4千円 積立金1千円
・管理経費 報酬160千円 需用費(消耗品費)3千円 役務費1千円	・維持経費 需用費(印刷製本費)3千円 負担金補助及び交付金4千円 積立金1千円							
担当課	地域振興部夜久野支所	電話	直通 37-1101 内線 74-9211					

政策名	行財政効率の高いまちづくり					
事業名	地域情報通信ネットワーク事業特別会計					継続
予算額(千円)	財源内訳(千円)					前年度 予算額
1, 171, 000	国	府	市債	その他	一般財源	756, 200
			201, 200	969, 800		
1 事業の背景・目的						
平成 18 年度から実施している「eーふくちやま」事業は、全市域内での高速インターネット接続やテレビ難視聴対策など、地域間情報格差の解消及び I T 基盤の利活用による地域情報化の推進を目的としています。 本事業については、平成 26 年度に事業を民間に委ねる市方針を盛り込んだ「eーふくちやま」事業再整理基本計画を策定し、将来的にも顧客ニーズにあった持続可能で安定したサービス提供を図るため、同計画に基づき平成 30 年度を最終目標として、事業の民営化を推進しています。 平成 28 年度においては、公募型プロポーザルにより選定した民間事業者との基本協定等に基づき、民間事業者による再整備費用等の一部に対して財政支援を行います。 また、従来の光ファイバー網及び情報通信基盤設備については、安定したサービス提供を図るため、施設の保守管理や道路拡幅等による電柱移転に伴う光ファイバーの敷設替えを実施し、サービスの維持と安定供給を図ります。						
2 事業の内容						
(1) 情報通信環境再整備事業（新規）						
民間事業者への財政支援を通じて、「eーふくちやま」事業で整備した情報通信環境を、平成30年度を最終目標に民間事業者のサービスに移行します。 平成28年度は民間移行に必要な施設整備に着手することとし、債務負担行為の枠内で予算化し、民間事業者に対して補助金を交付します。						
(2) 「eーふくちやま」保守管理事業						
テレビ再送信施設のメンテナンス業務及び事故等のトラブル対応業務、並びに情報通信基盤施設の保守業務等を実施します。 ア テレビ難視聴対策運営保守及び通信基盤施設保守業務 イ 地域イントラ設備機器保守業務 ウ 電柱共架料及び管路使用料・民地借地料 エ 放送・通信機器ハウジング料 オ 電柱支障移転 カ 加入金及び使用料の調定、納付書・督促状発送業務						
(3) 「eーふくちやま」整備事業						
F T T H方式により敷設した光ファイバー網を活用し、高速インターネットサービスの提供、テレビ難視聴世帯の解消を図ります。 ア 高速インターネットサービスの提供 イ テレビ難視聴地域における追加申し込み世帯の対応						

3 事業費の内訳

(1) 事業費	389,325千円	
情報通信環境再整備事業		206,182千円 (新規)
「e-ふくちやま」保守管理事業		167,688千円 (継続)
「e-ふくちやま」保守管理事業 (職員人件費)		6,707千円 (継続)
「e-ふくちやま」整備事業		8,748千円 (継続)
(2) 公債費	779,675千円	
「e-ふくちやま」整備事業債分		145,148千円 (継続)
借換債分		634,125千円 (新規)
一時借入金利子		402千円 (継続)
(3) 予備費	2,000千円	

4 主な特定財源

(1) テレビ再送信サービス加入金	42千円
(2) テレビ再送信サービス使用料	23,591千円
(3) 光ファイバー網貸付収入	4,904千円
(4) 情報通信環境再整備事業債 (過疎債・辺地債・合併特例債)	201,200千円
(5) 一般会計繰入金	941,263千円

担当課	総務部情報推進課	電話	直通 24-7060 内線 3121
-----	----------	----	--------------------